

1490迄 (1537件)

1471年-07:00|ベトナム| |||<即位>チャンパ王「Maha Sajai (Tra Toai)」(~1474年)
1471年-05:30|インド| |||<建国>タルチャー国
1471年-04:00|ロシア| |||モスク大公国のイヴァン3世がノヴォロシツに遠征
1471年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>ピンスク公「Marija Olelkaitė」(~1501年)
1471年-02:00|ウクライナ| |||<即位>ノヴォロシツ・セヴェルスキー公「ウァシリ」(~1523年捕縛された)
1471年-02:00|トルコ| |||アク・コニル朝がウエチア等と対オスマン同盟を締結
1471年-02:00|トルコ| |||オスマン帝国がカラマン君侯国を征服
1471年-01:00|オランダ| |||<再任>ゲルデルン公「アルルト」(~14730223死去) 去
1471年-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Waldemar6世」(~15081101死去)
1471年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ピエトロ・ゼーニ」(~1475年)
1471年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazarà」(2期目~1473年)
1471年-01:00|ポーランド| |||<就任>ピトム公「コンラト10世」(~1472年)
1471年-01:00|ドイツ| |||<就任>ヘッセン方伯(ニダー・ヘッセン)「ヴィルヘルム1世年長伯」ルートヴィヒ2世の上の息子(~1493年)
1471年-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「ウケ・ゲルゲレヴィッチ」ランコヴィッチハンガリーによってウイヴォデナ地方に亡命し、臣下として再植(~14850416)「ランコヴィッチ王朝」
1471年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/ハンガリー| |||<即位>ボスニア王「ニコラ・イリチ」ハンガリーによって宣言(~1477年死去)
1471年-01:00|クロアチア/オーストリア| |||フィウメはオーストリアのハプスブルグ家の支配が確定し、カニオラの一部となった
1471年 00:00|ガナ/ポルトガル| |||ファン・デ・サンタレムとペドロ・デ・スコバルに率いられたポルトガル人が、エルミタまたはシャマの近くのどこかで、和・デ・ラ・ミナ(鉱山の金)を発見
1471年 05:00|ペルー| |||<即位>インカ帝国皇帝「トゥパック・インカ・ユパンキ」パチャケクの息子(~1493年死去)
1471年1月-06:30|ミャンマー| |||<死去>ペーゲー王「シンソーブ」
1471年1月-06:30|ミャンマー| |||<即位>ペーゲー王「タンマセー・テー」(~1492年没)
1471年1月-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世、「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)が支配するフランス北部の「ピカルディ」とフランス東部の「ブルゴーニュ」に侵攻
1471年1月1日-01:00|イタリア| |||ヴェネツィア、トルコに対して、シチリアのフェルディナントと同盟
1471年1月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>リュネブルク侯「オットー5世」(オットー寛大公)
1471年1月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブルク侯「フリートリヒ2世」(フリートリヒ平和公)(~14780319死去)
1471年1月12日-09:00|日本| |||文明2年12月21日|外交僧瑞溪周鳳が著した3巻から成る対外交渉についての書「善隣国宝起(ゼンリョクホキ)」成立
1471年1月14日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文明2年12月23日|千葉胤將軍は陣を引き払い府中に引き揚げかけたところを土民・野武士たちに襲われ岩部播磨守らが討ちとられ敗走
1471年1月14日-09:00|日本|山口県|文明2年12月23日|陶弘護、周防国玖珂で大内教幸を破る
1471年1月17日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||ポルトガルがプリンシペを発見し領有宣言、サントアントニオ(アンタ)と命名
1471年1月18日-09:00|日本| |||文明2年12月27日|<死去>102代「後花園天皇」/52歳(誕生:応永26(1419)0618)
1471年1月19日-09:00|日本|愛知県小牧市|文明2年12月28日|<死去>尾張国福巖寺開山月泉性印
1471年1月21日-09:00|韓国/朝鮮| |||朝鮮・成化7年|この年、朝鮮の人申叔舟、日本国と琉球国について記述した漢文歴史書「海東諸国記」を著す
1471年1月21日-09:00|日本|滋賀県|文明3年|<任命>近江国守護「六角政堯」(3度目~10月12日(14711202)死去)
1471年1月21日-09:00|日本|静岡県磐田市|文明3年|福王寺2世命泉義龍、曹洞宗招宝山東昌寺(東貝塚)開創
1471年1月21日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明3年|華溪祖菊大和尚、曹洞宗静岡富山則心寺(下小杉)・曹洞宗吉永山高岳寺(利右衛門)建立
1471年1月21日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明3年|長谷川次郎左衛門尉政宣(法永長者)、石雲5派賢仲繁哲(早雲の弟)開山に、高草山林双院(小川)開基
1471年1月21日-09:00|日本|栃木県|文明3年|<死去>下野国守護「小山持政」
1471年1月21日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文明3年|蘭室秀和尚が温泉山医王院[立石西舩]を再興
1471年2月10日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯「フリートリヒ2世鉄齒公」
1471年2月10日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「アルブレヒト・アヒス」フリートリヒ2世の弟(~14860311死去)
1471年2月12日-09:00|日本|滋賀県近江八幡市|文明3年1月23日|京極方の多賀高忠、慈恩寺城を攻め破る/六角高頼は甲賀に逃げ、高頼の老臣佐々木新左衛門自刃
1471年3月19日-09:00|日本|滋賀県米原市|文明3年2月28日|美濃の土岐氏、高頼を助けるために、宿将斎藤妙椿(利藤)を出陣させる/国境を越えて米原山にて京極氏を破る/高頼、これを知り甲賀から出て斎藤勢と合流し、多賀高忠を破り、敗走させ、近江を回復
1471年3月21日-07:00|ベトナム| |||ベトナムはチャンパ王国の主要な部分を併合
1471年3月22日-01:00|チエコ| |||<死去>ボヘミア王「ジギスムント・ボジエフ」(誕生1420年)
1471年3月22日-01:00|チエコ| |||<就任>ボヘミア摂政「ミンスヘルツのジントリヒ」(~8. 22)
1471年3月22日-01:00|チエコ| |||第2次フス派戦争が終結
1471年4月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「ケレンス公爵ジョージ・ブランドジネット」(2回目~14780218)
1471年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・デ・マリノ」「チェッコ・デ・ジョヴァンニ・ダ・ヴァッレ」
1471年4月3日-01:00|ポーランド| |||<即位>プウォツク公「カジミェシュ3世」ボレスワフ4世の息子(~14750910)
1471年4月3日-01:00|ポーランド| |||<即位>マゾフシェ公「コンラト3世レチ赤公」ボレスワフ4世の息子(~15031028死去)
1471年4月3日-01:00|ポーランド| |||<即位>ワルシャワ公「ボレスワフ5世」ボレスワフ4世の息子(~14880427死去、領地はマゾフシェ

1490迄 (1537件)

に吸収)

- 1471年4月11日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大法官「ハースとウェルズ 司教ロバート・ステリントン」(2期目~14730618)
- 1471年4月11日 00:00|イギリス| |||<復位>イングランド 王「エドワード 4世」リチャード・フランドジ ネットとセリー・ネグイルの男子 (~14830409死去40歳)ヘンリー6世は再びロンドン塔に幽閉される
- 1471年4月12日-01:00|イタリア| |||<昇格>モナ・レツジョ公・フェーラ侯「ホルリ」⇒フェーラ・モナ・レツジョ公 (~8. 20死去)
- 1471年4月13日-09:00|日本|静岡県三島市|文明3年3月23日|<三島の戦い>古川公方足利成氏方、先鋒小山氏・結城氏、堀越公方足利政知を攻める/足利政知、三島にて援軍今川義忠と防戦するが敗走/上杉家臣、矢部安芸守入道加勢、千葉氏・小山氏・結城氏敗走
- 1471年4月13日-09:00|日本|三重県|文明3年3月23日|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「世保(土岐)政康」解任⇒「北畠政郷」(~文明9(1477)年5月)
- 1471年4月13日-09:00|日本|三重県|文明3年3月23日|<死去>伊勢南半国守護「北畠教具」⇒子の「北畠政郷」が継ぐ(⇒文明9(1477)年)
- 1471年4月14日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<死去>イギリス王領ガーンジー-島守護者「Geoffrey Walsh」
- 1471年4月14日 00:00|イギリス| |||<死去>ウリック伯・ソールズベリー伯「リチャード・ネグイル」
- 1471年4月14日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島・ガーンジー-島主「Anne de Beauchamp」(~14871213)
- 1471年4月14日 00:00|イギリス| |||<剥奪>モンターギュー侯「ジョン・ネグイル」
- 1471年4月14日 00:00|イギリス| |||<ハートネットの戦い>ウリック伯の軍とエドワード 4世の軍がハートネットで衝突する/ウリック伯は自軍の混乱で戦死/42歳(誕生:14281122)
- 1471年4月21日-09:00|日本|群馬県邑楽郡千代田町|文明3年4月|太田道真(道灌の父)、上野国・舞木城を攻略
- 1471年4月21日-09:00|日本|栃木県佐野市|文明3年4月|<第二次只木山の戦い>上杉顕定方は只木山の足利成氏勢を撃破し翌日には春日岡を攻撃/佐野氏の一党は天命の背後にある佐野城に籠城/翌朝には落城
- 1471年4月21日-09:00|日本|北海道|文明3年夏|(~秋)アイヌ蜂起や疾病・風災・飢饉が重なり、アイヌ・和人共に死者多数をだす
- 1471年4月27日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳2年4月8日|<死去>チャン王「槃羅茶全」
- 1471年4月27日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳2年4月8日|<即位>チャン王「槃羅茶遂」(~1474年滅亡)
- 1471年4月27日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳2年4月8日|大越・タイ・トン軍はチャンを攻撃し首都グイジャヤのチャン城を陥落させ、チャ・トン王を殺害
- 1471年5月4日 00:00|イギリス| |||<死去>コンウォール公「エドワード」
- 1471年5月4日 00:00|イギリス| |||<死去>サマセット公「エドムント・ボーフート」
- 1471年5月4日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「エドワード」エドワード 4世の子(~14830410エドワード 5世として即位)
- 1471年5月4日 00:00|イギリス| |||エドワード 4世軍がテュークスバリーでランカスター軍と衝突/ランカスター派の王子エドワードらは戦死し、マーガレットは捕らえられる
- 1471年5月5日-09:00|日本|栃木県佐野市|文明3年4月15日|<第一次赤見城の戦い・樺崎城の戦い>足利成氏方の佐野氏赤見城及び樺崎城が扇谷・山内両上杉氏方の攻撃を受け/樺崎城は城主父子(宗茂・持宗)が討死/佐野氏は降参し上杉方に転じた
- 1471年5月6日-09:00|日本|広島県福山市|文明3年4月16日|山名是豊、深津郡坪生に出陣、草土を攻め敵城を追落とす
- 1471年5月18日-09:00|日本|広島県東広島市|文明3年4月28日|これより先、小早川熙平、一族らを率い、東西条久芳・戸野・河内・造果の大内方の城郭を攻略
- 1471年5月20日-09:00|日本|新潟県柏崎市|文明3年5月|佐橋荘の毛利(安田)房朝、房定にそむく/房定、房朝の甥重広にこれを討たせる
- 1471年5月21日 00:00|イギリス| |||<死去>前イングランド 国王「ヘンリー6世」ロンドン塔で政敵により暗殺される。49歳(誕生14211206)
- 1471年5月25日-09:00|日本|栃木県栃木市|文明3年5月6日|<第一次河原田の戦い>幕府・上杉氏が下野河原田で古河公方に勝利
- 1471年5月27日-09:00|日本| ||文明3年5月8日|<死去>東氏数(不明)武将、歌人
- 1471年5月28日-01:00|チコ| |||<即位>ホヘミア対立王「マチャーシュ・コルグイン」(~14790821)
- 1471年6月-04:00|ロシア| |||<即位>モスクワ大公「イワン・ワノヴィッチ・モロトイ」共同統治(~14900307死去)
- 1471年6月8日-09:00|日本|愛媛県今治市|文明3年5月20日|河野教通、越智郡大三島に浦戸神社を造営
- 1471年6月9日-09:00|日本|福井県|文明3年5月21日|<交替>越前国守護「斯波松王丸(義寛)」⇒「朝倉孝景」將軍足利義政から任命され東軍に寝返る(~文明13(1481)年)
- 1471年6月11日-09:00|日本|栃木県栃木市|文明3年5月23日|東軍に味方する長尾景信、古河公方の上野国館林城、館林舞木城を攻略
- 1471年6月18日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳2年6月|大越がクアンナム(広南)道を併合
- 1471年6月20日-09:00|日本|京都府|文明3年6月2日|<死去>丹後国守護「武田信賢」病死⇒信賢の弟「武田国信」が継ぐ(~文明6(1474)年5月)
- 1471年6月20日-09:00|日本|福井県|文明3年6月2日|<死去>若狭国守護「武田信賢」病死⇒信賢の弟「武田国信」が継ぐ(~延徳2年6月21日(14900708)死去)
- 1471年6月28日-09:00|日本|福井県鯖江市|文明3年6月10日|朝倉孝景、東軍方として軍事行動をおこし、今立郡河俣で戦う

1490迄 (1537件)

1471年7月10日-09:00|日本|大阪府|文明3年6月22日|義就の將遊佐五郎が河内へ侵入し放火、順永・十市遠清・箸尾為國らがこれを迎撃

1471年7月12日-09:00|日本|茨城県古河市|文明3年6月24日|長尾景信、古河城攻略、足利成氏、下総・千葉孝胤のもとに逃走

1471年7月13日-01:00|ドイツ| ||<死去>メレンブルク=シュタルク公「ウルリヒ2世」

1471年7月18日-09:00|日本|石川県加賀市|文明3年7月|蓮如が越前を訪れ、吉崎御坊(越前・加賀の国境付近)を建立

1471年7月18日-09:00|日本|静岡県掛川市|文明3年7月|川井蔵人成信、石田永珊を開山に、深沢山長松院(大野)開基

1471年7月22日 00:00|イギリス/フランス| |||英国王エドワード四世が突進公とロンドンでフリック・善良公とヘンリー五世の同盟を復活させる条約に調印

1471年7月26日-01:00|パチン| ||<死去>第211代ローマ教皇「ハウルス2世」54歳(誕生14170223)

1471年8月6日-09:00|日本|大阪府大阪市住吉区|文明3年7月20日|筒井順永・十市遠清・箸尾為國らが遊佐五郎を追って河内へ出陣、若松城を落とす

1471年8月7日-09:00|日本|福井県|文明3年7月21日|朝倉孝景、国司と称し立烏帽子・狩衣の装束をつけたため国人たちの反感をかい、西軍の甲斐方に惨敗

1471年8月9日-01:00|パチン| ||<就任>第212代ローマ教皇「シクストゥス4世」(~14840812死去)

1471年8月13日-09:00|日本|福井県あわら市|文明3年7月27日|浄土宗中興の祖・第八世蓮如が吉崎御坊(吉崎別院)創建

1471年8月14日-01:00|ポーランド| ||<死去>オレシツァ公・ピートル公「コンラト9世」

1471年8月14日-01:00|ポーランド| ||<就任>オレシツァ公「マコジヤタ・ラフスカ」(~1475年退任)

1471年8月16日-09:00|日本| ||文明3年8月|<死去>能阿弥(75歳)画家、茶人、連歌師

1471年8月16日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明3年秋|稲が実らず大島村に餓死者多数

1471年8月20日-01:00|イタリア| ||<死去>フェララ・モデナ・レッジョ公「ホルリ」

1471年8月20日-01:00|イタリア| ||<即位>フェララ・モデナ・レッジョ公「エルコレ1世」(~15050125死去73歳)

1471年8月22日-01:00|チェコ| ||<即位>ホーヘンシュタイン王「ヴラジスラフ・ヤゲロンスキー」ハンガリー王、ポーランド王がジエシ4世の長男(~15160313死去)

1471年8月24日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||アルジラをポルトガルが支配

1471年8月28日 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||<就任>タンジール首長「オリベンス伯トリコ・アフォンソ・メロ」(~1484年)

1471年8月28日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||タンジールはポルトガルが所有(タンガー)

1471年9月8日-09:00|日本|福井県鯖江市|文明3年8月24日|朝倉氏、守護義敏の子松王丸(斯波義良)を推戴し、今立郡鯖江・新庄で甲斐氏と合戦、西軍甲斐氏にはじめて勝利

1471年9月15日-09:00|日本|岐阜県|文明3年閏8月|<死去>飛騨・近江・出雲・隠岐国守護「京極孫童子丸」

1471年9月15日-09:00|日本|広島県|文明3年閏8月|毛利豊元(元就の祖父)、京から領国に帰国すると、幕府への不信感から西軍に寝返り、大内政弘に従い旧領奪還

1471年10月-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| ||<就任>リガ・オニア騎士団団長「ヘルハルト・フォン・デア・ホルヒ」(1472年まで代行~1483年11月)

1471年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・ダントロ・サンマリナーニ」「マリノ・ベンチュリーノ」

1471年10月5日-09:00|日本|岐阜県|文明3年閏8月21日|<任命>飛騨・出雲・隠岐国守護「京極政経」(~永正5年10月25日(15081127)死去)

1471年10月10日-01:00|デンマーク/スウェーデン| |||スウェーデンの前王の甥のステン・ストゥレが、デンマーク王クルスティアン1世の軍を破って摂政に選ばれる

1471年10月24日-09:00|日本|福井県今立郡池田町|文明3年9月11日|朝倉敏景、小守護代家で斯波氏被官池田氏と清水谷で合戦、動きを牽制

1471年10月25日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明3年9月12日|<桜島文明大噴火>桜島北岳の北東山腹、大量の溶岩が黒神方面に流出し、多くの噴石と降灰により死傷者及び家屋の埋没が多数にのぼった

1471年10月31日-09:00|日本|鳥取県|文明3年9月18日|<死去>伯耆国守護「山名豊之」(足利義政の御供衆)謀反により謀殺される

1471年11月-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世、「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)と、パリの北方サンリスで「サンリス休戦協定」を締結

1471年11月8日-01:00|ドイツ| ||<死去>ニーダーヘッセン方伯「ルートヴィヒ2世正直伯」

1471年11月8日-01:00|ドイツ| ||<就任>ニーダーヘッセン方伯「ヴィルヘルム1世年長伯」ルートヴィヒ2世の上の息子(~1493年退位)

1471年11月9日-01:00|イタリア| ||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ第67代「クリストフォロ・モロ」

1471年11月10日-01:00|イタリア| ||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ第68代「ニコロ・トロン」(~1473年)

1471年11月12日-01:00|フランス| |||「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、常備軍「勅令隊」を創設

1471年11月23日-09:00|日本|滋賀県|文明3年10月12日|<死去>近江国守護「六角政堯」高頼に清水鼻城を攻められ自害⇒「六角虎夜叉丸」が継ぐ(~文明5(1473)年解任)

1471年12月2日 00:00|アイルランド/イギリス| ||<就任>アイルランド副王代行「キルデア伯爵トマス・フィッツ・エラルド」(~1475年7月)

1471年12月4日-09:00|韓国/朝鮮| ||<就任>朝鮮国領議政「申叔舟」(~14750723)

1471年12月4日-09:00|日本|広島県東広島市|文明3年10月23日|これより先、東西条の地下人ら徳政と号して蜂起、大内氏、毛利豊元に一揆の鎮圧を求める

1490迄 (1537件)

1471年12月23日-09:00|日本|滋賀県高島市|文明3年11月12日|六角高頼、近江国清水城の六角政堯を攻め自殺させる

1472年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「スレイ・ソリソティ2世」(~1475年) 王国内分裂

1472年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルターン朝スルターン「Hasan Shah」(~1484年)

1472年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「プー・ヴァンカバ 76世」(~1480年)

1472年-05:30|インド| |||ハマニー朝がヴィシヤナガル王国からコンカン地方を奪回

1472年-04:00|ロシア| |||モスクワ大公国のイヴァン3世、最後のビザンツ皇帝の姪ソフィアと結婚

1472年-03:00|ソマリア/ジブチ/エチオピア| |||<即位>アタル・スルタン国スルタン「Shams adDin」(~1487年)

1472年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ベネット・グリッティ」(~1473年)

1472年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「マフムト・パシャ・アンジエロヴィッチ」(2期目~1474年)

1472年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴォニアのレヴァル司令官「ヨハン・フライタグ・フォン・ローリング・ホーフェン」(~1485年)

1472年-02:00|トルコ| |||アク・コユル朝がアナトリアのトカトを占領

1472年-01:00|イタリア| |||<死去>ゲラチーナ公「Giacomo Orsini」

1472年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとダルマチア・パン「ダムジヤン・ホーバット」スラヴォニア・パン(~1476年)

1472年-01:00|イタリア| |||<即位>ゲラチーナ公「Raimondo Orsini」(~1488年死去)

1472年-01:00|ポズナニ・ヘルツェゴビナ| |||<即位>ポズナニ王「マティア・ヴオジヤリッチ・フルヴァティニッチ」名目上(~1476年)

1472年-01:00|赤道ギニア/ポルトガル| |||ビオ島は、フェルナント・ポ-大佐によって発見され、ポルトガル領宣言、フォルモサ島と名付けられた(後に、フェルナント・ポ-と改名)

1472年 00:00|ポルトガル| |||<死去>ヴィエウ公・ベージョ公「ジョアン」

1472年 00:00|イギリス| |||<就任>初代ウィンチェスター伯「ルイ・ド・グルトワーズ」(~14921124死去)

1472年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ヴィエウ公・ベージョ公「デ・イコ」(~1484年死去) フェルナントの息子

1472年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「ジョージ・プランタジネット」クラレンス公(~14780218死去)

1472年 00:00|モロッコ| |||<即位>ワッターズ朝スルターン「Abu Abd Allah al-Sheikh Muhammad ibn Yahya」(~1504年)

1472年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||ポルトガルがフォルモサ島(後にフェルナント・ポ-と命名)を発見し領有宣言

1472年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フロレス島・コルヴォ島長官「Joao de Teive」(~1475年)

1472年 07:00|メキシコ| |||<即位>テスココ国王「ネサワルピリ」ネサワルコヨトルの息子(~1515年)

1472年1月1日-01:00|赤道ギニア/ポルトガル| |||アンボン島がルイ・デ・セウラ船長によって目撃され、その後ポルトガルの領有権宣言アボム島(サントメ・プリンシペの一部として)と名づけた

1472年1月11日-09:00|日本| ||文明3年12月|一条兼良、源氏物語注釈書「花鳥余情」を著わす

1472年1月21日-09:00|日本|愛知県豊川市|文明3年12月11日|願主牧野古伯成時・導師幸弁阿闍梨、陀羅尼山財賀寺鎮守八所権現(財賀町)を造営

1472年2月5日-09:00|日本|福岡県行橋市|文明3年12月26日|<大内道頼の乱>大内道頼(教幸)が陶弘護に敗れ、豊前に逃亡して自刃/42歳(誕生:永享2(1430))大内政弘の伯父で馬ヶ岳城の城将

1472年2月9日-09:00|日本| ||文明4年|雪舟の阿育山金山寺図できる

1472年2月9日-09:00|日本|静岡県湖西市|文明4年|大慈悲院常霊山本興寺(鷺津)の番神堂建立

1472年2月9日-09:00|日本|静岡県袋井市|文明4年|備中洞松寺の和尚、曹洞宗献寿山鶴松院(山科)開創

1472年2月9日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明4年|藤原維保が曹洞宗広沢山長泉寺(大島)建立

1472年2月9日-08:00|中国/モンゴル| ||明・成化8年1月|明がモンゴルに対して大軍を派遣

1472年2月12日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化8年1月4日|朝鮮で淫祀禁止令を制定

1472年3月1日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化8年1月22日|朝鮮で奢侈禁止令を制定

1472年3月10日-09:00|日本|茨城県古河市|文明4年2月|騎西の佐々木氏ら成氏に従い古河城奪回、五十子を攻める

1472年3月30日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サヴォイア公「アメー・オ9世」

1472年3月30日-01:00|イタリア/フランス| |||<即位>サヴォイア公「フィリベルト1世」(~14820922死去)

1472年4月1日-01:00|サマリナ| |||<就任>サマリナ共和国執政「マウリツィオ・デ・イ・アントニオ」「サバティエーノ・デ・イ・ビアンコ」

1472年4月9日-09:00|日本|岩手県一関市|文明4年3月|大崎教兼(左衛門佐)が陸奥西磐井流郷油田に乱入し葛西朝信と戦う/伊達成宗が調停に乗り出し、戦いは終わった

1472年4月10日-01:00|フランス| |||<死去>メヌ伯「シャルル4世」

1472年4月10日-01:00|フランス| |||<就任>ギーズ伯・モテン伯「シャルル4世」兼メヌ伯「シャルル5世」(アンジュー公シャルル2世~14811210死去)

1472年4月23日-09:00|日本|大分県別府市|文明4年3月15日|立石天満宮宝殿が再営される

1472年4月26日-01:00|イタリア| |||イタリアのゲオルテで、マティ家に対する反乱が起こる

1472年5月3日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明4年3月25日|<死去>曹洞宗静富山則心寺(下小杉)開山華溪祖菊大和尚

1472年5月24日-01:00|フランス| |||<死去>ベリー公・ギューエンヌ公「シャルロット・フランス」(フランス王弟)病死(突進公の娘マリ-と婚約中であった)

1472年5月24日-01:00|フランス| |||<就任>ベリー公「フランス」ルイ11世の末子(~1473年)

1472年5月24日-01:00|フランス| |||アミアン、サン・カンタンを餌にブルゴーニュ公と表面的に和解、ギューエンヌとブルゴーニュを巻き上げる

1472年5月29日-09:00|日本|山梨県|文明4年4月22日|武田信昌は信濃佐久郡から甲斐八代郡まで攻め寄せた大井政朝(大井大炊介)の軍勢を撃退

1472年6月4日-01:00|フランス| |||フランス北部の「ピカルディ」で戦争を再開した「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、リール

1490迄 (1537件)

を陥落させる

- 1472年6月17日-01:00|イタリア| |||フィレンツェの庸兵隊がヴァルテラに入城/略奪や虐殺が行われる
- 1472年6月26日-09:00|日本|山梨県笛吹市|文明4年5月20日|甲斐の守護武田信昌が侵入してきた佐久郡の大井氏を主体とする信濃勢を花鳥山で戦い撃退
- 1472年7月11日-09:00|日本|愛知県津島市|文明4年6月6日|尾張国津島社本社の遷宮が行われる
- 1472年7月22日-01:00|フランス| |||ブルゴーニュ公シャルルが、ボージュを攻略
- 1472年7月25日-01:00|アントワープ| |||<死去>アントワープ公国元首「フォア伯爵ガストン4世」
- 1472年7月25日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国元首「フォア伯爵フランスコ1世」(~14830107死去)
- 1472年8月14日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化8年7月10日|朝鮮で遊女禁止令を制定
- 1472年8月24日-09:00|日本|奈良県奈良市|文明4年7月20日|大和で大風/元興寺仏堂転倒
- 1472年8月27日-09:00|日本|和歌山県伊都郡高野町|文明4年7月23日|高野山の多宝塔供養が行われる
- 1472年9月3日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文明4年8月|高頼、援軍の斎藤妙椿、畠山義就と共に、多賀高忠、京極政高を江北において破る/多賀高忠は越前に逃げる
- 1472年9月3日-09:00|日本|兵庫県|文明4年8月|<交替>但馬国守護「山名持豊」隠居⇒孫の「山名政豊」(~明応8年1月23日(1490313)死去)
- 1472年9月4日-09:00|日本|京都府乙訓郡大山崎町|文明4年8月2日|西軍・畠山義就勢、天王山の浦上則宗を攻撃/西軍、天王山を攻略/浦上則宗、天王山を奪回
- 1472年9月8日-09:00|日本|福井県坂井市|文明4年8月6日|<長崎の戦い>坂井郡長崎荘に閉籠していた甲斐勢下方衆を、朝倉氏が攻撃し敗走させる
- 1472年9月30日-09:00|日本|奈良県|文明4年8月28日|沢・芳野氏が宇陀郡で戦う/国人衆も巻き込んだ合戦となり、沢氏が勝利
- 1472年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジローモ・ディ・フランチェスコ・ベルツィ」「シモーネ・ディ・アントニオ・ベルツィ」
- 1472年10月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|文明4年9月3日|近江・坂本の馬借が蜂起、日吉十禅師社の下殿を焼く
- 1472年10月11日-09:00|日本|滋賀県|文明4年9月9日|東軍の多賀高忠、近江国を略定
- 1472年10月27日-09:00|日本|奈良県奈良市|文明4年9月25日|山城国の土一揆が奈良に侵入する/薬師寺などが焼かれる
- 1472年11月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ハラス・マジヤール」(~1475年1月)
- 1472年11月3日-01:00|フランス| |||ルイ11世が、ブルゴーニュ公シャルルと和解
- 1472年11月3日-09:00|日本/韓国| ||文明4年10月3日|幕府が朝鮮に使節を派遣
- 1472年11月16日-09:00|日本|京都府相楽郡精華町|文明4年10月16日|順永が南山城下狛の大北城を攻略、大内氏代官杉十郎は自害するが来援した杉右京に敗れる
- 1472年12月-01:00|イタリア| |||三つの彗星出現
- 1472年12月11日-01:00|アントワープ| |||<就任>アントワープ公国共同大公「ウルヘル司教ベレト・カトナ」(~15150108)
- 1472年12月16日-09:00|日本| ||文明4年11月16日|<死去>鷹司房平(62歳)元関白、左大臣
- 1472年12月18日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文明4年11月18日|波多野野守泰は数百の兵船を動員して壱岐を分治していた志佐・佐志・呼子・鴨打・塩津留の五氏の代官を屈伏させ壱岐一島の支配権を握った
- 1472年12月30日-09:00|日本| ||文明4年12月|一条兼良の「花鳥余情」(中世の「源氏物語」の注釈書)成立
- 1473年-05:30|インド| |||<建国>アガク国
- 1473年-05:30|インド| |||<即位>ハーンティヤ朝君主「Azhagan Perumal Parakrama Pandyan」(~1506年)
- 1473年-05:00|カザフスタン| |||<死去>カザフ汗国ハン「ケイ・ハン」
- 1473年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナストク「ヤロスラフ・ヴァシリエヴィチ」(~1477年)
- 1473年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエ公「ニコロ・コッ」(副公爵)」(~1475年)
- 1473年-02:00|トルコ| |||オスマン朝メフメト2世がアクユル朝軍をエルジンジャンで撃破
- 1473年-01:00|フランス| |||<死去>オマル伯「John6世」
- 1473年-01:00|フランス| |||<就任>オマル伯「Rene」(~15081210死去)
- 1473年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Simone di Mazara」(1期目~1474年)
- 1473年-01:00|フランス| |||<就任>モンペリアル伯「ハインリヒ」ウルヒ5世の次男、ヴァルテンベルク公エーバーハルト2世の弟(ヴァルテンベルク=ウラハ伯~1482年)
- 1473年-01:00|チャド| |||<即位>セワ朝国王「Ali Gajideni」(~1507年)
- 1473年 07:00|メキシコ| |||アステカがトラテロコを廃して支配権を拡大
- 1473年1月13日 00:00|チャノル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「リチャード・ハーレストン卿」(~1486年)
- 1473年1月22日-08:00|マレーシア| |||<死去>ケダ・スルタン国スルタン「アタウッラー・ムハンマド・シャー1世」
- 1473年1月22日-08:00|マレーシア| |||<即位>ケダ・スルタン国スルタン「ムハンマド・ジワザイナル・アディリン・ムアザム・シャー1世」(~15060615死去)
- 1473年1月29日-09:00|日本|石川県|文明5年|<交替>加賀国守護「富樫政親」⇒「富樫幸千代」(~翌年)
- 1473年1月29日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文明5年|妙覚山大泉寺(野中)万野原から大宮町に移転し再建
- 1473年1月29日-09:00|日本|福井県福井市|文明5年|朝倉孝景の帰依により、安養寺が一乗谷東新町に建立
- 1473年2月10日-09:00|日本|鳥取県|文明5年1月13日|<死去>伯耆国守護「山名教之」⇒3男の「山名之弘」が継ぐ(~文明8(1476)年)
- 1473年2月23日-01:00|オランダ| |||<死去>ゲルデルン公「アルノルト」
- 1473年2月23日-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルデルン公「カール(カレル)」(~14770105死去)

1490迄 (1537件)

1473年3月14日-01:00|フランス/スイス/ドイツ| |||バーゼル(バーセル、スイス)、コルマル(フランス東部)、ムルハウス(スイス)、ストラズブル(フランス東部)、ヘスター、バーデン(ドイツ)等が「低地連合」を結成し、「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)と戦うことを宣言
1473年3月17日 00:00|イギリス| |||<就任>ロズ公(スコットランド王位の法定推定相続人)・11代キリック伯「ジェームス・スチュワート」(~1480611スコットランド王ジェームス4世として即位)
1473年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「チェッコ・ディ・ジョヴァンニ・ダ・ヴァッレ」「セラフィノ・ディ・ミケレ」
1473年4月14日-09:00|日本|岐阜県|文明5年3月17日|小笠原家長・木曾両軍は、東美濃に攻め込み、守護代・斎藤妙椿が守る土岐氏の居城・大井城と荻島城を攻め落とす
1473年4月15日-09:00|日本| |||文明5年3月18日|<死去>「山名持豊(山名宗全)」病没(70歳)元但馬・備後・安芸・伊賀・播磨守護/応仁・文明の乱の西軍総帥
1473年5月20日-01:00|イタリア| |||ベネチアで新しい造船所建設の法令
1473年6月6日-09:00|日本|大阪府|文明5年5月11日|<任命>摂津国守護「細川政元」勝元の嫡子(8歳~永正3(1506)年4月)
1473年6月6日-09:00|日本|京都府|文明5年5月11日|<任命>丹波国守護「細川政元」勝元の嫡子(8歳~文亀2(1502)年9月)
1473年6月6日-09:00|日本|京都府京都市|文明5年5月11日|<死去>幕府管領・土佐・讃岐・丹波・摂津国守護「細川勝元」応仁の乱で東軍の総大将だった(44)
1473年6月6日-09:00|日本|高知県|文明5年5月11日|<任命>土佐・讃岐国守護「細川政元」勝元の嫡子(8歳~永正4年6月23日(15070801)暗殺される)
1473年6月11日-02:00|キプロス| |||<死去>キプロス王・キリヤ・アルメニア王国国王「ジャック2世ろくでなし王」
1473年6月11日-02:00|キプロス| |||<就任>キプロス王国摂政「カトリヌ(カリーナ・デ・ルシニャーノ)」(~14740826)
1473年6月28日 00:00|イギリス| |||<死去>シュルズベリー伯・ウォーターフォード伯「ジョン・タルボット」
1473年6月28日 00:00|イギリス| |||<就任>シュルズベリー伯・ウォーターフォード伯「ジョージ・タルボット」先代の息子(~15380726死去)
1473年7月24日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「ダラム司教ローレンス・ブーズ」(~14740527)
1473年7月27日-01:00|フランス| |||<死去>ロレーヌ(ロートリンゲン)公兼カラリア公(ホーリ王の推定相続人の称号)「ニコラ1世」
1473年7月27日-01:00|イタリア| |||<就任>カラリア公(ホーリ王の推定相続人の称号)「カルロ4世」ジャン2世の従弟、ニコラ1世の従妹ジャンヌの夫(メヌ伯シャルル5世~14811210死去)
1473年7月27日-01:00|フランス| |||<即位>ロレーヌ(ロートリンゲン)公「ヨランド」ルネ1世とイザベルの娘、ルネ2世の母(~25日),「ルネ2世」ジャン1世の玄孫(~15081210死去)
1473年7月28日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネチア共和国ドージェ第68代「ニコロ・トロン」
1473年8月3日-09:00|日本|石川県白山市|文明5年7月9日|<加賀山内の戦い>弟の富樫幸千代達と兄の富樫政親が戦う/幸千代が甲斐敏光を伴って白山麓の山内に隠れ暮らしていた(逼塞)兄の政親を襲撃、追い込まれていた兄の政親は抵抗むなしく敗れて、越前守護の朝倉孝景の下に亡命
1473年8月13日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネチア共和国ドージェ(元首)「ニコロ・マルチエロ」(~14741201)
1473年8月26日-09:00|日本|静岡県磐田市|文明5年8月3日|<見付城の戦い>今川義忠、横地鶴寿・勝間田修理亮を率い、見付城に遠江守護代狩野宮内少輔・吉良氏家臣で前普広院領河勾庄代官巨海新左衛門尉成綱を攻める/今川方狩野加賀守子六郎討死
1473年8月28日-02:00|キプロス/トルコ| |||<即位>キプロス王・キリヤ・アルメニア王国国王「ジャック3世」(~14740826死去)
1473年8月28日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Adolph1世」
1473年8月28日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Albert6世」(~14750119死去)
1473年8月31日-09:00|日本|福井県あわら市|文明5年8月8日|甲斐八郎が越前守護の朝倉孝景を細呂宜で破る
1473年10月-02:00|エジプト| |||マムルーク朝スルタン直属のマムルーク兵が反乱
1473年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メット・ディ・メット・ボネリ」「サバティエーノ・ディ・ビアンコ」
1473年10月21日-01:00|イタリア| |||ベネチアでピエトロ・ヴェルツィ銀行倒産
1473年10月21日-09:00|日本|滋賀県|文明5年9月30日|<交替>近江国守護「六角虎夜叉丸」解任⇒「京極政高(政経)」(~文明10(1478)年)
1473年10月22日-09:00|日本|福井県あわら市|文明5年10月1日|越前に甲斐八郎の軍勢が打ち入り、坂井郡河口荘・坪江郷を焼き払う
1473年11月13日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文明5年10月23日|<淀城の戦い>畠山義就、大内政弘と細川政元が戦い引き分け
1473年11月14日-02:00|キプロス| |||カリーナ・コルロ女王に対するキプロス人の反乱
1473年11月19日-09:00|日本|三重県松阪市|文明5年10月29日|斎藤妙椿伊勢国梅津城を落とす
1473年11月20日-01:00|クロアチア| |||<就任>スラヴォニア全土のバン「イワン・エルヌシュト」(~14760303死去)
1473年11月20日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|文明5年11月|巨海新左衛門尉、今川義忠の侵入を恐れ引間城を築城
1473年11月20日-09:00|日本| |||文明5年11月1日|<死去>桃林安栄(墨溪)(不明)画僧
1473年11月23日-09:00|日本|大阪府大東市|文明5年11月4日|筒井順永が河内に出兵し、西軍方と野崎で戦う
1473年11月24日-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワラキア総督・領主「バサラブ3世ライオット長老」(1回目~12.23)
1473年12月7日-01:00|ドイツ| |||<再任>ブラウンシュヴァイク＝グアルフェンビュッテル侯「グイルヘルム1世」グアルフェンビュッテルを奪還(~14820725死去)
1473年12月7日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブラウンシュヴァイク＝グアルフェンビュッテル侯「ハインリヒ2世」
1473年12月7日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク＝グアルフェンビュッテル侯「フリードリヒ3世」グイルヘルム1世の息子、弟のグイルヘルム

1490迄 (1537件)

ム2世と共同統治(～14950305死去)

- 1473年12月9日-09:00|日本|静岡県磐田市|文明5年11月20日|<見付城の戦い>今川義忠、見付城攻落し遠江守護代狩野宮内少輔(斯波氏遠州郡代狩野加賀守没後に子の狩野次郎を自害させ家督奪っていた)を討死させる
- 1473年12月10日-09:00|日本|長野県|文明5年11月21日|<任命>信濃国守護「小笠原政秀」(～文明9(1477)年)
- 1473年12月11日-09:00|日本|愛媛県|文明5年11月22日|<任命>伊予国守護「河野教通」(～文明9(1477)年)
- 1473年12月13日-09:00|日本|埼玉県本庄市|文明5年11月24日|<死去>相模国守護「上杉政真」(扇谷上杉家当主)武蔵国五十子で古河公方足利成氏と戦い敗死(享年23歳)
- 1473年12月23日-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワラキア総督・領主「ラドゥ3世美候」(2回目～1474年3月)
- 1474年-08:00|インドネシア| ||<即位>サム・ラ・パ・サイ王国第14代スルタン「ムハンマド・シャー2世」(～1495年)
- 1474年-05:30|インド| ||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Rukunuddin Barbak Shah」
- 1474年-05:30|インド| ||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Shamsuddin Yusuf Shah」(～1481年死去)
- 1474年-04:00|ロシア| ||ロストフ・ヴェリキーがモスクワに割譲
- 1474年-03:00|イェメン| ||<即位>ラッシー朝イマム「アンナジール・ムハンマド・ビン・ユスフ」(～14800808死去)、「アルハデ・イ・イズ・アデ・イン・ビン・アルハッサン」アルハデ・イ・アリの孫(～14950418死去)
- 1474年-02:00|トルコ| ||<就任>オスマン帝国大宰相「ゲディク・アーメト・パシャ」(～1476年)
- 1474年-01:00|マルタ/イタリア| ||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazarà」(3期目～1475年)
- 1474年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| ||<就任>ボスニア総督「シナン・ベイ」(1回目～同年)⇒「アルノト・ダウト・ベイ」(1回目～1475年)
- 1474年-01:00|デンマーク/ドイツ| ||<昇格>ネルシュタイン伯「クリスチャン1世」⇒ネルシュタイン公(～1481年)
- 1474年-01:00|ドイツ| ||リューゲン公国がネンメルン＝ヴァルガースト公国領になる
- 1474年1月1日 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| ||ポルトガルがアノ・ボム島を発見
- 1474年1月7日-09:00|日本| ||文明5年12月19日|<辞任>室町幕府8代将軍「足利義政」
- 1474年1月7日-09:00|日本| ||文明5年12月19日|<任命>室町幕府9代将軍「足利義尚」(～延徳元(1489)年3月26日死去)
- 1474年1月7日-09:00|日本| ||文明5年12月19日|<任命>室町幕府管領「畠山政長(東)」(～26日、在任7日で辞任)
- 1474年1月14日-09:00|日本| ||文明5年12月26日|<辞任>室町幕府管領「畠山政長(東)」
- 1474年1月18日-09:00|日本|石川県|文明6年|<再任>加賀国守護「富樫政親」(～長享2年6月9日(14880717)死去)
- 1474年1月18日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳5年|<廃位>チャンパ王「槃羅茶遂」滅亡
- 1474年1月18日-08:00|中国| ||明・成化10年1月|明が甘肅・寧夏など三辺に総制をおく
- 1474年2月-01:00|ドイツ/イギリス| ||ハンザ同盟とイギリスがユトレヒト条約を締結
- 1474年2月4日-09:00|日本|福井県南条郡南越前町|文明6年1月18日|甲斐八郎勢を朝倉孝景勢が越前国杣山城で破る
- 1474年2月17日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>フライアド・ナトリア長官「Alvaro Martins Homem1世」(～1483年)
- 1474年2月17日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<分割>イエズ・クリスト島ト・ナトリア⇒フライアド・ナトリアとアングラト・ナトリア
- 1474年3月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワラキア総督・領主「パサラフ3世ライオット長老」(2回目～10.20)
- 1474年3月10日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>サミゲル島ト・ナトリア長官「Rui Goncalves da Camara1世」(～14971127死去)
- 1474年3月10日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<設立>サントマリア島ト・ナトリア、サミゲル島ト・ナトリア
- 1474年3月29日-01:00|フランス| ||コンスタンツ永久同盟結成/ゲルマン・ブルジョアスト・ド・シルナンがお膳立てしたものでスイス諸都市がスイスとも同盟し突進公に対抗
- 1474年3月30日-01:00|オーストリア/スイス| ||オーストリアがスイスの自立を承認
- 1474年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメ・ディ・アントニオ」「ハスキーノ・ディ・アントニオ」
- 1474年4月2日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| ||<就任>アングラト・ナトリア長官「Joao Vaz Corte Real」(～14960702死去)
- 1474年4月4日-01:00|スイス| ||スイス同盟が、ブルゴニオン公シャルルに対抗して、オーストリアなどの諸都市と防衛同盟を結ぶ
- 1474年4月7日-09:00|日本|山形県|文明6年3月21日|<死去>羽州探題「最上義春」⇒「最上義秋」が継ぐ(～文明12年2月26日(14800406)死去)
- 1474年4月17日-09:00|日本|鹿児島県|文明6年4月1日|<死去>薩摩・大隅・日向国守護「島津立久」(島津氏第10代当主、応仁・文明の乱では名目上東軍に所属)⇒子の「島津忠昌」が継ぐ(～永正5年2月15日(15080316)自殺)
- 1474年4月19日-09:00|日本| ||文明6年4月3日|東西両軍の主将山名政豊と細川政元の間に和睦が成立
- 1474年5月22日-09:00|日本|京都府|文明6年5月7日|<変更>丹後国守護「武田国信」⇒「一色義春」(～文明16年9月4日(14840923)死去)
- 1474年5月27日 00:00|イギリス| ||<就任>イングランド連邦大法官「リカン・司教トマス・ロザラム」(1期目～14750610)
- 1474年5月28日 00:00|イギリス| ||<就任>初代ヨーク公「リチャード・オブ・シュールズベリー」(⇒14760612兼ノッティンガム伯～14830903死去)
- 1474年5月31日-09:00|日本|福井県|文明6年5月16日|甲斐勢と朝倉勢が崩河(九頭竜川)、吉田郡殿下、足羽郡桶口・波着山・岡保などで合戦(～閏5月15日)
- 1474年6月11日-01:00|フランス/スイス| ||フランス国王ルイ11世が、スイスの独立を承認する「永久協定」を認可
- 1474年6月19日-09:00|日本|福井県敦賀市|文明6年閏5月5日|近江から進攻した甲斐勢と朝倉氏が敦賀天神浜で合戦
- 1474年6月25日-01:00|イタリア| ||トスカリが球体説に基づく世界地図を作成
- 1474年6月29日-09:00|日本|福井県|文明6年閏5月15日|朝倉孝景が甲斐八郎を崩川(九頭竜川)で破る

1490迄 (1537件)

1474年7月5日-01:00|ポ-ランド/ドイツ| |||<死去>ホ-ンメルン=グ-オルガ-スト-シュテッティン公「エリク2世」
1474年7月5日-01:00|ポ-ランド/ドイツ| |||<就任>ホ-ンメルン=グ-オルガ-スト-ホ-ンメルン=シュテッティン公「ホ-ギ-スラフ10世大公」(⇒1478年ホ-ンメルン公~15231005死去)
1474年7月17日-09:00|日本|長野県長野市|文明6年6月4日|善光寺如来堂が焼失
1474年7月22日-01:00|フランス/イギリス| |||ブルゴ-ニュ公シャルが、イングランド王エドワード4世と同盟を結ぶ
1474年8月1日-09:00|日本|静岡県掛川市|文明6年6月19日|<小夜中山戦い>堀越陸奥守貞延1千、横地四郎兵衛長秀・勝間田修理亮・鶴見氏に敗れる/牛頭で堀越貞延討死/遺骸は鞍と共に、鞍骨池に投げ込まれる/堀越陸奥守貞延の子、堀越海蔵寺の喝食義秀(44歳)還俗して瀬名陸奥守一秀と名乗り家督継ぐ
1474年8月4日-08:00|中国| |||明・成化10年閏6月22日|明が清水営から花馬池までの長城を築く(陝西・寧夏方面)
1474年8月15日-09:00|日本|鹿児島県|文明6年7月3日|<死去>伏見宮貞常親王(50歳)皇族
1474年8月18日-09:00|日本|京都府|文明6年7月6日|<任命>山城国守護「山名政豊」(~文明10(1478)年)
1474年8月26日-02:00|キ-プロス/トルコ| |||<死去>キ-プロス王国国王・キキア-アルメニア王国国王「シ-ヤック3世」
1474年8月26日-02:00|キ-プロス/トルコ| |||<即位>キ-プロス王国国王・キキア-アルメニア王国国王「カトリヌ(カテリーナ)女王」(~14890226滅亡)
1474年9月-02:00|ル-マニア| |||<就任>ワキア対立総督・領主「ラト-ウ3世美候」(3回目~10月)
1474年9月7日-09:00|日本|石川県|文明6年7月26日|<加賀一向一揆(加賀国)>加賀で最初の一向一揆、文明の一揆が勃発/応仁の乱後、加賀の守護職を巡って富樫政親と幸千代の兄弟争いが勃発しました。幸千代派と高田門徒の結合に対抗して、本願寺門徒が政親派に加勢する形で権力抗争に介入、幸千代派を打倒
1474年9月7日-09:00|日本|京都府京都市|文明6年7月26日|<北野の戦い>北野南ノ木戸口にて東軍に転じた山名政豊勢、畠山、大内、土岐勢を破る
1474年9月21日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト-デ-ッサウ侯「George1世」
1474年9月21日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト-デ-ッサウ侯「Ernest1世」(~15160622死去)、「George2世」(~15090425死去)、「Sigismund3世」(~14871127死去)、「Rudolph4世」(~15100907死去)共同統治
1474年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「セラフィノ-デ-イ-ミケレ」「マリノ-ダン-アントニオ-ジ-ヤンニ-ニ」
1474年10月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ビ-ンネブルク伯「アドルフ12世」
1474年10月9日-01:00|ドイツ| |||<就任>シャウエンブルク伯・ホルシュタイン=ビ-ンネブルク伯「エリク1世」(~14920324死去)
1474年10月17日-09:00|日本|岐阜県|文明6年9月7日|<死去>土岐持益(69歳)元侍所頭人、美濃守護
1474年10月20日-02:00|ル-マニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ハ-サラフ4世若候」(~12月)
1474年10月25日-01:00|フランス/スイス| |||スイス同盟がブルゴ-ニュ公とブルゴ-ニュ戦争を起こす
1474年10月25日-09:00|日本|京都府|文明6年9月15日|若狭守護武田国信の丹後支配失敗に終わる、武田氏重臣逸見宗見(真正)丹後上山田城で自刃
1474年11月2日-01:00|イタリア| |||ベ-ネチア、ミラノとフィレンツェとの同盟更新
1474年11月3日-01:00|フランス/スイス| |||スイス諸州、「コンスタンズ連合」と共同し、「ブルゴ-ニュ伯領」に侵攻し、「エリケルの戦い」では優勢となり、フランス東部のフランス-コンテ-のジ-ユを占領
1474年11月23日-09:00|日本|石川県小松市|文明6年10月14日|<蓮代寺城の戦い>加賀一向一揆が蜂起し、富樫政親の軍が、西軍の弟幸千代の蓮代寺を攻める
1474年12月-02:00|ル-マニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ラト-ウ3世美候」(4回目~1475年4月)
1474年12月1日-01:00|イタリア| |||<死去>グ-ェネチア共和国ド-ージェ(元首)「ニコロ-マルチエロ」
1474年12月9日-09:00|日本| |||文明6年11月|雪舟の山水画卷できる
1474年12月9日-09:00|日本|石川県|文明6年11月1日|加賀において、富樫幸千代方と同政親方の合戦が始まる
1474年12月11日-01:00|スペイン| |||<死去>カスティーリヤ=アラゴン連合王国国王・レオン国王「エンリケ4世無能王」/49歳(誕生:1425)
1474年12月12日-01:00|スペイン| |||<即位>レオン国王・カスティーリヤ国王・トラスタマラ公「イサベル1世」ジョン2世の娘(~15041126死去53歳)
1474年12月14日-01:00|イタリア| |||<就任>グ-ェネチア共和国ド-ージェ(元首)「ピ-エトロ-モチエニ-ゴ」(~14760223死去)
1474年12月28日-09:00|日本|静岡県磐田市|文明6年11月20日|<見附城の戦い>駿河守護今川義忠(今川義元の祖父)が、斯波氏の遠江へ侵攻開始/遠江守護代狩野氏の見附城を攻撃、滅亡させる
1475年-08:00|マレーシア| |||<死去>ハ-ハン-スルタン「ムハンマド-シャー」
1475年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダ-王国マハラジャ「Prabu Susuk tunggal」「Ningrat Kancana/Prabu Dewa Nisk alaj」(~1482年)
1475年-08:00|インドネシア| |||<即位>ト-ウマク王国スルタン「ラテン-パ-ター1世」(~1504年)
1475年-08:00|マレーシア| |||<即位>ハ-ハン-スルタン「アフマド-シャー1世」(~1495年)
1475年-08:00|フィリピン/タイ| |||ジョホールのシャリフがミンダナオ島のコハバト地方を占領
1475年-04:00|ロシア| |||アナハ(1300年以降ジェノヴァのガザリアの一部)のオスマン帝国支配(1568年からはケ-エ-ヤレ、1774年からトビヰン-エ-ヤレの一部)
1475年-03:30|イラン| |||<即位>ホルムズ-シャー「サルガ-ル-シャー1世」(~1505年)
1475年-03:00|イエメン| |||<即位>ラッシー朝イマム「アルマンスール-ムハンマド-ヒン-アリ-アルワハリ」(~1504年)
1475年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>グ-ェネチアのカンデ-リア公「ユスタチオ-バルビ」(~1477年)
1475年-02:00|ウクライナ/トルコ| |||オスマン朝軍がクリミア半島のジェノヴァ人植民市を占領
1475年-02:00|ギリシャ/トルコ| |||サモス島はオスマン帝国の一部
1475年-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>サルツォ侯「ルド-ヴィ-コ1世」

1490迄 (1537件)

1475年-01:00|スペイン| |||<就任>アストゥリアス公(スペイン国王の推定相続人)「イサベル」アナの従妹、イサベル1世の長女(〜1480年)

1475年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューラツォ執達吏・長官「フランチェスコ・マルチェッロ」(〜1477年)

1475年-01:00|ポーランド| |||<就任>オレシツァ公「バルバラ」(〜1478年退位)

1475年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giorgio de Xabica」(2期目〜1476年)

1475年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ハリ・ベイ」(〜1477年)

1475年-01:00|イタリア/フランス| |||<即位>サルツツォ侯「ルトヴィーゴ2世」(〜15040127死去)

1475年-01:00|ポーランド| |||<退任>オレシツァ公「マウゴジヤ・ラフスカ」

1475年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ギマランイス公「フェルナンド2世」(〜14830620死去)

1475年 00:00|イギリス| |||<剥奪>13代オックスフォード伯「ジョン・ド・ウァー」(〜1485年回復〜15130310死去)

1475年 00:00|イギリス| |||カストンが英訳「トイ歴史物語」を出版

1475年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>グランド・サード島ナトリア長官「Duarte Barreto do Couto」

1475年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>グランド・サード島ナトリア長官「Vasco Gil Sodre」(〜1485年)

1475年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>グランド・サード島北部のサンタクルーズ・ド・ナトリア(〜1485年)

1475年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「マントウールン・ハーン」(〜1479年没)

1475年1月15日-01:00|スペイン| |||<即位>カスティリヤ国王・トラстамара公「フェルナンド5世カトリック王」アラゴン王ジョン2世の息子(〜15041126退位〜15160123死去63才)妻のイサベル1世と共同統治

1475年1月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>アンハルト・ケーテン侯「Albert6世」

1475年1月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>アンハルト・ケーテン侯「Philip」(〜15001113死去)、「Magnus」(〜1508年〜15241029死去)、「Adolph2世」(〜1508年〜15260324死去)

1475年1月28日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フローレス島・コルヴォ島ナトリア長官「Ferna Teles de Meneses」(〜14770401死去)

1475年1月28日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>フローレス島・コルヴォ島ナトリア

1475年1月30日-01:00|フランス/イタリア| |||ミラのスフォルツァと突進公がモンカリエ条約を締結/ルイの妹でもあるサワ公夫人イザラントがミラとブルゴーニュの接近を密かに画策していた

1475年2月-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヤノ・ボングラッチ」(3回目〜1476年)

1475年2月5日-09:00|日本|佐賀県|文明6年12月29日|<中岳合戦>大村純伊が大村領萱瀬村島甲中岳での戦いで有馬貴純に敗れ、大村領の長崎、浦上、茂木方面は有馬領となり長崎純俊が稲佐に移る

1475年2月12日-01:00|チェコ| |||ライプツィヒ王間の領土分割:ウラジスラフはボヘミア、ルサチア、シレジアの一部を保持し、マティアスはモラヴィアとシレジアを保持

1475年2月24日-01:00|ドイツ| |||<死去>バーテン・バーテン辺境伯「カール1世」

1475年2月24日-01:00|ドイツ| |||<就任>バーテン・バーテン辺境伯「クリストフ1世」(〜1515年)

1475年3月-02:00|ウクライナ| |||<復位>クリミア・ハン国ハン「ハイデル」(2期目〜同年)⇒「ヌル・デウレト」(3期目〜1478年)

1475年3月8日-09:00|日本|静岡県|文明7年2月|西軍・甲斐敏光、幕府に降伏(足利義政に遠江守護代に任命される)

1475年3月10日-01:00|フランス| |||ルイ11世が、ルシヨンとセルターニュの反乱を鎮圧

1475年3月21日-09:00|日本|福井県大野市|文明7年2月14日|朝倉孝景軍、大野郡犬山城の二宮勢を夜襲

1475年3月29日-09:00|日本|愛知県岡崎市|文明7年2月22日|安城松平氏初代の松平親忠が大樹寺を創建し、勢誉愚底(30)を開山とする

1475年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「バサラブ3世ライオット長老」(3回目〜1476年10月)

1475年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・アントニオ・ベルツツィ」「シモーネ・ディ・チェッコ・ディ・ベネット」

1475年5月1日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世、ブルゴーニュ公シャルル突進公との休戦協定が失効、速攻で戦闘開始/ソム、アルトワ、エノーを占領

1475年5月14日 00:00|イギリス| |||<就任>ドーセット侯「Thomas Grey」(〜15010920死去)

1475年5月20日-09:00|日本| ||文明7年4月16日|<死去>心敬(70歳)天台宗の僧、連歌師

1475年6月5日-09:00|日本|奈良県御所市|文明7年5月2日|葛上郡で吐田・檜原氏が合戦/吐田方には越智・古市氏が、檜原方には河内・紀州勢が合力

1475年6月6日-02:00|ウクライナ/トルコ| |||オスマン帝国がカファを支配し、ジェノバの支配を終わらせた

1475年6月10日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官代理「ロチェスター司教ジョン・オルコック」(1期目〜9. 29)

1475年6月17日-09:00|日本|京都府京都市|文明7年5月14日|東軍方成身院順宣・十市遠清・箸尾為國らが西軍方越智家栄・古市胤栄らを春日社頭で破る/順永の子舜覚房(順尊)・佐川衆らは大内氏の兵を下粕・天神河原で破る

1475年6月19日-01:00|フランス| |||劣勢の「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、神聖ローマ皇帝フリードリヒ3世と休戦

1475年6月22日-01:00|スイス| |||モラーの戦い/スイス同盟軍がモラー(ムルテン)城のブルゴーニュ公シャルルの侵攻を迎え打ちこれを破る

1475年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド副王代行「ミス司教ウィリアム・シャーウッド」(〜1478年2月)

1475年7月3日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|文明7年6月|尾張国水野貞守、乾坤院を建立

1475年7月4日-01:00|フランス| |||「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)と結び、フランス王と対立しているイングランド王エドワード4世がフランス北部のカレーに上陸

1475年7月10日-09:00|日本|奈良県大和高田市|文明7年6月8日|筒井順尊が万歳城を攻めるが敗れて追われ河内へ逃げ込む

1475年7月12日-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||モルダヴィアはハンガリーの家臣(〜1479年)

1475年7月22日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|文明7年6月20日|大檀那井伊先若丸・西尾伊賀守藤原親範、万福寺

1490迄 (1537件)

造営

- 1475年8月2日-09:00|韓国/朝鮮| |||<就任>朝鮮国領議政「鄭昌孫」(~14850411)
- 1475年8月10日-09:00|日本|愛知県知多郡東浦町|文明7年7月9日|<死去>曹洞宗萬世山一雲斎・乾坤院開山川僧慧濟
- 1475年8月19日-01:00|ベルギー/ト・イツ/オランダ| |||<死去>ベルギー公・ユリヒ公・ラフェンスベルグ伯「ゲルハルト7世」
- 1475年8月19日-01:00|ベルギー/ト・イツ/オランダ| |||<就任>ベルギー公・ユリヒ公「グィルヘルム4世」兼ラフェンスベルグ伯「グィルヘルム3世」(~15110906死去)
- 1475年8月24日-09:00|日本|静岡県|文明7年7月23日|駿河守護・今川義忠、遠江勝田氏を破る
- 1475年8月24日-09:00|日本|福井県福井市|文明7年7月23日|<井野部の合戦>朝倉氏、土橋城に守護義敏が在城のため、二宮氏を城外におびき出し合戦、二宮将監敗死
- 1475年8月29日-01:00|フランス/イギリス| |||フランス王ルイ11世、イングランド王エドワード4世とフランス北部ピカデー地方のピキエで「ピキエ条約」を締結し、7万5千エキュ(2万フラン)を支払う代わりに、イングランド王エドワード4世に「フランス遠征」を断念させる
- 1475年9月 00:00|イギリス| |||<死去>エセター公「ヘンリー・ホランド」
- 1475年9月1日-09:00|日本|静岡県菊川市|文明7年8月|月山守満、横地氏に招かれて大竜山興獄寺を建立
- 1475年9月6日-09:00|日本|大阪府|文明7年8月6日|<文明7年大阪湾高潮災害>畿内近国を台風が襲い、和泉、摂津の両国は高潮のため死者4000人余
- 1475年9月10日-01:00|ポーランド| |||<即位>フョツク公「ヤシュ2世」がミェシ3世の兄弟(~14950216死去、公国はポーランドに吸収)
- 1475年9月13日-01:00|フランス| |||フランス王ルイ11世、「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)の求めにより、9年間の「休戦条約」を結ぶ
- 1475年9月15日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明7年8月15日|<桜島文明大噴火>桜島南岳南西山腹から噴火、降灰量多く、野尻方面に溶岩が流れ海中に入り燃崎を生成
- 1475年9月21日-09:00|日本|石川県|文明7年8月21日|加賀国守護の富樫政親が勢力を増した一向宗門徒を危惧し、弾圧を開始/富樫政親の命令で加賀国能美・江沼郡の武士に高田専修寺派の者どもが吉崎に押し寄せ放火して吉崎の建物を1軒も残らず焼いた
- 1475年9月28日-09:00|日本/中国| ||文明7年8月28日|幕府、遣明船を派遣/明に銅銭・書簡を求める
- 1475年9月29日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「リカン司教トマス・ロザム」(2期目~14830422)
- 1475年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「アントニオ・デ・イ・マリノ」「シモネ・デ・イ・マリノ・デ・イ・ジョヴァンニ」
- 1475年10月6日-09:00|日本|滋賀県|文明7年9月7日|京極政経が京極高頼を近江国で撃破
- 1475年11月17日-01:00|フランス| |||「ブルゴーニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、フランス北東部のロレーンに侵攻し全土を占領
- 1475年11月26日-09:00|日本|滋賀県|文明7年10月28日|土岐成頼が京極高頼を支援/延暦寺衆徒・多賀高忠らと戦い勝利
- 1475年11月29日-09:00|日本|静岡県周智郡森町|文明7年11月|橘谷山大洞院(橘)炎上
- 1475年11月29日-09:00|日本|広島県|文明7年11月|<交替>安芸・備後国守護「山名是豊」解任⇒「山名政豊」(~長享元(1487)年)
- 1475年12月10日-09:00|日本|愛知県津島市|文明7年11月12日|尾張国津島社本社の遷宮が行われる
- 1475年12月16日-09:00|日本|愛知県|文明7年11月18日|斯波義廉、上四郡守護代織田敏広(西軍)に擁立されて尾張へ入国/東軍に属する下四郡守護代・織田敏定を破る
- 1475年12月17日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文明7年11月19日|宝厳寺の一遍の木像が造られる
- 1475年12月19日-01:00|フランス| |||<死去>サンポール伯「ルイ」兼リー伯「ルイ1世」
- 1475年12月19日-01:00|フランス| |||<就任>サンポール伯「ピエール2世」(~14821025死去)
- 1475年12月19日-01:00|フランス| |||<就任>リー伯「ルイ2世」(~1487年死去)
- 1475年12月30日-09:00|日本|福井県大野市|文明7年12月3日|守護斯波義敏大野土橋城を退去、朝倉氏唯一残っていた反朝倉の拠点土橋城を落とし、越前の主要拠点を甲斐氏より奪う、守護義敏は朝倉氏に守られ上洛
- 1476年-07:00|カンボジア| |||<即位>カンボジア王国国王「トメ・レア71世」(~1504年)
- 1476年-03:30|イラン| |||<即位>パダスパニド朝(Kojur)君主「Taj-al-Dawla ibn Eskandar」(~1491年)
- 1476年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「Hoca Sinan Pasha」(~1477年)
- 1476年-02:00|ルーマニア/ハンガリー| |||<就任>トランシルヴァニア総督「ヘーター・ゲレフ」(~1479年3月)
- 1476年-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「スタンカス・ステイグイ・イ・アイティス」(~1477年)
- 1476年-02:00|ルーマニア/トルコ| |||オスマン朝軍がモルダヴィアに遠征
- 1476年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovanni di Mazara」(4期目~1477年)
- 1476年 00:00|チャネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー・島知事「エドワード・ド・コートニー」(~1477年)
- 1476年 06:00|中米| |||インカ帝国のパチャケティ・インカ、チム王国を打倒しエクアドル南部を支配下におさめる
- 1476年1月-01:00|スイス/フランス| |||ブルゴーニュ公シャルル突進公、スイス・グランド・ソヌ要塞を攻撃/2万5千人と見積もられる傭兵を引き連れていった勝利後敵側の四百人を絞首刑にし他は溺死刑にした
- 1476年1月14日 00:00|イギリス| |||<死去>>ノーフォーク公・ノッティンガム伯・サリー・ワレン伯「ジョン・ド・モフレー」
- 1476年1月27日-09:00|日本|青森県三戸郡三戸町|文明8年|三戸南部19代通継のとき、津軽を治めていた雅楽頭(ウタガハ)信忠(三戸南部11代信長の弟茂行の子孫)が、領主になろうとした家来の三代利衛門に殺される
- 1476年1月27日-09:00|日本|鳥取県|文明8年|<交替>伯耆国守護「山名之弘」⇒「山名元之」(~文明13(1481)年8月)
- 1476年1月27日-09:00|日本|長崎県平戸市|文明8年|平戸の松浦豊久は佐々を併有した
- 1476年2月22日-01:00|ポーランド| |||<死去>グワグフ公「ヘンリー11世」

1490迄 (1537件)

1476年2月22日-01:00|ポ-ランド| |||<就任>グ-ウガ-フ公「ジャン2世the Mad」(~1488.11)
1476年2月23日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ド-ージェ(元首)「ピ-エロ-モチーネコ」
1476年2月23日-01:00|スイス/フランス| |||「ブルゴ-ニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、スイスの「ヌ-シャテル湖」沿いにあるグ-ランド-ソ-ン
を占領
1476年2月25日-09:00|日本|広島県呉市|文明8年2月1日|小早川佐利、願主として、大崎下島大条浦の七郎大明神
社殿を造立を併有した
1476年2月28日-09:00|日本|静岡県牧之原市|文明8年2月4日|駿河守護今川義忠、遠江国横地・勝間田両城を攻略
1476年3月 00:00|イギリス| |||<就任>初代オ-メント-侯「ジェームズ・スチュアート」(⇒1481年兼ロバ-⇒1488年ロバ-⇒1504.1死去
)
1476年3月 00:00|ポルトガル/スペイン| |||ポルトガルがカスティリアの王位継承問題に介入し、トロにおいてカスティリヤ=アラゴン連合
軍と戦いフェルナンドの指揮する連合軍の勝利
1476年3月1日-09:00|日本|静岡県|文明8年2月6日|<死去>駿河国守護「今川義忠」国人の横地氏・勝間田氏の一揆
勢と戦い、流れ矢に当たって討死
1476年3月1日-09:00|日本|静岡県御前崎市|文明8年2月6日|<塩買坂の戦い>夜、駿河守護今川義忠(41歳)、塩買坂
にて横地・勝間田残党に襲われ討死/久野清憲・松浦新左衛門通直・朝比奈氏・飯尾長連ら18人討死/長谷川藤兵
衛尉長重討死/松井宗泰討死/和田正家討死
1476年3月2日-01:00|スイス/フランス| |||「ブルゴ-ニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、「グ-ランド-ソ-ンの戦い」で、「低地連合」のフライ
ルク(ドイツ)、ゾ-ロトゥルン(スイス)らの軍勢と戦い大敗/シャルル豪胆公(突進公)、ローザンヌ(スイス)に逃れる
1476年3月3日-01:00|クアチア| |||<就任>クアチアとスラヴ-オニアとタルマチアのバン「アントリウ-パンソフ」(~1477年)
1476年3月4日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ド-ージェ(元首)「アントニア-ヴェントラミン」(~14780505死去)
1476年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ピ-アンコ-シ-アントニオ」「ジ-ヨヴァンニ-ディ-メンギ-ノ-カルチーニ」
1476年4月14日-09:00|日本| ||文明8年3月20日|<死去>専順(66歳)連歌師
1476年4月19日-01:00|フランス| |||<死去>オ-マル伯「Mary」
1476年5月4日-09:00|日本|大阪府堺市|文明8年4月11日|遣明使の竺芳妙茂らが堺を出発して明へ向かう
1476年5月7日-09:00|日本|島根県|文明8年4月14日|尼子清定、出雲国能義郡の土一揆を討つ
1476年5月23日-08:00|中国| ||明・成化12年5月|明が漢水上流地域に新しく府・県を設置し流民の統制をはかる
1476年6月6日-09:00|日本|京都府京都市|文明8年5月15日|<就任>関白「九条政基」(~文明11年2月27日)
1476年6月8日-02:00|キプロス| |||<死去>聖ヨハネ騎士団グ-ランド-マスター「ジ-ヨヴァンニ-パ-ツィスタ-オルシーニ」
1476年6月12日 00:00|イギリス| |||<就任>ノッティンガム伯「リチャード・オブ・シュルズ-ベリ」初代ヨーク公(~14830903死去)
1476年6月17日-02:00|キプロス| |||<就任>聖ヨハネ騎士団グ-ランド-マスター「ピ-エル-ド-ベ-ユッソ」(~15030703没)
1476年6月22日-01:00|スイス/フランス| |||<モラーの戦い>モラー(スイス)を包囲していた「ブルゴ-ニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、「ス
イス諸州」と「ロ-ヌ公」ル2世軍に攻められ敗北
1476年6月22日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|文明8年6月|<長尾景春の乱>上杉家有力家臣の長尾景春が関東
管領家の執事(家宰・家務)になれなかった不満のため、古河公方足利成氏方につき鉢形城にて挙兵
1476年6月22日-09:00|日本|埼玉県本庄市|文明8年6月|<長尾景春の乱・五十子の戦い>長尾景春が山内上杉軍が
駐留している五十子城を包囲
1476年7月3日-01:00|ポ-ランド| |||<死去>ホ-レ公「ミコワイ1世」
1476年7月3日-01:00|ポ-ランド| |||<就任>ホ-レ公「ヤン2世」(~15320327死去)、「ミコワイ2世」(~同年)共同統治
1476年8月17日-09:00|日本|沖縄県|明・成化12年7月28日|<死去>琉球王「尚円」享年62(1415年生)
1476年8月17日-09:00|日本|沖縄県|明・成化12年7月28日|<即位>琉球国王「尚宣威」(~翌年退位)
1476年9月11日-01:00|フランス| |||<即位>アンジュー公「ルイズ・ド・サヴ-オリ」兼オ-ヴェルニュ公、ブルボン公、ヌール公/サ-ヴァイ公フィ
リップ2世とマルグリット・ブルボンの長女(~15310922死去55歳)
1476年9月29日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明8年9月12日|<桜島文明大噴火>桜島北岳の北東山腹で最も大
規模な最後の大噴火が起こり、大量の溶岩を噴出し本島と連なる/同時に大爆発に伴う噴石や砂、降灰のため多
くの家屋が埋没し、死亡した人多数
1476年10月-02:00|ル-ニア| |||<就任>ワキ総督・領主「グ-ラド3世突刺し侯」(3回目~1477年1月)
1476年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロ-ディ-アントニオ」「マリノ-ディ-ベンチュリーノ」
1476年10月7日-01:00|フランス| |||「ブルゴ-ニュ公」シャルル豪胆公(突進公)、「ロ-ヌ公」ル2世の軍により「ロ-ヌ公国」の首
都ナッシーを奪還されたため、これを包囲
1476年10月7日-01:00|スイス/フランス| |||「ロ-ヌ公」ル2世、「スイス諸州」と正式に「同盟」を結ぶ
1476年11月17日-09:00|日本|愛知県稲沢市|文明8年11月1日|東軍(斯波義敏派)の織田敏定が尾張に下向し、西軍
管領斯波義廉・尾張守護代織田敏広の拠点尾張守護所(下津)を攻撃し、一旦は奪取するも、後、反撃され京に戻
る
1476年11月29日-09:00|日本|愛知県稲沢市|文明8年11月13日|織田敏定と織田伊勢守が尾張下津で戦う/伊勢守
は熱田に退く
1476年11月29日-09:00|日本|京都府京都市|文明8年11月13日|京大火、室町第焼失
1476年12月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>ライン宮中伯「フィリップ」(~15080228死去)
1476年12月26日-01:00|イタリア| |||<死去>ミラノ公「ガレアツォ・マリ-ア・スフォルツァ」殺害される
1476年12月26日-01:00|イタリア| |||<即位>ミラノ公「ジャン・ガレアツォ・スフォルツァ」ガレアツォ・マリ-アの息子(~14941021死去)
1477年-08:00|マレーシア| |||<死去>マラッカ王国スルタン「スルタン・マンスール」
1477年-08:00|マレーシア| |||<即位>マラッカ王国スルタン「スルタン・アラウッディン・リヤト・シャー」(~1488年死去)
1477年-07:00|カンボジア| |||カンボジア王国国王トゥモ-が勝利、国内統一(アユタヤ王国の介入による)

1490迄 (1537件)

1477年-04:00|ロシア| |||<即位>モスクワ大公「イワン・ワシリッチ・モロトフ」共同統治 (~14900307死去)
1477年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ジョヴァンニ・ピサニ」 (~1479年)
1477年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「カラムル・メフメト・パシャ」 (~14810504)
1477年-02:00|ルワンダ| |||<即位>ルワンダ王国ムツィンダヒロワ2世「チャマレ」 (~1510年)
1477年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/ハンガリー| |||<死去>ポズニア王「ニコラ・イロチ」
1477年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ルイジ・コルナロ」 (~1479年)
1477年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「ラド・イスラフ・ホド・エゲルヴァーラ」 (1回目~1481年)
1477年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Simone di Mazara」 (2期目~1479年)
1477年-01:00|ポズニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズニア総督「アジヤス・ベグ」 (1回目~1478年)
1477年-01:00|イタリア| |||<昇格>ウルビーノ伯「フェデリコ3世・ダ・モンテフェルトロ」⇒ウルビーノ公 (~14820910死去)
1477年-01:00|オーストリア| |||<昇格>オーストリア公「ジークムント」⇒オーストリア大公 (~1490年)
1477年-01:00|モンテネグロ/トルコ| |||モンテネグロをオスマン帝国が占領 (~1482年)
1477年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領「ウィリアム・デ・コートニー」 (~1478年)
1477年 00:00|カナリア諸島| |||<就任>フェルベントウ島主「Pedro Fernandez de Saavedra y Mendoza "el Viejo"」 (~1509年以前)
1477年 00:00|イギリス| |||<就任>ムラン伯「Olivier le Daim」 (~14840521死去)
1477年1月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ハサプ」 3世「イオット長老」 (4回目~11月)
1477年1月5日-01:00|オランダ| |||<再任>ゲルデルン公「アドルフ」 (~6.27死去)
1477年1月5日-01:00|オランダ/フランス/スイス/ベルギー/ルクセンブルグ| |||<死去>ブラバント公・ブルゴーニュ公・リンブルフ公・エノー伯「シヤルル1世突進公(勇胆公、無鉄砲公、猪突公)」兼ルクセンブルク公・フランドル伯「シヤルル2世勇胆公」兼ゲルデルン公「カール(カレル)」ナンシー郊外の戦闘でスイス盟約者団に敗北し戦死/ブルゴーニュはフランス王領に編入
1477年1月5日-01:00|オランダ/デンマーク/ベルギー/フランス/ルクセンブルグ| |||<即位>ブラバント公・ブルゴーニュ公・リンブルフ公・ルクセンブルク公・アルトワ伯・エノー伯・セーラント伯・ナミュール伯・フランドル伯・ホランド伯「マリー1世(マリー・ド・ブルゴーニュ)」シヤルルの娘 (~14820327死去)
1477年1月5日-01:00|ルクセンブルグ/フランス/ベルギー| |||<即位>ルクセンブルク公・フランドル伯「マクシミリアン1世」 (~1482年)
1477年1月7日-01:00|フランス| |||ソム河畔アブヴァールの町が降伏/王家との間に協議書を取り交わしその支配を受け入れた
1477年1月15日-09:00|日本| ||文明9年|<死去>奥州探題「大崎教兼」
1477年1月15日-09:00|日本| ||文明9年|<任命>奥州探題「大崎政兼」 (~長享2(1488)年)
1477年1月15日-09:00|日本|愛媛県|文明9年|<交替>伊予国守護「河野教通」⇒「河野通春」 (~文明14(1482)年閏7月14日死去)
1477年1月15日-09:00|日本|神奈川県|文明9年|<任命>相模国守護「上杉定正」 (~明応3年10月5日(14941102)死去)
1477年1月15日-09:00|日本|長野県|文明9年|<任命>信濃南半国守護「上杉房定」 (~同年)
1477年1月15日-08:00|中国| ||明・成化13年1月|明が東廠に加え西廠を設置し、宦官の汪直の権勢政治が始まる
1477年1月21日-09:00|日本|埼玉県本庄市|文明9年1月7日|<長尾景春の乱・五十子の戦い>長尾景春、上杉顕定らを武蔵国五十子に襲撃し敗走させる
1477年1月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文明9年1月11日|<第三次筒井城の戦い>越智家栄、古市氏連合軍は筒井城を攻城。筒井順尊に反撃する力はなく夜、筒井本城焼失/順尊は未だ勢力圏にあった福住城に逃げ去った
1477年1月27日-01:00|オランダ| |||<死去>ゲルデルン公「アドルフ」
1477年1月27日-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルデルン公摂政「カリナ」 (~1481年)
1477年1月28日-01:00|フランス| |||フランス東部ブルゴーニュに召集された「三部会」で、フランスは「ブルゴーニュ公国」を「王領」に併合
1477年2月1日-09:00|日本|京都府京都市|文明9年1月18日|京で若狭武田氏と赤松氏が被官の喧嘩がもとで紛争
1477年2月1日-09:00|日本|埼玉県本庄市|文明9年1月18日|<長尾景春の乱>長尾景春が鉢形城を出て再度五十子の陣を襲撃/山内上杉顕定・扇谷上杉定正・越後上杉定昌・長尾忠景・太田道真らの武将がいたが、不意を突かれた上杉勢は、太田道真をしんがりとして利根川を渡り那波荘を抜け、山内上杉顕定は阿内へ、扇谷上杉定正は細井へ、越後上杉定昌は白井城へ撤退/景春は上杉方の本陣(五十子陣)を占領
1477年2月14日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明9年閏1月|島津季久、比志島義重の居る比志島城を一軍で包囲
1477年2月19日-01:00|フランス| |||「ブルゴーニュ伯領」も「王領」に併合
1477年3月9日-01:00|ドイツ| |||<死去>メクレンブルク=シュヴェリーン公「ハインリヒ4世肥満公」
1477年3月9日-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク公「アルブレヒト6世」ハインリヒ4世の息子(⇒1480年メクレンブルク=シュヴェリーン公~15031120死去)
1477年3月15日-09:00|日本|京都府京都市|文明9年2月|南禅寺の僧侶、桂庵玄樹が朱子学を日本にもたらす
1477年3月18日-01:00|ポーランド| |||<死去>チェシ公「フシェスワフ2世」
1477年3月18日-01:00|ポーランド| |||<就任>チェシ公「カジミェシュ2世」 (~15281213死去)
1477年4月-01:00|フランス| |||アラス陥落/マリー・ド・ブルゴーニュについてフランドルに行こうとしたアルトワ伯領の検察長官ウァール・ド・ビュッシーを含むアラスの市民18名をエタンの広場で死刑にした
1477年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・チェッコ・ベネット」「マリノ・ディ・アントニオ・ジヤンニニ」
1477年4月1日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<死去>フロレス島・コルヴァ島太守長官「Fernao Teles de Meneses」
1477年4月1日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>フロレス島・コルヴァ島太守長官「Maria de Vilhena + Rui Te

1490迄 (1537件)

les」(~1504年)

- 1477年4月14日-09:00|日本|沖縄県|文明9年3月|<即位>第3代琉球王「尚真王」(~明・嘉靖5年12月11日(15270113)死去)
- 1477年4月14日-09:00|日本|沖縄県|文明9年3月|<退位>琉球王「尚宣威」
- 1477年4月14日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明9年3月|武田国信、山科郷民との間で紛擾
- 1477年5月1日-09:00|日本|神奈川県厚木市|文明9年3月18日|<溝呂木要害の戦い>太田道灌が溝呂木城を攻め溝呂木城は自焼
- 1477年5月1日 11:00|日本|神奈川県中郡大磯町|文明9年3月18日|晩、太田道灌が越後五郎四郎が籠る小磯要害を攻め、五郎四郎が道灌に降伏
- 1477年5月18日-01:00|ポランド| |||<死去>チェシ公「フシェスワ2世」
- 1477年5月18日-01:00|ポランド| |||<即位>チェシ公「カシミル2世」(~15281213死去)
- 1477年5月22日-09:00|日本|埼玉県坂戸市|文明9年4月10日|矢野兵庫介が川越城(武蔵国)を攻めるべく若林に陣を張る/川越城衆が若林に攻め入ったところを、太田道灌も矢野勢に襲い掛かり、勝原にて兵庫介を破る
- 1477年5月25日-09:00|日本|東京都中野区|文明9年4月13日|<江古田・沼袋原の戦い(武蔵国)>武蔵国多摩郡の江古田原および沼袋にて、太田道灌と豊島泰経との間で行われた/扇谷上杉氏の家宰太田道灌は江戸城を出発し練馬城に矢を撃ち込むとともに周辺に放火。練馬城主の豊島泰明は石神井城にいる兄・泰経に連絡を取り全軍で出撃、道灌もこれを引き返してこれを迎え撃ったため両者は江古田原で合戦。結果、豊島方は泰明ほか数十名が討ち死にし、生き残った泰経と他の兵は石神井城へと敗走
- 1477年5月30日-09:00|日本|東京都練馬区|文明9年4月18日|<石神井城の戦い>太田道灌が石井神城(武蔵国)の豊島泰経と一旦和睦
- 1477年6月2日-09:00|日本|東京都練馬区|文明9年4月21日|<石神井城の戦い>豊島泰経が石井神城(武蔵国)の破却の意志がないことから、太田道灌は石井神城を攻める/泰経は城を捨て逃亡
- 1477年6月11日-09:00|日本|三重県|文明9年5月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「北畠政郷」⇒「一色義春」(~同年)
- 1477年6月17日-09:00|日本|埼玉県深谷市|文明9年5月7日|<武蔵針谷原の合戦>長尾景春方の上州一揆旗頭、長野為兼が討死
- 1477年6月23日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|文明9年5月13日|<用土原の戦い>太田道灌が五十子へ帰陣したのを受け、長尾景春は撤退を始めるが、上杉顕定・上杉定正・長尾忠景・道灌・板倉美濃守・大森信濃守が用土原に攻め入り景春に勝利。景春は鉢形城に撤退
- 1477年6月27日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ゲルゲル公「アトル」
- 1477年6月27日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ゲルゲル公「マリア」(~14820327死去)
- 1477年7月11日-09:00|日本|大分県|文明9年6月|<交替>筑後・豊後国守護「大友親繁」隠居⇒「大友政親」(~文明16(1484)年)
- 1477年7月14日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「マルティナス・ゴシュタウス」(~1479年)
- 1477年8月4日-01:00|フランス| |||<死去>ヌール公「ジャック・ダルク」処刑され領地没収
- 1477年8月17日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国「ジョヴァンネ・デ・ロッセ」(2期目~14771125)
- 1477年8月19日-01:00|フランス/オーストリア| |||<就任>ブルゴーニュ公・フランドル伯「マクシミリアン1世」オーストリア大公。マリー・ド・ブルゴーニュ(突進公の遺児で唯一の相続人)と結婚(~14820327~15190122死去)共同統治
- 1477年9月11日-09:00|日本|沖縄県|文明9年8月4日|<死去>前琉球王「尚宣威」(48歳)
- 1477年10月-01:00|イタリア/トルコ| |||ベネチア、フリウリ地方にトルコ人急襲
- 1477年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョーネ・ディ・アントニオ・ベルツィ」「ロドヴィコ・ディ・ミケレ・パシーニ」
- 1477年10月7日-09:00|日本|愛知県|文明9年9月|<退任>三河国守護「細川成之」
- 1477年10月7日-09:00|日本|群馬県|文明9年9月1日|<死去>下野宇都宮氏16代当主「宇都宮正綱」上野国の川曲の戦いで陣没(31歳)
- 1477年10月15日 00:00|カナリヤ諸島/ポルトガル| |||カナリヤ諸島はセリア条約でペラザ相続人によってカスティリヤアラゴンの支配者に割譲
- 1477年10月30日-09:00|日本|愛知県|文明9年9月24日|一色義直、斎藤妙椿の援を得て細川成之被官で三河守護代東条国氏攻める/三河守護代東条常信、没落し奈良転害郷に宿す
- 1477年11月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「バサラフ4世若候」(~1482年4月没)
- 1477年11月2日-09:00|日本|大阪府東大阪市|文明9年9月27日|若江城主遊佐長直、畠山義就を撃退。畠山義就、天王寺城(大阪市)を攻撃す、天王寺城主和田助直、義就を撃退。義就、客坊城(客坊町)を落とす
- 1477年11月7日-09:00|日本|群馬県前橋市|文明9年10月2日|<塩壳原の戦い>太田道灌が荒巻(上野国)に陣取る/長尾景春・長尾六郎が攻め寄せたため、道灌は塩壳原にて戦い勝利
- 1477年11月8日-09:00|日本|山口県|文明9年10月3日|<補任>周防・長門・豊前・筑前四ヶ国守護:大内政弘
- 1477年11月11日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」(~15日早逝)
- 1477年11月11日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王国国王(アヴィス家)ジョアン2世完全王「アフォンソ5世の子」(~11.15)14951025死去
- 1477年11月12日-09:00|日本|大阪府羽曳野市|文明9年10月7日|義就方と政長方が河内で戦い、義就方が菅田城を落とす/菅田・古市氏は追われ、宇智郡の杉野氏らは自害/順尊は教興寺から追い返される
- 1477年11月13日-09:00|日本|大阪府富田林市|文明9年10月8日|畠山義就方吐田氏、嶽山城を攻め落とす
- 1477年11月14日-09:00|日本|大阪府東大阪市|文明9年10月9日|<若江城の戦い>河内若江城も義就軍が落とし遊佐長直は船に乗って大和川を渡り逃亡、河内は義就に平定された
- 1477年11月15日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」

1490迄 (1537件)

1477年11月15日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「ジョアン」(2度目~14810828、ジョアン2世として即位)フアン

1477年11月15日 00:00|ポルトガル| |||<復位>ポルトガル王「アフォンソ5世アフリカ人」(~14810828死去)

1477年11月17日-09:00|日本|大阪府|文明9年10月12日|畠山政長軍に合力した筒井順尊は箸尾氏らと共に河内に
出軍したが敗れ、大和に引き返した

1477年11月18日 00:00|イギリス| |||英国初印刷本[トイの歴史]出版

1477年11月18日-09:00|日本|京都府木津川市|文明9年10月13日|大内政弘が南山城と大和の境界付近にある木津
城を攻撃、政長方の大和国人衆が敗れて没落したため、大和も越智家栄ら畠山義就方に平定された

1477年11月19日-09:00|日本|群馬県前橋市|文明9年10月14日|長尾景春・六郎が塩売原から撤退

1477年11月25日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ドージェ「パオ・フロゴ」(~1488年、スフォルツァ家が支配~1507年
)

1477年12月5日-09:00|日本|愛知県瀬戸市|文明9年10月30日|尾張国定光寺の堂舎、ことごとく炎上

1477年12月8日-09:00|日本|奈良県大和高田市|文明9年11月3日|大和高田の馬借が蜂起し、諸所に放火

1477年12月8日-09:00|日本|山口県|文明9年11月3日|大内政弘、幕府に降伏、周防長門豊前筑前守護職を安堵され
る

1477年12月16日-09:00|日本|岐阜県|文明9年11月11日|西軍諸将が帰国し、足利義視は土岐成頼に守られて美濃
へ下る/応仁の乱が実質的に終息

1477年12月29日-09:00|日本|茨城県|文明9年11月24日|<死去>常陸佐竹氏第13代当主「佐竹義俊」58才/義治が継
ぐ

1478年-08:00|インドネシア| |||<即位>マジャパヒト王国国王「Girindrawardhana ラウ・イジャヤ」(タハ(ケイリ)国~1489年死
去)

1478年-05:30|スリランカ| |||<死去>ジャファ王国国王「Kanakasooriya Cinkaiariyan」

1478年-05:30|インド| |||<死去>マイソール王国(デヤ朝)国王「ティンマ・ラージ」1世

1478年-05:30|スリランカ| |||<即位>ジャファ王国国王「Singai Pararasasegaram」(~1519年死去)

1478年-05:30|インド| |||<即位>マイソール王国(デヤ朝)国王「チャマ・ラージ」2世(~1513年死去)

1478年-04:00|ジョージア| |||<死去>グルジア国王「バグラト6世」兼イメリ王「バグラト2世」

1478年-04:00|ジョージア| |||<即位>イメリ王「アレクサンドル2世」(~15100401死去)

1478年-04:00|ジョージア| |||<即位>グルジア国王「アレクサンドル1世」(~同年)⇒「コンスタンティヌス2世」(⇒1488年、カトリ王~1505
年死去)

1478年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナストニク「ヴァシーリー・ヴァシリエヴィチ」(~1482年)

1478年-02:00|ウクライナ| |||<復位>クリミア・ハン国ハン「メンクリ1世ギレイ」(3期目~15150417死去)

1478年-01:00|ポーランド| |||<再任>オレシツァ公「コンラト10世」(~14921021死去)

1478年-01:00|フランス| |||<就任>エタンフ 伯「John of Foix」(~1500年死去)

1478年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「イスケンダー・ハシヤ・ミハロヴ」(1回目~1479年)

1478年-01:00|ポーランド| |||<退位>オレシツァ公「バルバウ」

1478年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「デイトリック・ヒニク」(1回目~1480年)

1478年 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領「オンジ」島知事「John Ditchfield卿」(~1482年)

1478年 00:00|イギリス| |||<就任>ウリック伯「エドワード・プランタジネット」先代の孫(~14991128死去断絶)

1478年 00:00|イギリス| |||<就任>リッチモント 伯「ヘンリー・チューダー」(~14850822イングラント 王ヘンリー7世)

1478年 00:00|モロッコ/スペイン| |||<設立>モロッコの大西洋岸に位置するサンタ・クルス・デ・ラ・マル・ベケニャのスペイン人入植地(カ
リア島に從属/1485~1496年、放棄された~1526年)

1478年 00:00|西カリフォルニア| |||サンタクルス・デ・ラ・マル・ベケニャのカスティリャ・スペイン人が西カリフォルニアに入植(~1526年)

1478年1月6日-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「ハリエル」(~同年)⇒「ヤクブ」(~14901214死去)

1478年1月9日-01:00|フランス/イタリア| |||ベネチア、フランスと条約

1478年1月15日-04:00|ロシア| |||モスク大公国がノヴゴロド 公国を併合

1478年1月24日-01:00|スイス| |||ブルゴニ戦争で、チューリッ和平条約が締結される

1478年1月28日-09:00|日本|京都府京都市|文明9年12月25日|<任命>室町幕府管領「畠山政長」(~文明18年(1486年
)7月20日、最後の常設管領)

1478年2月3日-09:00|日本| |||文明10年|<就任>奥州探題「大崎政兼」(~長享2(1488)年)

1478年2月3日-09:00|日本|静岡県磐田市|文明10年|門奈美作守正重、深沢山長松院(掛川市大野)2世教之一訓(今
川範忠の子)を開山に、514石を寄附し天龍山聖寿寺(磐田市岡)を開基

1478年2月3日-09:00|日本|三重県|文明10年|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「一色義春」⇒<再任>「北畠政郷」(~文
明11(1479)年8月)

1478年2月3日-09:00|日本|神奈川県平塚市|文明10年1月|豊島泰経が平塚城に拠って再挙

1478年2月3日-09:00|日本|茨城県古河市|文明10年1月1日|古河公方足利成氏と上杉顕定の間に講和が成立し、古
河城へ入る/顕定鉢形城入城/享徳の乱が終息

1478年2月6日-09:00|日本|千葉県柏市|文明10年1月4日|<境根原合戦(下総国)>上杉顕定はなお反抗をつづける
千葉孝胤を境根原で破った

1478年2月13日-09:00|日本|京都府京都市|文明10年1月11日|土御門内裏修理のため京都七口に新関を設置

1478年2月18日 00:00|イギリス| |||<死去>クレンス公・ソールズベリー伯「ジョージ・プランタジネット」ロンドン塔内で/28歳(誕生144
91021)イギリス王エドワード4世の弟

1478年2月18日 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー伯「エドワード・オブ・ミッドラム」(~14840409死去消滅)

1490迄 (1537件)

1478年2月27日-09:00|日本|神奈川県平塚市|文明10年1月25日|<平塚城の戦い>平塚城で再挙した豊島泰経は再び太田道灌が攻撃に向かったため戦わず逃亡、以後は行方不明となった/豊島氏本宗家は滅亡
1478年3月 00:00|イギリス| |||<就任>ベッドフォード公「ジョージ・フランクフルト」エドワード4世の三男(〜14790322死去)
1478年3月 00:00|イギリス| |||<剥奪>ベッドフォード公「ジョージ・フレイル」
1478年3月3日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明10年1月29日|蓮如が山科に本願寺寺地を選定し信証院の建物を堺から移した(山科本願寺の創建)
1478年3月5日-09:00|日本|滋賀県|文明10年2月|<交替>近江国守護「京極政高(政経)」解任⇒<再任>「六角高頼」(〜長享元(1487)年解任)
1478年3月10日-09:00|日本|神奈川県横浜市港北区|文明10年2月6日|<小机城の戦い>山内上杉家の家宰であった長尾景春の反乱で景春の味方をした豊嶋氏が小机城に立てこもり敵方の太田道灌が攻撃、約2か月をかけて落城させた
1478年3月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>リュネブル侯「フリードリヒ2世」(フリードリヒ平和公)
1478年3月25日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「キルデア伯ジェラルド・フィッツジェラルド」(1回目〜7月)
1478年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・メンギーノ・カルチーニ」「シモーネ・デ・マリノ・デ・ジョヴァンニ」
1478年4月1日 00:00|ポルトガル| |||<死去>2代ブラガサ公・初代ウイラウ・ウイソーザ侯「フェルナント1世」5代カラム伯公、9代バルセロ伯、3代アライオス伯、3代ネイヴァ伯
1478年4月1日 00:00|ポルトガル| |||<就任>3代ブラガサ公・2代ウイラウ・ウイソーザ侯「フェルナント2世」フェルナント1世の長男(〜14830620死去) 初代ギマランイス公、10代バルセロ伯、6代王レム伯、4代アライオス伯、4代ネイヴァ伯
1478年4月10日-09:00|日本|静岡県牧之原市|文明10年3月8日|四宮図書頭輝明、芝派7哲季雲永嶽開山に、季雲派日照山円成寺(榛原町細江)開基
1478年4月22日-09:00|日本|東京都あきる野市|文明10年3月20日|上杉定正、長尾景春らを武蔵国二宮城に攻め落とす
1478年4月23日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文明10年3月21日|富士大宮司前能登守忠時・子富士親時・富士山興法寺の大檀那で大淵住民の渡辺清左衛門尉・大鏡坊成久(忠時の兄)、興法寺に金剛界大日如来座像を奉納寄進
1478年5月1日-01:00|バチカン/イタリア| |||教皇とネポリ王が、メディチ家に対抗して同盟を結ぶ
1478年5月5日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「アントニオ・ヴェンツラミン」
1478年5月18日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドーージェ(元首)「ジョヴァンニ・モチーニョ」(〜14850914)
1478年5月22日-09:00|日本|京都府京都市|文明10年4月20日|<交替>山城国守護「山名政豊」⇒「畠山政長」(〜文明15(1483)年)
1478年6月12日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ侯「ルドルフ・ゴッザール」
1478年6月12日-01:00|イタリア| |||<就任>マントヴァ侯「フェデリコ1世・ゴッザール」ルドルフ・ゴッザールの息子(〜14840714死去)
1478年6月14日-01:00|アルバニア/トルコ| |||クルヤはオスマン帝国の一部
1478年7月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「グレイ・ゴドナ卿ヘンリー・グレイ」(1回目〜12月)
1478年7月14日-09:00|日本|東京都千代田区|文明10年6月15日|川越の無量寿寺の鎮守である日吉社を勧請し山王日枝神社を江戸城内に分祀
1478年8月3日-09:00|日本|奈良県北葛城郡広陵町|文明10年7月5日|筒井・箸尾の館、越智氏支配する
1478年8月8日-09:00|日本|京都府京都市|文明10年7月10日|足利義政と義弟の義視が講和
1478年8月15日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|文明10年7月17日|<鉢形城の戦い>太田道灌、長尾景春を鉢形城に攻め敗走させる/足利成氏、上杉顕定と和睦古河城へ入る/顕定鉢形城入城
1478年8月19日-03:00|エチオピア| |||<死去>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「ベイレ・マリヤム・ザラ・ヤコブ」
1478年8月19日-03:00|エチオピア| |||<即位>エチオピア帝国(ソモン朝) 皇帝「エスケテル・ベイレ・マリヤム」(〜1494年5月死去)
1478年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・ベンチュリーノ」「サバティエーノ・デ・ビアンコ」
1478年10月11日-09:00|日本| ||文明10年9月16日|周防の守護大内政弘が少貳政資を破り、豊前・筑前を支配下に置く
1478年10月11日-09:00|日本|徳島県|文明10年9月16日|<交替>阿波国守護「細川成之」出家⇒子の「細川政之」(〜長享2年7月28日(14880904)死去)
1478年11月5日-09:00|日本|愛知県清須市|文明10年10月11日|東軍(斯波義敏派)の尾張守護代となった織田敏定が再び尾張に下向し、西軍管領斯波義廉・尾張守護代織田敏広の拠点清須城を攻撃奪取、入国を果たす
1478年11月7日-09:00|日本| ||文明10年10月13日|<死去>幸阿弥道長(69歳) 蒔絵師
1478年11月26日-01:00|イタリア| |||<就任>ジェノヴァ共和国ドーージェ「パチスタ・フレゴッソ」(〜14831125)
1478年12月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「ベッドフォード公ジョージ・フランクフルト」(アイルランドには行かなかった〜1479年3月没)、代行「グレイ・ゴドナ卿ヘンリー・グレイ」(2回目〜14790507)
1478年12月17日-01:00|ポーランド/ドイツ| |||<死去>ポズナニウ公「ハンス・ヴァルティスラフ10世」
1478年12月27日-09:00|日本|愛知県清須市|文明10年12月4日|美濃の守護斎藤妙椿が清洲城の尾張守護代織田敏定を攻撃するが退けられる
1479年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「スワン・ハン(テンカム)王」(〜1486年死去)
1479年-05:30|インド| |||<即位>ハンデヤ朝君主「Kulasekara Pandyan」(1499年)
1479年-04:00|ロシア| |||<死去>カザン・ハン「イブラヒム」
1479年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「イルム・アリー」(1回目〜1484年)
1479年-03:00|イエメン| |||<即位>タリド・スルタン「アルマンスール・アフダルワハブ」(〜1489年)
1479年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ヤコポ・コンタリーニ」(〜1480年)

1490迄 (1537件)

1479年-02:00|ルマニア/トルコ| |||モルダヴィアはオスマン帝国の家臣 (~1485年)
1479年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「アントニア・マルチェッロ」 (~1482年)
1479年-01:00|アルバニア/トルコ| |||<就任>オスマン帝国アヴロニヤのサンジャクベイ「ゲデイク・アフメト・パシャ」 (~同年)
1479年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giovani de Guevara」 (1期目 ~1480年)
1479年-01:00|ドイツ| |||<就任>フランクフルト・アム・マイン侯「ハインリヒ4世」ハインリヒ3世の息子 (~15261206死去)
1479年-01:00|ポズナニ/ポーランド| |||<就任>ポズナニ総督「アルノット・ダウト・パシャ」 (2回目 ~1480年)
1479年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領モザンビーク提督「Rui Mendes de Vasconcelos Ribeiro」 (~1481年)
1479年-01:00|クロアチア| |||<即位>ポルトガルの大公「デュラム・マリチチ」
1479年-01:00|ドイツ| |||<即位>メクレンブルク公「マグヌス2世」⇒メクレンブルク=シュヴェーリン公 (~15031120死去) ; <即位>メクレンブルク=シュヴェーリン公「ハルツァーグ・ハインリヒ4世」の息子、共同統治者 (~15070316死去)
1479年-01:00|バチカン/イタリア| |||教皇軍とナポリ王国軍がフィレンツェを攻撃
1479年-01:00|デンマーク| |||コペンハーゲン大学創設
1479年-01:00|オーストリア/ハンガリー| |||ハンガリー王マーチャーシュ・コルヴィヌスがオーストリアを支配
1479年 00:00|アイルランド/イギリス| |||<再任>アイルランド 総督「第8代キルデア伯爵「ジェラルド・フィッツジェラルド」」 (~1492年)
1479年 00:00|イギリス| |||<死去>初代マー伯・初代ギリー伯「ジョン・ステュアート」
1479年 00:00|イギリス| |||<就任>ハティントン伯「William Herbert」 (~14910716死去)
1479年 00:00|イギリス| |||<就任>マーチ伯・ペンブルック伯「エドワード」コーンウォール公 (~14830410国王に即位)
1479年 07:00|メキシコ| |||<即位>アスカル王「アングア」 (~1520年)
1479年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国 (北元) 皇帝「ムタケル・ハーン」
1479年1月2日-09:00|日本|千葉県柏市|文明10年12月10日|<境根原合戦>上杉定正の重臣太田道灌が、下総の土豪千葉孝胤を下総国境根原で丸一日戦いし、孝胤が打ち負けて撤退、臼井城に籠った
1479年1月12日-01:00|モントネグロ/トルコ| |||シュコトラをオスマン帝国が支配 (ルミア州の一部/4. 25に条約批准)
1479年1月18日-01:00|ドイツ/オーストリア| |||<死去>上ハイルン=インゴルシュタット公・下ハイルン=ランツフート公「ルートヴィヒ9世」
1479年1月18日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||<即位>上ハイルン=インゴルシュタット公・下ハイルン=ランツフート公「ゲオルク」ルートヴィヒ9世の息子 (~15031201死去、ハイルン=ランツフートはハイルン=ミュンヘンに吸収)
1479年1月20日-01:00|スペイン/イタリア| |||<死去>アラゴン国王・ナバラ王・サルデーニャ国王「フアン2世」兼バルセロナ伯「ジュアン2世」81歳
1479年1月20日-01:00|スペイン/イタリア| |||<即位>アラゴン王・サルデーニャ国王・バルセロナ伯「フェラン2世 (カトリック王)」フアン2世とフアン・エンリケスの息子 (~15160123死去63歳)
1479年1月20日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「レオナルド」フアン2世とフランク1世の女子 (~2. 12死去54歳)
1479年1月23日-09:00|日本|愛知県岩倉市|文明11年|織田敏広は岩倉城を築城し、岩倉城を居城とする
1479年1月23日-09:00|日本|鳥取県|文明11年1月|<第一次毛利次郎の乱 (因幡国)>因幡の国人・毛利貞元が守護山名氏に対して挙兵
1479年1月23日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳10年1月|コ・シリエン (呉士達) の「大越史記全書」15巻 (建国からレタイトまで) が完成
1479年1月26日-01:00|イタリア/トルコ| |||ヴェネツィアが、オスマン朝とコンスタンチノープル平和協定を結ぶ
1479年1月26日-01:00|アルバニア/トルコ| |||シュコトラはオスマン帝国の一部
1479年2月10日-09:00|日本|愛知県|文明11年1月19日|斯波義廉派の尾張守護代織田敏広と斯波義敏派で清須城に籠る守護代織田敏定が和睦、尾張を分割統治することで合意/織田伊勢守家は北半国の上四郡 (丹羽郡・葉栗郡・中島郡・春日井郡)、織田大和守家は南半国の下四郡 (愛知郡・知多郡・海東郡・海西郡) を統治することとなる
1479年2月12日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「レオナルド」54歳
1479年2月12日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「フランシスコ1世」ヒアナガ・ストンとマレヌの男子 (~14830107死去13歳)
1479年2月12日-09:00|日本|岐阜県|文明11年1月21日|美濃国斎藤妙椿、織田敏定と和睦し国に帰る
1479年2月14日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|文明11年1月23日|奥山教朝・奥山駿河守朝廷、富幕六所大明神 (浜松市北区引佐町奥山) 社殿再興
1479年3月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副王「ベットフォード公「ジョージ・プランタジネット」」
1479年3月22日 00:00|イギリス| |||<死去>ベットフォード公「ジョージ・プランタジネット」
1479年3月23日-09:00|日本|京都府京都市|文明11年2月30日|<就任>関白「近衛政家」 (~文明15年2月24日)
1479年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・マリノ」 「伝道師「ローマ・ベルツィ」」
1479年4月1日-09:00|日本|奈良県橿原市|文明11年3月9日|政長方の十市遠相が義就方に寝返った弟を父遠清とともに殺害、十市城を焼いて東山内へ没落/十市遠相は山辺郡小山戸に、遠清は城上郡小夫 (おうぶ) に身を潜める
1479年4月8日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|文明11年3月16日|大檀那源直広、川名六所神社 (引佐町川名) 社殿再造
1479年4月22日-09:00|日本|静岡県袋井市|文明11年4月|存徳和尚、祐松山照雲寺 (萱間) 開山
1479年4月22日-09:00|日本|奈良県桜井市|文明11年4月|長谷寺舞台供養が行われる
1479年4月25日-01:00|イタリア/トルコ| |||ヴェネツィアとオスマン朝の間の和平条約の結果、ヴェネツィアのオスマン朝への貢納が決まる
1479年5月7日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王代行「コーマンストン男爵「ハート・フレストン」」 (~10月)
1479年5月24日-09:00|日本|愛知県豊橋市|文明11年5月3日|中村掃部助 (法名本種院玉統日長)、常霊山本興寺 (湖西市鷺津) 五世日暹開山に奥久山乗運寺 (下条) 開基
1479年6月12日-09:00|日本|佐賀県三養基郡みやき町|文明11年5月22日|<死去>九州探題「渋川教直」肥前綾部館

1490迄 (1537件)

で (58歳) ⇒「渋川万寿丸」が継ぐ (長享元 (1487) 年死去)

1479年6月17日-09:00|日本|福島県大沼郡会津美里町|文明11年5月27日|会津の蘆名盛高が、渋川義基を高田城に攻め滅ぼす

1479年7月-02:00|ルーマニア|ハンガリー|||<就任>トランシルヴァニア総督「イシュトヴァン・ハトリ」 (~1493年1月没)

1479年7月9日-02:00|エジプト|||<即位>カイロ・アッバース朝カリフ「ムタワッキル2世」 (~14970927)

1479年7月12日-02:00|エストニア/ラトビア|||<死去>リガ 大司教・リヴァント公「シルゲスター・ステヴェーシャー」

1479年7月20日-09:00|日本|京都府京都市|文明11年7月2日|北小路行宮焼失

1479年7月21日-01:00|チェコ|||ボヘミアの下で統一が回復 (14781207に調印された平和条約により)

1479年7月23日-09:00|日本|千葉県市川市|文明11年7月5日|太田道灌、鴻台城を築く

1479年8月-02:00|ギリシャ/トルコ|||オスマン帝国がウォニツァを占領

1479年8月2日-09:00|日本|千葉県佐倉市|文明11年7月15日|<臼井城の戦い>千葉孝胤が臼井教胤の養子となっていた一族の臼井持胤の守る臼井城で7ヶ月に及ぶ籠城戦の末、包囲を緩めた様子を見た城方が打って出て激戦となり落城/太田道灌の甥の太田資忠らが討ち死に

1479年8月7日-01:00|オーストリア/フランス|||<ギクサットの戦い>オーストリア大公マクシミリアンが、ルイ11世を破り、ブルゴーニュ公の遺領を確保

1479年8月17日-07:00|ラオス/ベトナム||大越・洪徳10年8月|大越・タイ・トンが西のランサン王国 (ラオス) 京牢、盆蛮、老々を攻撃し、インドシナ半島の中央にあるチャン高原を占領支配

1479年8月18日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明11年8月|蓮如、山科本願寺の庭園・寝殿成る

1479年8月18日-09:00|日本|鳥取県|文明11年8月|<補任>因幡国守護「山名豊時」 (~長享2 (1488) 年8月)

1479年8月18日-09:00|日本|長野県佐久市|文明11年8月|佐久郡岩村田の大井政朝が前山城伴野光利、伴野光信父子と戦って敗れる。大井政朝は生け捕られ、大井氏重臣の相木氏が討死

1479年8月18日-09:00|日本|三重県|文明11年8月|<交替>伊勢北半国・志摩国守護「北畠政郷」⇒「一色義春」丹後国守護 (~文明16年9月4日 (14840923) 死去)

1479年8月21日-09:00|日本|京都府京都市伏見区|文明11年8月4日|山城国伏見に般舟三昧院建立

1479年10月 00:00|アイルランド/イギリス|||<就任>アイルランド 副王「ヨーク公リチャード」 (アイルランドに赴任せず ~14830623没)、代行「キルデア伯爵ジョーナルド・フィッツジョーナルド」 (2回目⇒14830623副王⇒14830831、代行⇒14840409、副王⇒14841002、代行 ~14851024)

1479年10月1日-01:00|サマリヤ|||<就任>サマリヤ共和国執政「メネット・デ・イ・メネット・ホネリ」 「ファブリツィオ・デ・イ・ピエール・レオーネ・コルベリ」

1479年10月13日-09:00|日本|愛知県蒲郡市|文明11年9月28日|鶴殿藤太郎宝近の寄進により、日察開山・日暹開基に長応寺 (蒲郡上ノ郷) 開基

1479年11月15日-09:00|日本|奈良県奈良市|文明11年10月2日|大和国筒井順尊、古市澄胤の兵を西方院山で撃破

1479年12月1日-09:00|日本|香川県さぬき市|文明11年10月18日|志度寺、焼ける

1479年12月27日-09:00|日本||文明11年11月15日|雪舟等楊が「益田兼弁象」を描く

1480年-08:00|フィリピン|||<即位>スール王国スルタン「Sultan Kamalud-Din」 (~1505年死去)

1480年-05:30|インド|||<建国>ナガール国王朝始祖

1480年-05:30|インド|||<即位>アフマド・ガール王国ニザム・シャー「Ahmad Nizam Shah1世」 (~1509年)

1480年-05:30|スリランカ|||<即位>コッテ王国国王「Pandita パラクラマハセ77世」 (~1484年)

1480年-05:30|インド|||サルヴァ・ナラシハガアートの海岸部を奪取

1480年-05:00|ガフスタン|||<死去>ガフ汗国ハン「ジャニベク・ハン」

1480年-05:00|ガフスタン|||<即位>ガフ汗国ハン「ブルトウク」クレイ・ハンの子 (~1511年)

1480年-05:00|ガフスタン|||<即位>ノガイ・オルタ・ハン「Temir Khan Nogay」 (~同年)

1480年-05:00|モルデイグ|||<即位>ヒルリ朝スルタン「Hassan4世 Raadha Loka」 (~同年廃位) ⇒「Omar2世 Loka Sundhura」 (~1484年)

1480年-04:00|ロシア|||<解任>ヴャゴロド 共和国「ヴャゴロド」公「イヴァン・ヴァシリエヴィチ」イヴァン・ヴァシリエヴィチ (イヴァン3世・イヴァン雷帝) によりモスクワ大公国へ併合

1480年-03:00|ジブチ|||<即位>ダジュラ・スルタン国スルタン「シヤム」

1480年-03:00|ベラルーシ|||<即位>ピンスク公「Vasilijus Olelkaitis」 (~1495年)

1480年-02:00|ギリシャ/イタリア|||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マルコ・ジュスティニアニ」 (~1481年)

1480年-02:00|ギリシャ|||<即位>ナクソス公「ジョヴァンニ3世」 (~1494年)

1480年-01:00|ドイツ|||<就任>東フリースラ伯「Enno1世」 (~14910219死去)

1480年-01:00|ドイツ|||<就任>アーレンベルク伯「エーバーハルト3世」 (~1496年)

1480年-01:00|スペイン|||<就任>アストurias公 (スペイン国王の推定相続人) 「ファン・イベル」の弟 (~14971004死去)

1480年-01:00|マルタ/イタリア|||<就任>シチリア領マルタ副総督「Giorgio de Xabica」 (3期目 ~1481年)

1480年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ|||<就任>ボスニア総督「イスタンダー・ハッシャ・ミハロヴ」 (2回目 ~1482年)

1480年-01:00|ドイツ|||<即位>メクレンブルク公「アルブレヒト6世」⇒メクレンブルク＝ギュストロー公 (~14830427死去)

1480年 00:00|アイスランド/デンマーク|||<就任>アイスランド 支配者「ヒンリック・ダニエル」 (~1481年)

1480年-08:00|モンゴル|||<即位>モンゴル帝国 (北元) 皇帝「ハヤン・モンケ」 (~1487年没)

1480年1月12日-07:00|ラオス/ベトナム||大越・洪徳10年12月|大越・タイ・トンがランサン王国 (ラオス) 盆蛮に鏡寧府を置く

1480年2月1日-09:00|日本||文明11年12月21日|<補任>駿河国守護「今川氏親」 (~大永6 (1526) 年6月23日死去)

1480年2月11日-09:00|日本||文明12年|このころ一条兼良が『尺素往来』を著わした

1480年2月11日-09:00|日本|愛知県田原市|文明12年|<完成>戸田宗光「田原城」 [三河国渥美郡田原]

1490迄 (1537件)

1480年2月11日-09:00|日本|香川県高松市|文明12年|石清尾八幡宮蔵猿樂面, 造られる
1480年2月11日-09:00|日本|埼玉県比企郡小川町|文明12年|太田道灌、竹沢・高見の間に在陣、高見一帯を攻略し高見城を築城
1480年2月11日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|文明12年|辰応正寅、衰退していた慈悲寺(慈悲尾)を再興
1480年2月11日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|文明12年|島津軍、紫波洲崎城を攻め落とす
1480年2月11日-09:00|日本|鳥取県|文明12年春|<第一次毛利次郎の乱(因幡国)>毛利貞元の反乱は鎮圧された
1480年2月11日-09:00|日本|福井県あわら市|文明12年1月1日|守護斯波氏、甲斐氏が越前金津で朝倉氏景軍に夜襲をかけこれを破る
1480年2月20日-09:00|日本|福井県あわら市|文明12年1月10日|甲斐勢、金津の朝倉氏景を攻撃し、町屋を焼く
1480年3月1日-09:00|日本|埼玉県熊谷市|文明12年1月20日|太田道灌が長井城を攻略/長井城を脱出した景長尾春は日野城に拠った
1480年3月6日 00:00|カリア諸島/スペイン| ||<就任>カラン・カリア島知事「Pedro de Vera」(~1491年)
1480年3月6日 00:00|カリア諸島/スペイン| ||カラン・カリア島はスペイン王国植民地
1480年3月6日 00:00|ポルトガル/スペイン| ||スペインのフェルナンド2世が、ポルトガルのアフリカ進出を認める代りにカリア諸島を獲得する(トリト条約)
1480年3月12日-09:00|日本|埼玉県秩父郡小鹿野町|文明12年2月|太田道灌が高佐須城を攻略
1480年3月22日-02:00|エストニア/ラトビア| ||<就任>リガ大司教・ウラント公「シュテファン・グルベ」(~14831220没)
1480年3月25日-01:00|イタリア| ||フィレンツェが佛罗リと平和協定を結ぶ
1480年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「リッチョ・デ・イ・アンドレア」(マリノ・サマリノ人)
1480年4月1日-09:00|日本|奈良県|文明12年2月21日|大和で、盲人300人による一揆が起こる/一斉に筒笛を吹いて筒井・成身院方の武士を呪咀
1480年4月6日-09:00|日本|山形県|文明12年2月26日|<死去>羽州探題「最上義秋」⇒「最上満氏」が継ぐ(~明応3年7月14日(14940814)死去)
1480年4月16日-01:00|バチカン/イタリア| ||ベネチア、教皇シクストゥス四世と同盟
1480年5月6日 00:00|イギリス| ||英国で世界初の郵便切手発行
1480年5月10日-09:00|日本|福井県|文明12年4月|朝倉氏景と甲斐勢の戦闘で金津町屋と坂井郡熊坂が焼ける
1480年5月10日-09:00|日本|山形県寒河江市|文明12年4月|<菖蒲沼の戦い(出羽国)>再び桑折宗義が攻め寄せると寒河江氏は菖蒲沼までおびき寄せ、そこへ溝延・左沢勢の伏兵が襲い掛かって、伊達勢は総崩れとなった。桑折宗義も数か所の傷を負い、逃れることを諦めて自ら太刀で胸を突き自害して果てた
1480年5月23日-02:00|ギリシャ/トルコ| ||オスマン帝国のロドス島包囲戦(~8.17)
1480年6月-02:00|ルーマニア| ||<就任>ワキア対抗総督・領主「ミルチア2世」(~10月没)
1480年6月6日-09:00|日本|京都府京都市|文明12年4月28日|幕府が、洛中の武士とその家来に対して猿樂の見物や博奕などを禁止する
1480年6月10日-09:00|日本| ||文明12年5月2日|<死去>桃井直詮(78歳)幸若舞の祖
1480年7月9日-09:00|日本|広島県呉市|文明12年6月2日|平実時、檀那として、安南郡倉橋島の八剣社・八幡宮の社殿を再興
1480年7月10日-01:00|イタリア/フランス| ||<死去>アンジュー公・バル公・ブロワ・アンソ伯「ルネ・ダンジュー」71歳
1480年7月10日-01:00|フランス| ||<就任>バル公「ヨランド・ダンジュー(ロレーヌ女公)」(~14830323死去)
1480年7月10日-01:00|イタリア/フランス| ||<即位>アンジュー公「シャルル4世」兼メーヌ伯・ギーズ伯・ブロワ・アンソ伯「シャルル3世」/シャルル・デュ・メーヌとコベッラ・ルッポの息子(~14811210死去35歳、アンジュー公領は王領へ返還)
1480年7月20日-09:00|日本|埼玉県秩父市|文明12年6月13日|<日野城の戦い>太田道灌が日野城も攻略、敗れた長尾景春は足利成氏の下に逃れ上杉氏への敵対行動を停止
1480年8月-06:30|ミャンマー| ||<即位>アワ王「ミンカウ2世」(~15010407)
1480年8月7日-09:00|日本|京都府京都市|文明12年7月2日|北小路行宮火災
1480年8月11日-01:00|イタリア/トルコ| ||オスマン・トルコ軍がイタリアに上陸し、トラントを荒掠
1480年8月16日-09:00|日本|福井県坂井市|文明12年7月11日|守護斯波氏、甲斐氏、越前長崎で朝倉孝景と戦う、金津・兵庫・新庄に火を放つ、斯波氏、甲斐氏、坂井郡長崎城を攻略、坂井郡をほぼ制圧、九頭竜川以北の朝倉方の城は数ヶ所のみとなる
1480年8月17日-09:00|日本|福井県|文明12年7月12日|甲斐勢、坂井郡金津城・兵庫城・新庄城を攻略、九頭竜川以北の朝倉方の城は4,5か所のみとなる
1480年8月23日-09:00|日本|福井県福井市|文明12年7月18日|丹生郡清水山で反朝倉軍(斯波軍)と朝倉軍の戦闘(清水山合戦)、甲斐派の清水山城主太田美作守自刃し落城
1480年9月1日-01:00|ドイツ| ||<死去>グェルテンベルク=シュトゥットガルト伯「ウルリヒ5世最愛伯」
1480年9月1日-01:00|ドイツ| ||<就任>グェルテンベルク=シュトゥットガルト伯「エーバーハルト6世」(~14821214退位)
1480年9月2日-09:00|日本| ||文明12年7月28日|一条兼良、足利義尚の求めにより、政治の要道を説いた教訓書「樵談治要」を著わす
1480年9月5日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明12年8月|山科本願寺の御影堂が完成
1480年9月5日-09:00|日本|長崎県東彼杵郡川棚町|文明12年8月|大村純伊が川棚に上陸し島原謙早の有馬軍を撃破、大村館に入り有馬貴純の女を室として和す/有馬氏は大村氏と和睦後、長崎を引き揚げる。浦上の淵村、山里村、茂木村は有馬領となり長崎氏は長崎村だけの支配
1480年10月-03:30|イラン/アフガニスタン| ||<死去>ミラバニド朝マリク「Nizam al-Din Yahya」
1480年10月-03:30|イラン/アフガニスタン| ||<即位>ミラバニド朝マリク「Shams al-Din Muhammad」(~1495年)

1490迄 (1537件)

1480年10月-02:00|ルーマニア| |||<死去>ラキア対抗総督・領主「ミルチア2世」
1480年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「伝道師ジローモ・ベルツィ」
1480年10月1日-09:00|日本|岐阜県|文明12年8月27日|<文明美濃の乱>斎藤利国(妙純)に、異母兄利藤が対立合戦が始まった
1480年10月2日-09:00|日本|福井県吉田郡永平寺町|文明12年8月28日|甲斐方、坂井郡河口荘民を兵士に徴発し、朝倉孝景と吉田郡芝原で戦い敗れる
1480年10月4日-09:00|日本|京都府京都市|文明12年9月|京都の土一揆蜂起、連日酒屋・土倉を襲い、京中騒乱
1480年10月5日-09:00|日本| ||文明12年9月2日|<死去>二条政嗣(38歳)元関白、左大臣
1480年11月1日-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「バグドナス・アントリエジャイティス・サカイトス」(~14900330)
1480年11月6日-09:00|日本| ||文明12年10月5日|<死去>一条教房(58歳)元関白、左大臣
1480年11月8日-09:00|日本|大阪府|文明12年10月7日|<死去>和泉上半国守護「細川常有」⇒「細川政有」が継ぐ(~文明13(1481)年死去)
1480年11月11日-04:00|ロシア/モンゴル| |||モスクワ大公国イヴァン3世はキプチャク・ハン国からの独立を宣言し、貢納を停止/北西ロシアの強国ヴァスコフを併合し、ロシア北部の統一をほとんど成し遂げた
1480年11月29日-01:00|ドイツ| |||<死去>フアルツ・ゾンメルン公「フリードリヒ1世」
1480年11月29日-01:00|ドイツ| |||<即位>フアルツ・ゾンメルン公「ヨハネス1世」(~15090127死去)
1480年12月2日-09:00|日本|岐阜県大垣市|文明12年11月|<文明美濃の乱(美濃国)>斎藤利藤と斎藤妙純が対立し合戦、妙純が勝利して利藤を近江国へ逐う
1480年12月2日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明12年11月|近松(近江国)に安置していた親鸞木像を山科本願寺の御影堂に安置
1480年12月20日-09:00|日本|奈良県奈良市|文明12年11月19日|徳政一揆蜂起し、奈良を攻め興福寺の塔などを焼く
1481年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルターン朝スルターン「Shamsuddin Yusuf Shah」
1481年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルターン朝スルターン「Sikandar Shah2世」(~同年)⇒「Jalaluddin Fateh Shah」(~1487年死去)
1481年-05:30|インド| |||ハフマニ朝のムハンマド3世がカンチーに侵入
1481年-04:00|ロシア| |||<即位>金帳ハン国ハン「シャイク・アフマト」(~1498年)
1481年-03:00|ベラルーシ| |||<即位>スルツク公「Simonas Olelkaitis」(~1505年)
1481年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンテリア公「ファンティーノ・ジョルジョ」(副公爵) (~1482年)
1481年-02:00|ギリシャ/イスラエル| |||イリアをエルサレムの聖ヨハネ・ホスピタル騎士団が所有(~1522年)
1481年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Torreo de Guevara」(~1482年)
1481年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領ポナティス提督「Joao de Noronha」(~1487年)
1481年-01:00|スペイン| |||スペインが異端審問裁判所を設置
1481年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「ソレイファー・ヒョルソン」(~1486年没)
1481年 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公「リチャード」ヨーク公・ノッティンガム伯(~14830625死去)
1481年 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「ジョアン・アフォンソ」
1481年 00:00|イギリス| |||<就任>ロバート「ジェームス・スチュアート」初代オーストリア侯(⇒1488年ロバート1世死去)
1481年 00:00|マリ| |||<即位>マリ帝国マンサ「Mahmud2世」(~1496年)
1481年 01:00|カボベルデ/ポルトガル| |||<就任>カボベルデ諸島のコレクター治安判事「ペドロ・ロレンソ」(~?)
1481年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第7代国王「ティツク」(~1486年)
1481年1月6日-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<死去>大カルタ・ハン「アフマト・ハン」
1481年1月6日-05:00|カザフスタン/キルギス/トルクメニスタン/ウズベキスタン/タジキスタン| |||<即位>大カルタ・ハン「Sheikh Ahmed」(~1502年)
1481年1月30日-09:00|日本|静岡県富士宮市|文明13年|駿河河原呂真福寺が表口村山に不動明王像奉納
1481年1月30日-09:00|日本|島根県|文明13年|<任命>石見国守護「大内政弘」(~明応4年9月18日(14951006)死去)
1481年1月30日-09:00|日本|千葉県松戸市|文明13年|東漸寺を創建
1481年1月30日-09:00|日本|和歌山県日高郡日高川町|文明13年|紀伊道成寺仁王門ができる
1481年3月18日-09:00|日本|富山県南砺市|文明13年2月18日|<越中一向一揆・田屋川の戦い>惣海寺の宗徒を含む1600名の軍勢を率いて石黒光義は、居城の福光城を進発、山田川付近で石黒軍の先陣と一揆勢がぶつかり、激しい戦闘/光義軍は、挟み撃ちにされ総崩れ/光義は安居寺に落ち自刃/砺波一帯は瑞泉寺の支配下となった
1481年3月30日-09:00|日本|愛知県|文明13年3月|尾張で両織田家が再び戦闘、守護敏定方が優勢
1481年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「マリノ・デ・ベンチュリーノ」
1481年4月7日-09:00|日本| ||文明13年3月9日|<死去>小栗宗湛(69歳)画家、僧
1481年4月9日-09:00|日本|静岡県島田市|文明13年3月11日|深沢山長松院(掛川市大野)に納入する年貢米の徴集責任者岩堀左近四郎、旧勝間田氏の支城跡に堂宇を建立し長松院二世教之一訓(今川範忠の子)を開山に金竜山養勝寺(榛原郡下湯日村)創建
1481年4月21日 00:00|イギリス| |||<就任>バークレ侯「ウィリアム・バークレ」(⇒14830628兼ノッティンガム伯~14920214死去)
1481年4月29日-09:00|韓国/朝鮮| ||朝鮮・成化17年4月|朝鮮で全国地誌「東国輿地勝覧」50巻が完成
1481年4月29日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明13年4月|本願寺蓮如、山城国山科に阿弥陀堂を建立「山科本願寺」
1481年4月30日-09:00|日本|京都府京都市|文明13年4月2日|<死去>一条兼良(80歳)元摂政・関白・太政大臣、古典

1490迄 (1537件)

学者

- 1481年5月3日-02:00|トルコ| |||<死去>オスマン帝国第(7)代スルタン「メフメト2世」/49歳(誕生14320330)
- 1481年5月4日-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「イシャク・パシャ」(2期目~1482年)
- 1481年5月20日-02:00|トルコ| |||<即位>オスマン帝国第8代スルタン「バヤズィト2世」メフメト2世の長男(~15120424死去)
- 1481年5月21日-01:00|デンマーク/ノルウェー/ドイツ| |||<死去>デンマーク・ノルウェー王・シュレーズヴィヒ公「クリスチャン1世」55歳(誕生14260521)
- 1481年5月21日-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>デンマーク王兼シュレーズヴィヒ公・ホルシュタイン公「ハンス」クリスチャン1世とドローア・フォン・ブランデンブルクの三男(~15130220死去58歳)
- 1481年5月21日-01:00|ノルウェー| |||<即位>ノルウェー王「ニダロス大司教がウエイナルソン(国務院議長)」(~14820824)
- 1481年5月22日-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク摂政「ルドヴィグ大司教イェンス・ヘニングセン・フロストラップ」国務院議長(~14830203)
- 1481年5月22日-09:00|日本|大阪府|文明13年4月24日|<死去>和泉上半国守護「細川政有」⇒「細川元有」が継ぐ(~明応9年9月2日(15000925)戦死)
- 1481年5月31日-09:00|日本|愛媛県松山市|文明13年5月3日|河野通直(教通)が大檀那となり、石手寺本堂、山門などが再建
- 1481年6月2日-09:00|日本|茨城県東茨城郡茨城町|文明13年5月5日|<小鶴原の合戦>小田成治は、常陸大掾・北條・東條・真壁・笠間の軍勢3千余騎を率いて水戸の江戸通雅を攻め、小鶴原(茨城町小鶴原)に戦うが敗北
- 1481年7月27日-09:00|日本|岐阜県|文明13年7月|<文明美濃の乱>室町幕府と成頼・斎藤妙純は和睦
- 1481年8月5日-09:00|日本|京都府京都市|文明13年7月10日|<任命>山城国守護「赤松政則」(~不詳)
- 1481年8月15日-09:00|日本|奈良県天理市|文明13年7月20日|筒井順尊・箸尾為国・十市遠相・成身院順盛、多武峰と同盟して旧領奪還のため挙兵/筒井方敗北。古市澄胤、筒井順尊拠点福住城を攻め落とす
- 1481年8月21日-09:00|日本|福井県|文明13年7月26日|<死去>越前国守護「朝倉孝景」54歳⇒嫡男の「朝倉氏景」が継ぐ(~文明18年7月4日(14860803)死去)
- 1481年8月28日 00:00|ポルトガル| |||<死去>ポルトガル王「アフォンソ5世アフリカ人」(誕生1432年)
- 1481年8月28日 00:00|ポルトガル| |||<就任>ポルトガル公(王位継承者)「アフォンソ」(2度目~14910713早逝)
- 1481年8月28日 00:00|ポルトガル| |||<即位>ポルトガル王「ジョアン2世完全王」(~14951025死去)アフォンソ5世の子
- 1481年8月30日-03:00|ベラルーシ| |||<死去>スルツク公「マイコラス・オレカイトス」
- 1481年8月30日-03:00|ベラルーシ| |||<即位>スルツク公「シモナス・オレカイトス」(~15031114死去)
- 1481年9月-02:00|ルーマニア| |||<即位>ワキア公「ウラド4世the Monk」(~11.16)
- 1481年9月5日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<死去>クレフェ公・マルク伯「ヨハン1世」
- 1481年9月5日-01:00|ドイツ/オランダ| |||<就任>クレフェ公・マルク伯「ヨハン2世」(~15210315死去62歳)
- 1481年9月10日-09:00|日本|福井県坂井市|文明13年8月17日|朝倉勢、坂井郡粟田島の甲斐勢を破る
- 1481年9月13日-09:00|日本|長野県伊那市|文明13年8月20日|信濃国小笠原長朝、藤沢有世を助けて山田城の山田有盛を攻め負ける
- 1481年9月23日-09:00|日本|鳥取県|文明13年8月30日|<交替>伯耆国守護「山名元之」⇒「山名政之」(~明応元(1492)年)
- 1481年9月23日-09:00|日本|鳥取県西伯郡伯耆町|文明13年8月30日|伯耆国守護山名政之、円山城の山名元之を攻めおとす
- 1481年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメ・ディ・アントニオ」「マウリツィオ・ディ・アントニオ・ルナルディニ」
- 1481年10月8日-09:00|日本|福井県|文明13年9月15日|越前で朝倉氏景と斯波義良・甲斐八郎らが戦い、斯波・甲斐勢が敗れて加賀に退く
- 1481年10月14日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明13年9月21日|足利義政、小川第から聖護院山荘に移る
- 1481年12月10日-01:00|イタリア/フランス| |||<死去>アンジュー公「シャルル4世」兼カブラリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「カルロ4世」兼ギース伯・プロヴァンス伯「シャルル3世」兼メヌー伯「シャルル5世」35歳、アンジュー公領・プロヴァンス伯領は王領へ返還
- 1481年12月10日-01:00|イタリア| |||<就任>カブラリア公(ナポリ王の推定相続人の称号)「ルネ2世」レオ1世の外孫、ジャンヌの兄、ロレーヌ公ルネ2世(~1493年)
- 1481年12月12日-09:00|日本|京都府京田辺市|文明13年11月21日|<死去>一休宗純禅師が酬恩庵で/88歳(誕生:元中11(1394)0101)臨済宗の僧で、大督寺第46代住持
- 1481年12月22日-01:00|スイス| |||シュタンス協定/フリブール、ゾーロトゥルンがスイス盟約者団の正式メンバーとなる
- 1482年-08:00|インドネシア| |||<即位>スダタ・ガル王国マハラジャ「Sri Baduga Maharaja/Ratu Jayadewata」(~1521年)
- 1482年-06:30|ミャンマー| |||<即位>ブロム王朝国王「外・ミンソー」アワ国王ナラパティ1世の息子(~1526年)
- 1482年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Bhaktapur)国王「Raya Malla」(~1519年)
- 1482年-05:45|ネパール| |||<即位>マラ(Kantipur)国王「Ratna Malla」(~1520年)
- 1482年-04:00|ロシア| |||<即位>モスコフスキー・ナメストニク「ヤロスラフ・ウァシリウイチ」(~1487年)
- 1482年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ルカ・ナヴァジエロ」(~1484年)
- 1482年-02:00|トルコ| |||<就任>オスマン帝国大宰相「コカ・ダウト・パシャ」(~1497年)
- 1482年-02:00|トルコ| |||<即位>アイユーブ朝(ヒスン・カイファ)アミール「Salih Khalil」2世(~1511年)
- 1482年-01:00|フランス| |||<再任>モンベリアル伯「Eberhard5世」グェルテンベルク=ウラハ伯(~1492年グェルテンベルク伯領と統合)
- 1482年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ニコロ・モロシーニ」(~1485年)
- 1482年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「アドルフ」(~15000217死去)
- 1482年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「ブラジユ・ポトマニッキ」(2度目~同年)
- 1482年-01:00|ドイツ| |||<就任>ゲッティンゲン侯「フリードリヒ3世」(~1484年)

1490迄 (1537件)

1482年-01:00|デンマーク| |||<就任>シュレスヴィヒ公「ハンス」(~15130722死去)
1482年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Pietro de Ribera」(~1484年)
1482年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「アルブレヒト」ザクセン公(~1485年)、「エルスト」ザクセン選帝侯(~1486年)
1482年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ストレンジ・ニールセン・ストレンジ・セン・ビルト」(~1487年)
1482年-01:00|ベルギー/フランス| |||<就任>フランドル伯「フィリップ4世」(~1506年)
1482年-01:00|フランス| |||<就任>ブルゴーニュ公「フェリペ1世」カスティーリャ王(~1506年)
1482年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ヤヒヤ・ベイ」(1回目~1483年)
1482年-01:00|スペイン| |||<即位>グアラナ王国ナスル朝アミール「ムハンマド12世」ボアブ・デイル(~1482年)
1482年-01:00|クロアチア| |||<即位>ホルヒツァ大公「デューム・パトリック」(~1483年)
1482年-01:00|アンゴラ/コンゴ共和国/コンゴ民主共和国/ポルトガル| |||コンゴ川河口でポルトガル人のデ・イオコがコンゴ王と接触
1482年-01:00|イタリア| |||ニコラス・グーヌスの木版世界図(フトラマウスの誤りを正した新図として出版された最初の地図)
1482年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||ヘルツェゴビナの最後の城/ヴァイ、オスマン帝国に落ちる
1482年1月12日-01:00|イタリア/トルコ| |||ベネチア、バヤズット二世と平和条約
1482年1月20日-09:00|日本|佐賀県佐賀市|文明14年|大内政弘の策により少貳政資は少貳職を奪われ、佐嘉の与賀の館に移り住んだ
1482年1月20日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文明14年|<建立>岳山地蔵堂[百合畑触]の石面地蔵像
1482年1月20日 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<設立>ポルトガル・ゴールドコースト(サン・ジョルジュ・ダ・ミナ・デ・オロ砦[エルミナ:14820121~16370829]、サント・アントニオ・デ・アシム砦[アシム:1486年~16420109]、サン・フランシスコ・ザビエル砦[オス:1640~1642&1680~1682]、セント・セバスティアン砦[シャマ:1526~1637]、トウマ砦[エグウラ:1623~1636]、オグア砦/ア・ハル・コロ砦[ケフ・コースト:1610~1638]、カラ砦[アカラ・オス:1583~1645年以前&1679~1683]、およびトム・ヘ・トロ砦[アナシオン:1683~1690])
1482年1月21日 00:00|ガナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「デ・イオコ・デ・アザンブジャ」(~1485年)
1482年3月7日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|文明14年2月18日|由比善左衛門尉光成、蜂ヶ谷八幡宮若宮本宮(蜂ヶ谷)再建
1482年3月19日-08:00|中国| |||明・成化18年3月|明で皇帝の汪直に対する寵愛が衰え西廠を廃止
1482年3月26日-05:30|イェン・ト| |||<死去>ハフマニ朝第13代スルタン「シャムスッディーン・ムハンマド・シャー3世」
1482年3月26日-05:30|イェン・ト| |||<即位>ハフマニ朝第14代スルタン「シャブッディーン・マフムド・シャー」(~15181227死去)
1482年3月27日-01:00|ベルギー/フランス/ルクセンブルグ/オランダ| |||<死去>ブラバント公・ブルゴーニュ公・リンブルフ公・ルクセンブルク公・アルトリ伯・エノー伯・ゼーラント伯・ナミュール伯・フランドル伯・ホルント伯「マリ1世(マリ・ト・ブルゴーニュ)」兼ゲルデルン公「マリア」25歳、ブルージュで事故死
1482年3月27日-01:00|オランダ| |||<就任>ゲルデルン公「フィリップ」(~1492年)
1482年3月27日-01:00|デンマーク/オランダ/ベルギー/フランス/ルクセンブルグ| |||<就任>ブルゴーニュ公・フランドル伯「フィリップ4世(美公、端麗公)」兼ブラバント公「フィリップ3世」兼ルクセンブルク公・エノー伯「フィリップ2世美公」兼アルトリ伯「フィリップ1世」兼リンブルフ公「フィリップ端麗公」マリーの息子。カスティーリャ王フェリペ1世(~15060925死去)
1482年4月-02:00|ルーマニア| |||<死去>ワキア総督・領主「バサラフ4世若候」
1482年4月-02:00|ルーマニア| |||<就任>ワキア総督・領主「ウラト4世修道士」(~1495年9月)
1482年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「シモーネ・ディ・アントニオ・ベッリツィ」[マリノ・サンマリナーニ]
1482年5月2日-01:00|イタリア| |||ウエネチアがフェララに宣戦布告
1482年5月5日-09:00|日本|滋賀県大津市|文明14年4月18日|延暦寺の内紛で、横川中堂が焼失
1482年5月15日-01:00|イタリア| |||<死去>伊の天文・地理学者トスカリ/地球球形説を唱えた
1482年6月13日-09:00|日本|山口県山口市|文明14年5月27日|大内政弘の周防国山口の邸で、吉見信頼が陶弘護を刺殺/信頼は内藤弘矩に殺される
1482年6月16日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明14年6月|山科本願寺の阿弥陀堂が完成
1482年7月11日 00:00|モリタニア/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領アルギン長官「アフォンソ・デ・モウ」(~14950810)
1482年7月16日-01:00|バチカン/イタリア| |||教皇「ウエネチア・ジュヴァ」間で7年間の同盟
1482年7月16日-07:00|ベトナム| |||大越・洪徳13年7月|大越が戸籍を作成
1482年7月25日-01:00|ドイツ| |||<死去>ブラウンシュヴァイク＝グオルフェンビュッテル侯「グイルヘルム1世」
1482年7月25日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク＝グオルフェンビュッテル侯「グイルヘルム2世」グイルヘルム1世の息子(~1491年~15030707死去)
1482年7月29日-01:00|フランス/オーストリア| |||オーストリア大公マクシミリアン1世の軍がギーザットで仏軍に勝利/ブルゴーニュ公国の遺産の帰属を両者が争った
1482年7月31日-09:00|日本| |||文明14年7月16日|細川政元と畠山義就が和睦
1482年8月5日-06:30|ミャンマー| |||<即位>ムラウ＝ウー国王「タウリヤ」(~1492年2月)
1482年8月14日-09:00|日本|広島県尾道市|文明14年7月30日|尾道光明寺の本堂造立成る
1482年8月24日-01:00|ノルウェー| |||<就任>ノルウェー王国摂政「ジョン・スガ・アレクサンダー」(~14830201没)
1482年8月24日 00:00|チャンド諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領グーンズー島知事「Edward Brampton卿」(~1485年)
1482年8月25日 00:00|イギリス| |||<死去>ヘンリ6世の妃マールゲレット/53歳(誕生14290323)ハウ戦争をひきおこした
1482年8月25日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド大法官「クラスコー司教ジョン・レイン」(~14830110死去)
1482年8月28日-09:00|日本|愛媛県|文明14年閏7月14日|<死去>伊予国守護「河野通春」⇒子の「河野通篤」が継ぐ(~文明17(1485)年)
1482年8月30日-01:00|ベルギー| |||<死去>リエージュ公「ルイ・ド・ブルボン」

1490迄 (1537件)

1482年9月10日-01:00|イタリア| |||<死去>ウルビーノ公「フェデリコ3世・ダ・モンテフェルトロ」
1482年9月10日-01:00|イタリア| |||<即位>ウルビーノ公「グイド・バルト・ダ・モンテフェルトロ」(~1502年チェザレ・ボルジアによる支配)

1482年9月22日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>サヴォイア公「フィリポ1世」
1482年9月22日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>サヴォイア公「カルロ1世」(~14900313死去)
1482年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「伝道師シローモ・ベッルツィ」
1482年10月25日-01:00|フランス| |||<死去>サンポール伯「ピエール2世」
1482年10月25日-01:00|フランス| |||<就任>サンポール伯「マリ-1世」(~15470401死去)
1482年11月21日-09:00|日本|滋賀県大津市|文明14年10月11日|延暦寺、神輿を横川中堂に動座し、近江守護・六角高頼による寺領押領を訴える/闘争・放火により中堂・神輿が焼失
1482年12月14日-01:00|ドイツ| |||<退位>グェルテンベルク=シュトゥットガルト伯「エーバーハルト6世」
1482年12月14日-01:00|ドイツ| |||<統合>グェルテンベルク=ウラッハ伯「エーバーハルト5世」⇒グェルテンベルク伯(⇒14950721グェルテンベルク公「エーバーハルト1世」~14960224死去)
1482年12月15日-09:00|日本|愛媛県西条市|文明14年11月5日|越智安直ら、宇和郡三滝蔵王堂を再建
1482年12月23日-01:00|フランス/オーストリア| |||<アラス条約>オーストリア大公マクシミリアンがフランスによるブルゴニ公領、ピカルディの領有を認める
1482年12月23日-01:00|オランダ/オーストリア| |||オランダはハプスブルク家の支配下(1556年までオーストリア;その後、スペインへ)
1482年12月29日 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>ファイアル島・ピコ島ドナトリア

1483年-05:30|インド| |||<建国>パタリ国
1483年-04:00|ロシア| |||<死去>リャザン大公「ウァシーリー・イヴァノヴィチ・トレトノイ」
1483年-04:00|ロシア| |||<即位>リャザン大公「イヴァン・ウァシリエヴィチ」(~1500年死去)
1483年-02:00|トルコ| |||<即位>カラマニ朝ベイ「Turgutoglu Mahmud Bey」(~1487年)
1483年-01:00|ドイツ| |||<就任>オルデンブルク伯「アドルフ」(~15000217死去)
1483年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのハン「マティアス・ゲレブ」(~1489年)
1483年-01:00|スペイン| |||<復位>ガラタ王国ナシル朝アミール「アブ・ルサン・アリー」(2期目~1485年死去)
1483年-01:00|チコ| |||フス派によるカトリック派ブラ市長の旧市街市庁舎からの放り投げ(ブラ第2次窓外放り投げ事件)

1483年 00:00|イギリス| |||<就任>初代オールバニ公・初代マー伯・初代ギリ伯「アレクザンダー・ステュアート」(~同年没収)
1483年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>プライア・ドナトリア長官「Antao Martins Homem」(~1520年)
1483年1月6日-09:00|日本| ||文明14年11月27日|足利義政が古河公方足利成氏と和睦(都鄙の合体)享徳の乱が終結

1483年1月7日-01:00|アンドラ| |||<死去>アンドラ公国共同大公「フォア伯爵フランシスコ1世」
1483年1月7日-01:00|スペイン| |||<死去>ナバラ王「フランシスコ1世」13歳
1483年1月7日-01:00|アンドラ| |||<就任>アンドラ公国共同大公「ナバラ女王・フォア女伯カトリナ」(~15170102死去)
1483年1月10日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官「クラスゴ-司教ジョン・レイン」
1483年1月10日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「ダンケルト 司教ジェームス・リグ・イングストン」(~8. 28死去)
1483年1月13日-01:00|ドイツ| |||<死去>オーバーヘッセン方伯「ハインリヒ3世富裕伯」
1483年1月13日-01:00|ドイツ| |||<就任>オーバーヘッセン方伯「グィヘルム3世若伯」ハインリヒ3世の息子(~15000217死去、オーバーヘッセン系が断絶)

1483年2月1日-01:00|ルウェー| |||<死去>ルウェー王国摂政「ジョン・スヴァンソンモール」
1483年2月1日-01:00|ルウェー| |||<即位>ルウェー王「ハンス(スウェーデンのヨハン2世)」デーンマーク王(~15130220死去58歳)
1483年2月3日-09:00|日本|京都府京田辺市|文明14年12月26日|<草路城の戦い>東軍の畠山政長が東軍諸勢を草路城へ集結させて西軍の畠山義就に備えたが西軍に攻められ落城
1483年2月7日-07:00|ベトナム| ||大越・洪徳14年|大越が洪徳律例を公布(18世紀末まで使われる)
1483年2月8日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文明15年|妙覚寺が足利義尚の命により四条大宮から二条衣棚に移転

1483年2月8日-09:00|日本|福井県小浜市|文明15年|武田信親(国信嫡男)、栖雲寺(臨済宗)創建(再興)
1483年2月12日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「カトリナ」ビア公がストンとマドレーヌの女子(~15170212死去49歳)
1483年2月27日-01:00|イタリア| |||<死去>モンフェラート侯「グリエルモ8世」
1483年2月27日-01:00|イタリア| |||<就任>モンフェラート侯「ホニファチオ3世」ジヨヴァンニ・ジヤコモの三男(~1494年)
1483年3月23日-01:00|フランス| |||<死去>バル公「ヨランド・タンジュー(ロレーヌ女公)」
1483年3月23日-01:00|フランス| |||<就任>バル公「ル2世(ロレーヌ公)」(~15081210、バル公位はロレーヌ公に属した)
1483年3月31日-09:00|日本|京都府京都市|文明15年2月23日|西陣焼亡
1483年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・ディ・マリノ」
1483年4月2日-09:00|日本|京都府京都市|文明15年2月25日|<就任>関白「鷹司政平」(~文明19年2月9日)
1483年4月4日 00:00|イギリス| |||<死去>エックス伯「ヘンリー・バウチャー」
1483年4月4日 00:00|イギリス| |||<就任>エックス伯「ヘンリー・バウチャー」(~15400313死去)
1483年4月9日 00:00|イギリス| |||<死去>イングラント王「エドワード4世」40歳(誕生14420428)
1483年4月9日 00:00|イギリス| |||<併合>ペンブルック伯⇒王位
1483年4月10日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「エドワード」リチャード3世の子(~14840409死去)
1483年4月10日 00:00|イギリス| |||<即位>イングラント王「エドワード5世」エドワード4世とエリザベス・ウッドヴィルの男子(~6. 25死去約12歳)先王の末弟グロスター公リチャードが摂政につく

1490迄 (1537件)

1483年4月20日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|文明15年3月14日|狩野大膳亮為茂、今川氏親11歳と小鹿範満の
対立により清見寺炎上した戦いに勝利

1483年4月23日-09:00|日本|京都府京都市|文明15年3月17日|畠山義就の兵、畠山政長の兵と山城国で戦い敗れる

1483年4月27日-01:00|ドイツ| |||<死去>メレンブルク=キュストロ=公「アルブレヒト6世」

1483年4月29日 00:00|カリヤ諸島/スペイン| |||スペイン王国植民地グラン・カリヤ島の征服が完了

1483年5月9日-09:00|日本| ||文明15年4月3日|朝倉氏、元越前守護代甲斐氏と和与が成立、主人は斯波氏、分国
は越前守護代に朝倉氏、遠江守護代に甲斐氏、尾張守護代に織田氏となり、事実上、斯波氏領国の3分割される

1483年5月10日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド 連邦大法官「リカン=司教ジョン=ラッセル」(~14850729)

1483年6月20日 00:00|ポルトガル| |||<死去>3代ブラガ=ンサ公・初代ギマランイス公・2代ウイラ=ウイソザ 侯・10代バルセロス伯・7
代オウラム伯・4代アライオス伯・4代ネイヴァ伯「フェルナンド 2世」

1483年6月20日 00:00|ポルトガル| |||<就任>4代ブラガ=ンサ公・2代ギマランイス公・3代ウイラ=ウイソザ 侯・11代バルセロス伯・8代
オウラム伯・5代アライオス伯・5代ネイヴァ伯「ジャイメ1世」フェルナンド 2世の長男(~15320920死去)ポルトガル王子

1483年6月21日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルで、ジョアン2世が、封建貴族の反乱を鎮圧

1483年6月25日 00:00|イギリス| |||<死去>ノーフォーク公・ヨーク公・ノッティンガム伯「リチャード」

1483年6月25日 00:00|イギリス| |||<就任>ノーフォーク公「ジョン=ハワード」(~14850822戦死剥奪)

1483年6月25日 00:00|イギリス| |||<廃位>イングランド 王「エドワード 5世」兼ペンブルック伯「エドワード・フランドジネット」約12歳

1483年6月26日 00:00|イギリス| |||<即位>イングランド 王「リチャード 3世」リチャード・フランドジネットとセリー=ネグイルの男子(~1485
0822戦死32歳)

1483年6月28日 00:00|イギリス| |||<就任>サリ伯「トマス=ハワード」(~1485. 11私権剥奪)

1483年6月28日 00:00|イギリス| |||<就任>ノッティンガム伯「ウィリアム=バーレー」バーレー侯(~14920214死去)

1483年7月-01:00|ポズナ=ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「ジャズ=ベイ」(2回目~1484年)

1483年7月6日 00:00|イギリス| |||<死去>前イングランド 王「エドワード 5世」暗殺される/12歳(誕生:14701102)

1483年7月23日-09:00|日本|京都府京都市|文明15年6月19日|足利義尚、母日野富子と不和となり小川第を出て伊
勢貞宗邸に移住

1483年7月31日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明15年6月27日|東山荘の常御所が完成し、足利義政がそこに
移る

1483年8月9日-01:00|バチカン| |||<開場>「ラシティーナ礼拝堂」(バチカン市国のローマ教皇バチカン宮殿にある礼拝堂)

1483年8月28日 00:00|イギリス| |||<死去>スコットランド 大法官「ダニエル=司教ジェームス=リヴィングストン」

1483年8月30日 19:00|フランス| |||<死去>夜8時、「ヴァロア朝」フランス王ルイ11世(60)がフランス中部の「フレシ=レ=トゥール城」(ロワ
渓谷のトゥール郊外)で脳卒中(1423~、60歳)

1483年8月30日 19:00|フランス| |||<即位>フランス国王「シャルル8世温厚王」ルイ11世の子(~14980407)

1483年8月31日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「ウェルズ 公エドワード」(~14840409没)

1483年9月3日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ヨーク公・ノッティンガム伯「リチャード=オブ=シュルズ=ベリー」

1483年9月6日 00:00|イギリス| |||<就任>スコットランド 大法官「アーガイル伯コリン=キャンベル」(1期目~14880221)

1483年9月23日-09:00|日本|大阪府|文明15年8月22日|<河内十七箇所の戦い(河内国)>義就軍は十七箇所が淀川
と深野池に挟まれた低湿地で、淀川が長雨で増水していたことに目を付け、淀川堤防の大庭堤(守口市)・植松堤
(八尾市)を決壊させ十七箇所を水攻めにした

1483年9月23日-09:00|日本|京都府京都市山科区|文明15年8月22日|<建立>「山科本願寺」(京都市山科に第8世蓮
如が大谷本願寺再建を願い。⇒1532年焼失)

1483年10月1日-01:00|サマリノ| |||<就任>サマリノ共和国執政「ジョヴァンニ=ディ=メンキーノ=カチーニ」「アントニオ=ディ=シローモ」

1483年10月18日-09:00|日本|大阪府枚方市|文明15年9月17日|<犬田城の戦い(河内国)>河内北部の犬田城で畠山
義就と畠山政長が河内の領有権を巡り戦闘が起こり政長軍は敗北、遊佐長直は負傷して淀川を渡り正覚寺へ逃
亡、敗残兵は犬田城へ収容された

1483年10月27日-09:00|日本|大阪府枚方市|文明15年9月26日|<犬田城の戦い(河内国)>犬田城は落城、畠山義就
は河内を実質的に平定

1483年10月30日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|文明15年9月29日|<第四次筒井城の戦い(大和国)>古市軍は筒井
城も攻城。十市、箸尾両軍は援護に回るべく筒井城の南側にある結崎に陣取った。古市軍は調略を巡らし、箸尾
軍は古市軍へ寝返り、筒井城は落城/筒井軍は東山内へ、十市軍は藤井方面に逃走。この戦いで周辺の村は焼か
れた

1483年11月-02:00|ラトヴィア/エストニア/ドイツ| |||<就任>リガ=騎士団団長「ヨハン=フライターク=フォン=ローリング=ホフェ」(~14940526
没)

1483年11月2日 00:00|イギリス| |||<死去>バッキンガム公・スタッフォード 伯「ヘンリー=スタッフォード」

1483年11月25日-01:00|イタリア| |||<再任>ジェノヴァ共和国ドージェ「パオロ=フレゴリ」(3期目~14880106)

1483年12月17日-01:00|ベルギー| |||<就任>リエージュ公「ジョン=オブ=ホーンズ」(~15051218死去)

1483年12月20日-02:00|エストニア/ラトヴィア| |||<死去>リガ 大司教・リヴァント公「シュテファン=グラーベ」

1484年-05:30|インド| |||<建国>ウイラムガム国

1484年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール=スルターン朝スルターン「Muhammad Shah」(~1486年)

1484年-05:30|スリランカ| |||<即位>コッテ王国国王「パラクラマバ=78世」(~1518年)

1484年-05:00|モルデイヴ| |||<即位>ヒルリー朝スルタン「Hassan5世 Raadha Aanandha」(~1485年死去)

1484年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン=ハン「ムハンマド=アミン」イルハムの兄弟(1回目~1485年)

1484年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「マリノ=ガルゾーニ」(~1487年)

1484年-01:00|ドイツ| |||<就任>カレンベルク侯・ゲッティンゲン侯「ヴィルヘルム2世」ヴィルヘルム1世の息子(~1495年)

1490迄 (1537件)

1484年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Pietro de Valdes」(~1486年)
1484年-01:00|フランス| |||<就任>ヌーベル公「ジャン・ダルクマニャック」ジャン・ダルクマニャックとルース・ダンジュの長男(~1500年死去)
1484年-01:00|ポズナ・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ポズナ総督「メフメト・ベイ」(~1485年)
1484年-01:00|イタリア| |||フィッチノ訳の「プラトン全集」が刊行
1484年 00:00|ポルトガル| |||<死去>ヴァイェウ公・ベージョ公「デ・イコ」
1484年 00:00|ポルトガル| |||<就任>ヴァイェウ公・ベージョ公「マヌエル1世」(~14951025ポルトガル王)フェルナンドの六男
1484年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンジール首長「マヌエル・デ・メロ」(~1486年)
1484年1月15日 19:00|フランス| |||フランス王シャルル8世の摂政ピエール・ド・ボジュー・アンヌ・ド・ボジュー(アンヌはシャルル8世の姉)夫妻がフランス中部トゥールに「全国三部会」を召集/初めての本格的な「全国三部会」/全国の行政単位ごとに、聖職者・貴族・平民(第3身分)の3身分の代表250人で構成されることが確立
1484年1月22日-09:00|日本| ||文明15年12月24日|義尚新百人一首を撰す
1484年1月23日-09:00|日本|兵庫県朝来市|文明15年12月25日|赤松政則、山名政豊と播磨国真弓峠で戦い敗れる
1484年1月28日-09:00|日本|大分県|文明16年|<交替>豊後国守護「大友政親」⇒「大友義右」(~明応5年5月27日(14960707)死去)
1484年1月28日-09:00|日本|福井県小浜市|文明16年|丹後守護一色義直、幕府より小浜支配を認められる
1484年1月28日-09:00|日本|福岡県|文明16年|<交替>筑後国守護「大友政親」⇒「大友義右」(~同年)
1484年2月20日-09:00|日本|福岡県福岡市中央区|文明16年1月24日|<福岡合戦>備前守護代・浦上則宗の属城である福岡城を松田・山名連合軍が攻撃、浦上則国が夜半に城から落ち延び福岡城陥落
1484年2月27日-09:00|日本|岡山県|文明16年2月|<交替>備前・美作国守護「赤松政則」更迭⇒「赤松澄則」(~9月)
1484年2月27日-09:00|日本|岡山県瀬戸内市|文明16年2月|松田元成は一挙に三石城へ攻め寄せようとしたが、松田勢は吉井川の東、天王原において大敗
1484年2月27日-09:00|日本|兵庫県|文明16年2月|<交替>播磨国守護「赤松政則」更迭⇒「赤松澄則」(~9月)
1484年3月1日-09:00|日本|岡山県岡山市東区|文明16年2月4日|松田元成は敗走中、磐梨郡弥上村山で浦上勢の追撃にあい自害
1484年3月24日-09:00|日本|長野県佐久市|文明16年2月27日|村上政清、村上政国父子が大井城を攻略し、暴風のもとで四方に火を放つ。260年持ちこたえた大井城下を焼け野原とし、佐久の名門大井氏大井政則は村上氏の軍門に降る
1484年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・マリア・デ・シヨヴァン」
1484年4月9日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<死去>アイルランド 副王「ウェルズ 公エドワード」
1484年4月9日 00:00|イギリス| |||<死去>コンウォール公・ソールズベリー伯「エドワード・オブ・ミドルハム」消滅
1484年4月11日-09:00|日本| ||文明16年3月16日|<死去>東常縁(84歳) 武将、歌人
1484年4月22日-01:00|イタリア/トルコ| |||毎年の貢納の納入と引き換えに、ベネチアにザンテをバヤゼット二世が譲る
1484年5月9日-09:00|日本|島根県安来市|文明16年4月15日|道祐の3周忌追善のため、木造不動明王坐像(甲山出雲神社蔵)を造立
1484年5月10日-09:00|日本|熊本県宇土市|文明16年4月16日|肥後国宇土為光ら守護菊池重朝と木原・赤熊で戦い敗れる
1484年5月19日-01:00|イタリア| |||ベネチア海軍司令官ヤコポ・マルチェッロ、ガリポリ陥落の際の決戦で戦死
1484年5月21日-01:00|フランス/イギリス| |||<死去>ムラン伯「Olivier le Daim」
1484年6月4日-02:00|エストニア/ラトビア| |||<就任>リガ 大司教・リヴァント公「ミハエル・ヒルブランド」(~15090205没)
1484年6月14日-01:00|アントラ| |||<就任>アントラ公国共同大公「フォア伯爵ジャン2世」(~15160614死去)
1484年6月14日-01:00|スペイン| |||<即位>ナバラ王「ファン3世」アルブレハト1世とフランス・ド・シャティヨン＝リモージュの男子(~15160614死去47歳)
1484年7月13日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年6月21日|飢肥で伊東と島津両軍合戦
1484年7月14日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||オスマン帝国はキリヤを併合
1484年7月14日-01:00|イタリア| |||<死去>マントヴァ侯「フェデリコ1世・ゴンザーガ」
1484年7月14日-01:00|イタリア| |||<就任>マントヴァ侯「フランチェスコ2世・ゴンザーガ」フェデリコ1世の息子(~15190329死去)
1484年7月18日-09:00|日本|京都府宇治市|文明16年6月26日|畠山義就・政長の両軍、宇治で合戦
1484年7月22日-01:00|イタリア| |||ベネチア、神聖同盟と休戦
1484年8月4日-02:00|ルーマニア/トルコ| |||オスマン帝国はアッカルマン(現在のベルゴロト=ドネストフスキー)を併合
1484年8月4日-09:00|日本|福井県|文明16年7月13日|朝倉孝景の四男孫五郎景総、相撲に事寄せて弟の教景(法名以千宗勝)を殺す
1484年8月7日-01:00|イタリア| |||イタリアのフェラ戦争が終結
1484年8月12日-01:00|バチカン| |||<死去>第212代ローマ教皇「シクストゥス4世」/70歳(誕生14140721)
1484年8月21日-09:00|日本|島根県安来市|文明16年8月|尼子経久:幕府により月山富田城を奪われる
1484年8月29日-01:00|バチカン| |||<就任>第213代ローマ教皇「インノケンティウス8世」(~14920725死去)
1484年9月-02:00|シリア・アラブ/トルコ| |||オスマン朝軍がシリアへ進出し、マムルーク朝軍と戦争へ
1484年9月20日-09:00|日本|岡山県|文明16年9月|<交替>備前・美作国守護「赤松澄則」⇒「赤松政則」再任(~明応5年4月25日(14960606)死去)
1484年9月20日-09:00|日本|兵庫県|文明16年9月|<交替>播磨国守護「赤松澄則」⇒「赤松政則」再任(~明応5年4月25日(14960606)死去)
1484年9月20日-09:00|日本|福島県須賀川市|文明16年9月|蘆名盛高、陸奥磐瀬城の二階堂氏を攻撃
1484年9月23日-09:00|日本|京都府|文明16年9月4日|<死去>丹後国守護「一色義春」⇒「一色義直」(~長享元(1487))

1490迄 (1537件)

年)

1484年9月23日-09:00|日本|三重県|文明16年9月4日|<死去>伊勢北半国・志摩国守護「一色義春」⇒「一色義直」(~延徳3(1491)年6月)

1484年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジヤコモ・デ・イ・マリノ」「マリノ・ジヤンギ」

1484年10月2日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「リンカン伯ジョン・デ・ラ・ホー」(~1486年3月)

1484年11月3日 00:00|イギリス| |||<死去>ウェストモラント 伯「ラルフ・ネヴィル」

1484年11月3日 00:00|イギリス| |||<就任>ウェストモラント 伯「ラルフ・ネヴィル」先代の甥(~14990206死去)

1484年11月11日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラチン代行「イシュトヴァーン・バートリ・エクセディ」(1回目~1486年1月)

1484年11月19日-09:00|日本|鹿児島県|文明16年11月|北原氏、菱刈氏と謀って島津氏に反乱を起こす

1484年11月21日-09:00|日本|京都府京都市南区|文明16年11月3日|山城の土一揆:徳政を要求して蜂起し東寺にたてこもる→細川政元らに鎮圧される

1484年11月23日-09:00|日本|山口県防府市|文明16年11月5日|周防の阿弥陀寺が焼ける

1484年11月25日-09:00|日本|福井県坂井市|文明16年11月7日|甲斐勢、加賀一揆の支援をうけて坂井郡に侵入し、関嶋田・河和田で合戦

1484年12月2日-09:00|日本|宮崎県串間市|文明16年11月14日|北郷敏久、伊作久逸の所領櫛間を攻め、伊東氏櫛間に救援に向かう

1484年12月8日-09:00|日本|宮崎県串間市|文明16年11月20日|櫛間出兵の軍勢退却

1484年12月12日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明16年11月24日|吉田兼俱が神楽岡に全国の神々を合祀して大元宮を建て、唯一神道(吉田神道)を唱えた

1484年12月16日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年11月28日|伊東祐国、数千の兵を率いて飢肥へ侵攻/鶴戸・安国寺に陣を起き、新納忠続の新山城を攻め落とす

1484年12月20日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年12月3日|伊作久逸、飢肥に出兵し、南郷城を攻め落とす

1485年-08:00|インドネシア| |||<即位>ガレスイク・ギリ君主「Prabhu Satmata」(~1506年)

1485年-08:00|ブルネイ| |||<即位>ブルネイ・スルタン「ホム・ルキア」(~1524年死去)

1485年-08:00|ブルネイ| |||<退位>ブルネイ・スルタン「スライマン」

1485年-06:30|ミャンマー| |||<即位>アワ王「ティハトウラ2世」(~15010304) ミンカン2世と共同統治

1485年-05:30|インド| |||<即位>ヴェンジャヤナガル王国(サンガマ朝) 国王「プラウダ・ラヤ」(~1486年)

1485年-05:00|モルデイグ| |||<死去>ヒルリ朝スルタン「Hassan5世 Raadha Aanandha」

1485年-05:00|モルデイグ| |||<復位>ヒルリ朝スルタン「Hassan4世 Raadha Loka」(2期目~1491年)

1485年-04:00|ロシア| |||<再位>カザン・ハン「イルム・アリ」(2回目~1487年)

1485年-04:00|ロシア| |||<死去>リザン大公「イヴァン・グアシリエヴィチ」

1485年-02:00|モザンビーク| |||<建国>アングシェ・スルタン国

1485年-02:00|エストニア/ドイツ| |||<就任>リヴァニアのレヴァル司令官「シェメルン將軍ヨハン・フォン・デア・レッケ」(~1510年)

1485年-02:00|トルコ| |||<即位>ラマタニス・ハン「Giyaseddin Halil・ベイ」(~1510年)

1485年-02:00|ルーマニア/トルコ| |||ティミショアラのバシャリクはオスマン帝国の一部

1485年-01:00|スペイン| |||<死去>グアラタ 王国ナスル朝アミール「アブ・ルサン・アリー」

1485年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ジローモ・アッラモ」(~1486年)

1485年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「シナン・ベイ」(2回目~1490年)

1485年-01:00|スペイン| |||<就任>リバコルサ 伯「John」(~1512年)

1485年-01:00|スペイン| |||<即位>グアラタ 王国ナスル朝アミール「ムハンマド 13世ザガル」(~1486年)

1485年-01:00|チェコ| |||クテナーホラにおいてカトリック派貴族とフス派貴族との間で宗教上の和約が結ばれた

1485年-01:00|ルウェー| |||グリーンランドのルウェー人植民地がこのころ絶える

1485年-01:00|ドイツ| |||ザクセン選帝侯領が分割相続で2領邦に分裂

1485年 00:00|イギリス| |||<回復>13代オックスフォード 伯「ジョン・ド・ウァー」(~15130310死去)

1485年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Joao de Paiva」(~1490年)

1485年 00:00|イギリス| |||<就任>ソールズベリー 伯「エドワード・プランタジネット」(~14991128死去剥奪)

1485年 00:00|イギリス| |||<就任>ダービー 伯「Thomas Stanley」(~15040729死去)

1485年 00:00|イギリス| |||<就任>デウオン 伯「Edward Courtenay」(~1509年死去)

1485年 00:00|イギリス| |||<就任>ベッドフォード 公・ペンブルック 伯(回復)「ジャスパー・テューダー」(~14951221死去無嗣断絶)

1485年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴースト長官「アルバロ・バス・ペスターノ」(~1486年)

1485年 00:00|カリヤ諸島| |||<就任>ランサローテ島領主「Sancho de Herrera y Ayala」(~1533年以降)⇒「Constanza Sarmiento de Herrera + Pedro Hernandez de Saavedra "el Mozo"」

1485年 00:00|ヨーロッパ| |||粟粒熱がヨーロッパで流行し、猛威をふるう

1485年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||ポルトガルがサントメ島に囚人を送り入植開始

1485年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<就任>グアラソー 島トナリア長官「Pedro Correia da Cunha」(~1497年死去)

1485年 01:00|アゾレス諸島/ポルトガル| |||<設立>グアラソー 島トナリア

1485年1月8日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年12月22日|飢肥で伊東・島津両軍勢合戦し、島津豊久戦死

1485年1月9日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年12月23日|伊東軍、楠原を攻め落とす

1485年1月10日-09:00|日本| ||文明16年12月24日|幕府が、寺社が仏堂や僧房を取り壊したり売却することを禁止する触れを出す

1485年1月12日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明16年12月26日|櫛間の伊作久逸は日向・飢肥の新納忠続を攻撃し

1490迄(1537件)

内戦となった

- 1485年1月14日-01:00|フランス| || |カルアン公が、封建諸侯を率いて王に対して反乱を起こす(道化戦争)
- 1485年1月17日-09:00|日本|愛媛県松山市|文明17年|宥憲ら、太山寺(伊予)を再建
- 1485年1月17日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明17年|慈照寺東求堂ができる
- 1485年1月17日-09:00|日本|静岡県袋井市|文明17年|太素省淳、曹洞宗長嶽山龍巢院(岡崎)を開創
- 1485年1月17日-09:00|日本|岩手県奥州市|文明17年春|葛西政信重臣江刺隆見は南部政盛と和賀定義の後押しで江刺高寺邑で叛旗を翻した
- 1485年1月17日-09:00|韓国/朝鮮| || |朝鮮・成化21年1月1日|朝鮮王朝の成文典「経国大典」頒布施行
- 1485年1月25日 00:00|チェンネ諸島/イギリス| || |<就任>イギリス王領ガーンジー-島知事「Thomas Rydley」(~同年)
- 1485年1月29日-01:00|オーストリア/ハンガリー| || |ハンガリーによるウィーン包囲戦(~6.1)
- 1485年2月16日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明17年2月2日|河田立昌は島津忠廉の攻撃から川田城を守る
- 1485年2月25日-09:00|日本|鹿児島県鹿児島市|文明17年2月11日|800余を率いて上ノ原に陣を張る村田経安は、200人の島津忠廉軍に撃破される
- 1485年2月26日-01:00|イタリア| || |ベネチア、ミラノ公と25年間の同盟
- 1485年3月17日-09:00|日本|愛知県春日井市|文明17年3月|僧心慶、尾張国円福寺に両界曼荼羅図を寄進
- 1485年3月18日-09:00|日本|京都府京都市左京区|文明17年3月2日|足利義政、真正極楽寺(真如堂)本堂を建立
- 1485年3月20日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明17年3月4日|伊東祐国、8000の兵を率い、祐邑も8000の兵を率いて、供に飢肥を攻める
- 1485年3月21日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明17年3月5日|則心寺二世玉翁周琳、曹洞宗普門山高福寺(上新田)創建
- 1485年4月1日-01:00|サンマリノ| || |<就任>サンマリノ共和国執政「マリツィオ・デ・イ・アントニオ・ルナティ・イニ」「バルトロ・デ・イ・パスキノ」
- 1485年4月12日-09:00|韓国/朝鮮| || |<就任>朝鮮国領議政「尹弼商」(~14931207)
- 1485年5月7日-09:00|日本| || |文明17年閏3月23日|<死去>飯尾常房(64歳) 武将、書家
- 1485年5月12日-09:00|日本|兵庫県小野市|文明17年閏3月28日|赤松政則が、山名政豊の蔭木城を攻略
- 1485年5月20日-09:00|日本|愛知県|文明17年4月7日|<改名>越前・尾張・遠江守護「斯波義良」⇒「斯波義寛」(それまで越前の朝倉征伐を行っていたが失敗し、尾張へ本拠を移す)
- 1485年6月1日-01:00|オーストリア| || |<就任>オーストリア・シュタイアーマルク対立公「マティアス・コルヴィヌス」(~14900406没)
- 1485年6月1日-01:00|オーストリア/ハンガリー| || |ハンガリー国王マチャーシュが、ウィーンを占領(~14900406)
- 1485年6月10日-09:00|日本|宮崎県宮崎市|文明17年4月28日|<死去>日向伊東氏6代「伊東祐堯」出陣中に清武城で(77歳)⇒祐国が家督を継承
- 1485年6月15日-09:00|日本|鹿児島県|文明17年5月3日|島津忠廉らが島津忠昌と和睦
- 1485年6月27日-09:00|日本|兵庫県淡路市|文明17年5月15日|<死去>淡路国守護「細川成春」⇒「細川尚春」が継ぐ(~永正16(1519)年5月11日殺害される)
- 1485年6月29日-09:00|日本|京都府京都市中京区|文明17年5月17日|万里小路声聞師村焼亡
- 1485年8月1日-09:00|日本|宮崎県日南市|文明17年6月21日|<死去>日向伊東氏7代「伊東祐国」飢肥城を攻めている途中楠原で島津忠昌に敗れ討死(36歳) 伊東軍、全面撤退
- 1485年8月9日-09:00|日本|鹿児島県|文明17年6月29日|伊作久逸、島津家に降伏
- 1485年8月11日-09:00|日本|茨城県北茨城市|文明17年7月|岩城親隆・常隆父子は佐竹氏領に侵攻、車城を落とす
- 1485年8月15日-01:00|ドイツ| || |<死去>「グラーフ・シュヴァイク＝グレンハーゲン」侯「アルブレヒト2世」
- 1485年8月17日-01:00|オーストリア| || |<即位>オーストリア大公「マティアス・コルヴィヌス」(~14900409死去)
- 1485年8月22日 00:00|イギリス| || |<死去>イングランド王「リチャード3世」リッチモンド伯「ヘンリー・テューダー」と「ボスワース・フィールド」で戦い敗死、32歳(誕生14521002)
- 1485年8月22日 00:00|イギリス| || |<死去>ノーフォーク公「ジョン・ハワード」戦死剥奪
- 1485年8月22日 00:00|イギリス| || |<即位>イングランド王「ヘンリー7世」エドムント・テューダーとマガレット・ボーフートの男子(~15090421死去52歳)
- 1485年8月22日 00:00|イギリス| || |<退任>リッチモンド伯「ヘンリー・テューダー」イングランド王「ヘンリー7世」即位に伴う
- 1485年9月12日-04:00|ロシア| || |モスク大公国がトゥーリ公国を併合
- 1485年9月12日-09:00|日本| || |文明17年8月4日|山城・河内・大和に土一揆起こる
- 1485年9月15日-02:00|ルーマニア/ポーランド| || |モルダヴィアはポーランドの家臣(~1489年)
- 1485年9月18日 00:00|イギリス| || |<就任>イングランド連邦大法官「ヨーク大司教トマス・ロザラム」(3期目~10.7)
- 1485年10月1日-01:00|サンマリノ| || |<就任>サンマリノ共和国執政「パティノ・デ・イ・ビアンコ」「クリストフォロ・デ・イ・チェッコ・デ・イ・ウイタ」
- 1485年10月7日 00:00|イギリス| || |<就任>イングランド連邦大法官「ウスター司教(⇒14861006エリー司教)ジョン・オールコック」(2期目~14870306)
- 1485年10月27日 00:00|イギリス| || |<就任>「ベットフォード公」「ジャスパー・テューダー」ヘンリー6世の異父弟(~14951221死去)
- 1485年10月30日-01:00|バチカン/イタリア| || |教皇インノケンティウス8世が、ナポリ王フェルナント1世と交戦
- 1485年11月 00:00|イギリス| || |<私権剥奪>サリ伯「トマス・ハワード」
- 1485年11月 00:00|イギリス| || |<就任>「バッキンガム公・スタッフォード伯」「エドワード・スタッフォード」先代の子(~15210513大逆罪で処刑、私権剥奪)
- 1485年11月4日-01:00|イタリア| || |<死去>「ヴェネチア共和国ドージェ」(元首)「ジョヴァンニ・モチニョ」
- 1485年11月19日-01:00|イタリア| || |<就任>「ヴェネチア共和国ドージェ」(元首)「マルコ・バルバリゴ」(~1486.8)
- 1485年11月24日-09:00|日本|奈良県天理市|文明17年10月17日|越智党の山田氏が福住城を攻めるが痛み分けとなる

1490迄 (1537件)

1485年11月28日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島知事「Edmund Weston」「Thomas de Saint-Martin」(~1486年)

1485年12月8日-09:00|日本| ||文明17年11月2日|<死去>芸阿弥(55歳) 絵師、連歌師

1485年12月31日-09:00|日本|奈良県宇陀市|文明17年11月25日|筒井党が越智方の多田城を攻め落とす

1486年-08:00|インドネシア| |||<即位>テルナテ・スルタン「Zainal Abidin」(~1500年)

1486年-07:00|ラオス/タイ| |||<死去>ランサン王朝国王「スワン・バンラン(テンカム)」

1486年-07:00|ラオス/タイ| |||<即位>ランサン王朝国王「ラーセン・タイフワート」(~1495年)

1486年-05:30|インド| |||<即位>ウイジヤナガル王国(サルワ朝)国王「サルワ・アナシンハ・デーヴァ・ラーヤ」(~1491年)

1486年-05:30|インド| |||<即位>カシュミール・スルタン朝スルタン「Fateh Shah」(~1493年)

1486年-04:00|ロシア| |||<即位>カシモフ・ハン国ハン「ヌール・ダウラト」クリム・ハン国のハーゼー1世の子、メンクリ1世の兄(~1491年)

1486年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「ジョヴァンニ・ボッラーニ」(~1487年)

1486年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Simone di Mazara」(3期目~1487年)

1486年-01:00|ドイツ| |||<就任>テューリンゲン方伯「フリートリヒ6世」ザクセン選帝侯(~1525年)

1486年-01:00|ドイツ| |||<就任>ブラウンシュヴァイク＝グエルンハーゲン侯「フィリップ1世」ハインリヒ4世の息子(~15510904死去)

1486年-01:00|ドイツ| |||<就任>リュネブルク侯「ハインリヒ1世」(~1520年)

1486年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン＝ウイッテンベルク公「ハインリヒ1世」(~1520年~1532年死去)

1486年-01:00|ドイツ| |||<即位>ザクセン公「アルブレヒト3世大胆公」(~15000912死去)

1486年-01:00|イタリア| |||<即位>トレント司教公「Ulrich3世 von Frundsberg」(~1493年)

1486年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<死去>アイスランド 支配者「ソーレイファー・ビヨルソソ」

1486年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド 支配者「デイドリック・ヒニンク」(2回目~1490年)

1486年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴールドコースト長官「アルバロ・マスカレンス」

1486年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||サフィムをポルトガルが支配(~1541年10月)

1486年 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルがリスボンに奴隷局を設置

1486年 07:00|メキシコ| |||<即位>アステカ第8代国王「アウイツトル」(~1502年)

1486年1月-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パライン「イムレ・ゲロフ・サボリア・セベシ」(~14870912没)

1486年1月3日-09:00|日本| ||文明17年11月28日|<死去>宗伊(杉原賢盛)(68歳) 連歌師

1486年1月6日-09:00|日本|熊本県上益城郡山都町|文明17年12月|阿蘇大宮司職をめぐる対立していた阿蘇惟憲が、阿蘇惟歳・惟家を幕の平で破る/阿蘇家の内紛が決着

1486年1月7日-01:00|イタリア| |||ベネツィアで保健監督官制度

1486年1月18日 00:00|イギリス| |||ヘンリー7世が、ユーク家のエドワード4世の娘のエリザベスと結婚/[薔薇戦争]終結

1486年1月22日-09:00|日本|京都府京都市|文明17年12月17日|(11日~)<山城国一揆>山城の国一揆が両畠山氏に撤退要求/山城国南半の上三郡(久世郡、綴喜郡、相楽郡)で国人や農民が協力し守護大名畠山氏の政治的影響力を排除し以後8年間自治を行った

1486年2月-01:00|セルビア| |||<即位>亡命セルビア専制公「ジョルジェ・ブランコヴィッチ」ステファン・ブランコヴィッチの息子(~1497年7月、退位)ブランコヴィッチ王朝

1486年2月5日-09:00|日本| ||文明18年|雪舟「四季山水図」を描く

1486年2月5日-09:00|日本|静岡県浜松市南区|文明18年|宗源院2世寅岱義建、曹洞宗三島山神宮寺(三島町)を開山

1486年2月5日-09:00|日本|静岡県藤枝市|文明18年|鎌倉光明寺4世良順聖満の弟子貞誓知公が了善寺(天王町)を開山

1486年2月5日-09:00|日本|宮崎県北諸県郡三股町|文明18年|伊東尹祐、勝岡を攻め落とす

1486年2月5日-09:00|日本|宮崎県都城市|文明18年|伊東尹祐、山之口・梶山を攻め落とす

1486年2月5日-08:00|中国| ||明・成化22年|<即位>タライ・マ「2世ゲントウ・ギョウ」(~1542年)

1486年2月5日-09:00|日本|島根県安来市|文明18年1月1日|尼子経久が塩冶掃部助の月山富田城(出雲国)を夜襲し、掃部助を討ち取って同城を落とす

1486年2月10日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文明18年1月6日|播磨国守護赤松政則、山名政豊の兵を同国英賀で破りついでまた坂本で破る

1486年2月16日-01:00|イタリア/ドイツ| |||<即位>イタリア王「マッシミアノ1世」兼ドイツ王「マクシミリアン1世」フリートリヒ3世の息子、オーストリア大公(⇒14930819神聖ローマ皇帝~15190112死去)

1486年3月 00:00|アイルランド/イギリス| |||<就任>アイルランド 副王「ベットフォート公ジョハス・チューダー」(~14941013)、代行「キルデア伯爵ジェラルド・フィッツジェラルド」(~14920520)

1486年3月2日 00:00|イギリス| |||<就任>初代マー伯・初代キリー伯「ジョン・ステュアート」(~15030311死去)

1486年3月11日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<死去>ブランデンブルク選帝侯・ブランデンブルク＝アンハルト＝クルムハツハ辺境伯「アルブレヒト・アヒス」

1486年3月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク＝アンハルト＝クルムハツハ辺境伯「フリートリヒ2世」(~15360404死去)

1486年3月11日-01:00|ドイツ| |||<就任>ブランデンブルク＝クルムハツハ辺境伯「ジークムント」(~14950226死去)

1486年3月11日-01:00|ドイツ/ポーランド| |||<就任>ブランデンブルク選帝侯「ヨハン・ツィツェロ」アルブレヒト・アヒスの息子(~14990109死去)

1486年3月15日 00:00|カナ/ポルトガル| |||サン・ジョルジエ・ダ・ミナが、ポルトガル王からゴールドコーストの権利と特権を与えられた

1486年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「メネット・ディ・メネット・ボネリ」「ハレンテ・ディ・パオロ」

1486年4月5日 00:00|チャンネル諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ガーンジー島・ジャージー島知事兼司令官「Matthew Bake

1490迄 (1537件)

r」David Phillips」(~14880723)
1486年5月-01:00|フランス| |||<死去>モンパソエ伯「Louis1世 de Bourbon」
1486年5月-01:00|フランス| |||<就任>モンパソエ伯「Gilbert de Bourbon」(~14961015死去)
1486年5月12日-09:00|日本|宮崎県日向市|文明18年4月9日|伊東祐邑、野村右衛門佐らに殺害される/野村一族は祐良を擁するが、祐良は野村一族11の外城主をことごとく滅ぼす(野村氏の乱)
1486年6月13日-01:00|スイス| |||スイス・ザレで土砂災害、死者300人
1486年6月13日-09:00|日本|大阪府大阪市|文明18年5月12日|<任命>摂津国西成郡守護「細川政国」(~明応4年8月23日(14950911)死去)
1486年6月19日-09:00|日本|茨城県鉾田市|文明18年5月18日|<徳宿合戦>江戸氏勢2000余に攻められ畑田の援軍を含め300で戦うが徳宿氏滅亡/鹿行の援軍1500は間に合わず/直後、援軍(鹿島・香取・下総)は縦山(鉾田町縦山)で野営中に江戸軍に攻められ畑田氏が江戸氏に和睦を申し入れ敗北/江戸氏勢が軍を引く
1486年6月26日-09:00|日本|静岡県掛川市|文明18年5月25日|<死去>真沢山長松院開山石宙永珊
1486年6月27日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年5月26日|<任命>山城国守護「伊勢貞陸」(~長享元(1487)年11月解任)/幕府及び伊勢氏は一揆側に一定の政治権限(検断権・半済権など)を認める一方、畠山氏が持っていた守護請の権限を継承
1486年8月3日-09:00|日本|福井県|文明18年7月4日|<死去>越前国守護「朝倉氏景」38歳⇒子の「朝倉貞景」が継ぐ(~永正9年3月25日(15120411)死去)
1486年8月6日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンゴール首長「タウカ伯ジョアン・デ・メネス」(1回目~14890609)
1486年8月14日-01:00|イタリア| |||<死去>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「マルコ・パルパリーゴ」
1486年8月19日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年7月20日|<交替>室町幕府管領「畠山政長」⇒「細川政元」(~29日、在任9日で辞任)
1486年8月20日-01:00|リトベシユタイン| |||<就任>ブランデイス卿「ルトウ・ヒ」(1回目~14990212)、「ジークムント2世デ・ア・ユンゲレ」(1回目~14990212)、「ヨハン」(1回目~14990212)
1486年8月25日-09:00|日本|神奈川県伊勢原市|文明18年7月26日|上杉定正糟屋館にて太田道灌を誅す/55歳(誕生:永享4(1432))
1486年8月26日-01:00|ドイツ| |||<死去>ザクセン選帝侯「エルスト」
1486年8月26日-01:00|ドイツ| |||<就任>ザクセン選帝侯「フリードリヒ3世賢公」(~15250505死去)
1486年8月28日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年7月29日|<辞任>室町幕府管領「細川政元」
1486年8月29日-09:00|日本|滋賀県犬上郡多賀町|文明18年8月|<敏満寺の戦い>京極高政が近江犬上郡敏満寺にいるところを京極政経の臣多賀宗直に攻められ敏満寺城を捨て、甲賀郡三雲に逃れる
1486年8月30日-01:00|イタリア| |||<就任>ヴェネツィア共和国ドージェ(元首)「アゴスティーノ・パルパリーゴ」(~15010920死去)
1486年9月15日-09:00|日本|静岡県焼津市|文明18年8月18日|茂山祖宗大和尚、曹洞宗青龍山孤雲院(上小杉)開創
1486年9月20日 00:00|イギリス| |||<就任>コンウォール公「アーサー・ヘンリー7世の子」(~15020402死去)
1486年9月21日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年8月24日|京に徳政一揆起こる
1486年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・ビアンコ」
1486年10月10日-09:00|日本|京都府京都市南区|文明18年9月13日|細川政元が東寺に立て籠もった土一揆に軍勢を差し向ける。東寺は御影堂を除き焼失
1486年10月22日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年9月25日|細川政元が土一揆に軍勢を差し向け追い払う
1486年10月29日-09:00|日本|京都府京都市|文明18年10月2日|京都紙座の争いにより三条姉小路16町焼亡
1486年10月30日-09:00|日本|千葉県千葉市|文明18年10月3日|下総国千葉城主千葉胤朝(51)が千葉胤将によって暗殺された
1486年11月1日-09:00|日本|奈良県奈良市|文明18年10月5日|越智党の多田・筒井党の吐山(はやま)両氏が白石で戦う/堤(越智代官)・古市氏は多田氏に、筒井・十市氏は吐山氏に合力するが、後に多田氏が降伏して吐山氏が勝利
1486年12月29日-01:00|バチカン/イタリア| |||ベネツィア、教皇25年間の同盟
1487年-08:00|モンゴル| |||<死去>モンゴル帝国(北元)皇帝「バヤン・モンク」殺害される
1487年-08:00|モンゴル| |||<即位>モンゴル帝国(北元)皇帝「タヤン・ハーン」モンゴル再統一(~1524年没)
1487年-05:30|インド| |||<死去>ベンガル・スルタン朝スルタン「Jalaluddin Fateh Shah」
1487年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Shahzada Barbak」(~同年)⇒「Saifuddin Firuz Shah」(~1489年)
1487年-04:00|ロシア| |||<即位>カザン・ハン「ムハンマド・アミン」(2回目~1496年)
1487年-04:00|ロシア| |||カザンがロシア(モスクワ)の宗主権下(1496~1497年と1505~1511年中断~1521年)
1487年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンデリア公「ニコロ・リオーニ」(~1490年)
1487年-01:00|フランス| |||<死去>リニー伯「ルイ2世」
1487年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデュラツォ執達吏・長官「フランチェスコ・ザネ」(~1490年)
1487年-01:00|フランス| |||<就任>サンポール伯「フランソワ1世(2世)」(~1495年)マリ1世とヴァントーム伯フランソワの子
1487年-01:00|マルタ/イタリア| |||<就任>シチリア領マルタ副総督「Carlo de Guevara」(~1493年)
1487年-01:00|スペイン/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル領セウタ提督「Antonio de Noronha」(~1491年)
1487年-01:00|フランス| |||<就任>リニー伯「Charles of Bourbon」ルイ2世の息子(~1510年死去)
1487年-01:00|スペイン| |||<復位>グアラナ王国ナサル朝アミール「ムハンマド12世ホ・アブ・デイル」(2期目~14920102)
1487年-01:00|フランス| |||トミコ会修道士が「魔女の鉄槌」を著す
1487年 00:00|イギリス| |||<死去>アランデル伯「ウィリアム・フィッツアラン」

1490迄 (1537件)

1487年 00:00|イギリス| |||<就任>2代バカン伯「アレクサンダー・ステュアート」(~1505年死去)
1487年 00:00|イギリス| |||<就任>アンデル伯「ウィリアム・フィッツアラン」(~15241025死去)
1487年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンジール暫定首長「フェルナンド・マルティンス・マスカレニャス」(~1489年)
1487年 00:00|カナ/ポルトガル| |||<就任>ポルトガル・ゴート・ユースト長官「ジョアン・フォガサ」
1487年 07:00|メキシコ| |||テノチティランの大宮殿が完成
1487年1月7日-09:00|日本|愛知県津島市|文明18年12月13日|尾張国津島社弥五郎殿の遷宮が行われる
1487年1月14日-09:00|日本|三重県伊勢市|文明18年12月20日|<伊勢国山田文明18年の兵火>伊勢国司の北畠政郷が宇治の神人を助勢し山田を攻撃/山田側はいったん勝利を納めたが国司側が反撃して山田に火を放ち全地域に延焼大火となる
1487年1月16日-09:00|日本|三重県伊勢市|文明18年12月22日|<伊勢国山田文明18年の兵火>伊勢山田の神人は反撃に出たが敗れ、中心人物・榎倉武則は外宮内院に遁れ切腹
1487年1月25日-09:00|日本|大阪府|文明19年|<任命>和泉下半国守護「細川勝信」(~明応4(1495)年)
1487年1月25日-09:00|日本|京都府|文明19年|<交替>丹後国守護「一色義直」⇒「一色義秀」(~明応7(1498)年5月29日自害)
1487年1月25日-09:00|日本|静岡県伊豆の国市|文明19年|<死去>関東執事(堀越公方)「上杉(犬懸)政憲」
1487年1月25日-09:00|日本|静岡県浜松市天竜区|文明19年|天台宗洞泉寺(阿寺)が大火により焼失⇒源翁によって再興され臨済宗に改められる
1487年1月25日-09:00|日本|静岡県三島市|文明19年|伊勢盛時、今川家の家督相続問題で駿河国に下向し、石脇城(石脇上)に拠って築城
1487年1月25日-09:00|日本|長崎県壱岐市|文明19年|白山山刈田院覚音寺[立石西触]を再建
1487年1月25日-09:00|日本|福岡県筑紫郡那珂川町|文明19年|<死去>九州探題「渋川万寿丸」筑前国亀尾城で⇒「渋川尹繁」(~永正元(1504)年解任)
1487年1月25日-08:00|中国| ||明・成化23年|<死去>モグ・リスタン・ハン国ハ「ユヌス」
1487年1月25日-08:00|中国| ||明・成化23年|<即位>西モグ・リスタン・ハン「マフムト」ユヌスの子、パーブルの叔父、ザイト(ヤルカド・ハン国始祖)の父(~1508年死去、シャハ・ニー朝に併合)
1487年1月25日-08:00|中国| ||明・成化23年|<即位>北疆(ウイグル系)ハン「アフマト・アラ」(~1503年死去)
1487年3月4日-09:00|日本|京都府京都市|文明19年2月9日|<就任>関白「九条政忠」(~長享2年8月23日)
1487年3月6日 00:00|イギリス| |||<就任>イングランド連邦大法官「カンタベリー大主教(1493年枢機卿)ジョン・モートン」(~1500915死去)
1487年3月25日-09:00|日本|静岡県掛川市|文明19年3月|高天神城城代浅羽弥九郎幸忠、石雲5派隆溪繁紹を開山に、隆溪派梅月山華嚴院(上土方落合)開基
1487年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「伝道師」ローマ・ベルツィ「マリノ・デ・イ・シモネ・ムッチョーリ」
1487年4月3日-09:00|日本|兵庫県姫路市|文明19年3月10日|赤松政則、山名政豊の播磨国坂本城を抜く
1487年4月12日-01:00|ドイツ| |||<死去>ハッパ・ルク=ザ・ウエンベルク辺境伯「ルトルフ4世」
1487年4月12日-01:00|ドイツ| |||<就任>ハッパ・ルク=ザ・ウエンベルク辺境伯「フィリップ」(~15030909死去)
1487年5月7日 00:00|ポルトガル| |||ポルトガルがフレスター・ジョンの探索隊を派遣
1487年5月23日-09:00|日本|滋賀県長浜市|文明19年5月1日|<国友河原の戦い>近江国友河原で京極高澄が、家督争いで対立していた叔父の京極政経・村宗父子方の多賀宗直を破る
1487年5月24日 00:00|アイルランド/イギリス| |||イギリスのランバート・シムルがアイルランドで「エドワード5世」を称して反乱を起こす
1487年5月27日-07:00|タイ| |||<死去>ランナー王国マンライ朝国王「ティローカート(ティローク)」
1487年5月27日-07:00|タイ| |||<即位>ランナー王国マンライ朝国王「ヨートチエンライ」(~1495年退位)
1487年6月16日 00:00|イギリス| |||<死去>リカン伯「ジョン・ド・ラ・ポール」
1487年6月16日 00:00|アイルランド/イギリス| |||<ストーク・フィールドの戦い>ヘンリー7世が、シムルを破って捕虜とする
1487年7月21日-09:00|日本|鳥取県|長享1年7月|<第二次毛利次郎の乱(因幡国)>因幡の国中乱逆/毛利・矢部定利らの国人衆は新守護山名政実を擁立、再び反守護連合を構築して挙兵/これに対し、山名豊時は単独で応戦して不利ではあったが、幸いにして他の国人衆は政実を支持せず、前回よりも反守護連合は拡大しなかった/戦況は豊時の優勢で推移
1487年7月23日 00:00|チャールズ諸島/イギリス| |||<就任>イギリス王領ジャージー-島知事「Matthew Baker」(~1496年)
1487年8月9日-09:00|日本| ||長享1年7月20日|文明から長享へ改元
1487年8月10日-08:00|中国| |||陝西省、臨潼地震(M6.5)、死者2000人
1487年8月21日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長享1年8月3日|京都浄華院落慶/本尊遷座
1487年8月27日-09:00|日本|京都府京都市|長享1年8月9日|<任命>室町幕府管領「細川政元」(~即日辞任)
1487年9月8日-09:00|日本|京都府京都市|長享1年8月21日|山城国土一揆蜂起
1487年9月9日-08:00|中国| ||明・成化23年8月22日|<死去>明第9代皇帝「憲宗成化帝(朱見深)」
1487年9月12日-01:00|ハンガリー| |||<死去>ハンガリー王国パラティン「イル・ゲロフ・サホリアイ・セペシ」
1487年9月12日-01:00|ハンガリー| |||<就任>ハンガリー王国パラティン代行「イシュバーン・パトリ・イクゼイ」(2回目~12.5)
1487年9月17日-09:00|日本|滋賀県|長享1年9月|<解任>近江国守護「六角高頼」
1487年9月17日-09:00|日本|静岡県榛原郡吉田町|長享1年9月|石雲五派隆溪繁紹、華嚴院(大東町落合)末竜音山正雲寺(吉田町川尻)開山
1487年9月17日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|長享1年9月|<第二次毛利次郎の乱(因幡国)>徳丸河原合戦では、矢部氏一族・北川氏の離反によって反守護連合は敗退

1490迄 (1537件)

1487年9月22日-08:00|中国| ||明・成化23年9月6日|<即位>明第10代皇帝「孝宗弘治帝(朱祐枋)」成化帝の子(弘治18年5月7日1505年6月8日)、前帝の側近や外戚を追放

1487年9月28日-09:00|日本|滋賀県|長享1年9月12日|<長享・延徳の乱(近江国)>足利義尚は、管領・細川政元をはじめ、若狭守護・武田国信等の守護大名、在京奉公衆、在国奉公衆、さらには公家衆も率いて近江坂本へ出陣。義尚の遠征に対し、六角行高は観音寺城を放棄して撤退したが甲賀郡山間部でのゲリラ戦を展開し、戦闘は膠着状態に陥った

1487年10月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョーネ・デ・アントニオ・ベルツィ」「アントニオ・デ・ポリロ・ルナルディニ」

1487年10月10日-09:00|日本|滋賀県野洲市|長享1年9月24日|<第一次六角征伐>幕府軍は八幡山・金剛寺を攻めるが六角方は退却、野洲河原で合戦が起こったが大したものではなく、六角高頼も本拠の観音寺城を出て甲賀郡に退却

1487年10月17日-08:00|中国| ||明・成化23年10月|明で邱濬が「大学衍義補」を刊、明初以来の政治経済の変遷を分析

1487年10月20日-09:00|日本|滋賀県甲賀市|長享1年10月4日|<鉤の陣>將軍義尚は坂本から琵琶湖を渡って栗太郡の鉤の安養寺に陣を構え、諸大名の軍勢も現在の栗東・草津・守山その他の地域に分散して布陣。まず浦上則宗の軍勢が甲賀郡に侵入するが六角高頼はやはり正面切った抵抗をせずに姿をくらました

1487年10月21日-09:00|日本| ||長享1年10月5日|將軍足利義尚が、六角高頼が押領していた寺社領を没収し近臣に与える

1487年11月12日-09:00|日本|滋賀県栗東市|長享1年10月27日|<鉤の陣>將軍義尚は手狭な安養寺から少し北東にある上鉤の真宝館に移動

1487年11月16日-09:00|日本|京都府京都市|長享1年11月|<解任>山城国守護「伊勢貞陸」

1487年11月24日-09:00|日本|静岡県|長享1年11月9日|<駿府今川屋形の戦い>今川家臣を率いた伊勢盛時が駿河館を襲撃、小鹿範満を自殺に追込む/これにより龍王丸(今川氏親)が第9代今川家当主となる

1487年11月27日-01:00|ドイツ| ||<死去>アンハルト・デッサウ侯「Sigismund3世」

1487年12月5日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国摂政「エリコ・バント・ツチ・ナギ・セルゲイ」(~14900809)

1487年12月5日-01:00|ハンガリー| ||<就任>ハンガリー王国パライム「エリコ・バント・ツチ・ナギ・セルゲイ」(~14911021没)

1487年12月7日 00:00|イギリス| ||<死去>デズモンド伯「ジェームス・フィッツ・ジェラルド」

1487年12月7日 00:00|イギリス| ||<就任>デズモンド伯「モーリス・フィッツ・ジェラルド」(~1520年死去)

1487年12月8日-01:00|ナミビア/ポルトガル| ||ワルビス湾がバルトロメウ・ディアスによって発見され、ポルトガル領有権宣言、ハイダ・サン・マリア・ダ・コンセicao(コンセiション湾)と名付けられた

1487年12月8日-09:00|日本|静岡県周知郡森町|長享1年11月23日|周智郡大洞院焼失/「橘谷大洞院住山記」が焼失

1487年12月15日-09:00|日本|広島県尾道市|長享1年閏11月|沼田小早川氏、安芸国瀬戸城を攻略

1487年12月17日-09:00|日本|栃木県足利市|長享1年閏11月3日|上杉顕定が扇谷上杉家へ離反した勸農城の長尾房清を攻撃(山内上杉顕定と扇谷上杉定正・朝良の両上杉家による長享の乱が始まる)

1488年-08:00|マレーシア| ||<死去>マッカ王国スルタン「スルタン・アラウッディン・リヤト・シャー」

1488年-08:00|マレーシア| ||<即位>マッカ王国スルタン「スルタン・マムド」(~15110810退位)

1488年-07:00|タイ| ||<即位>アユタヤ王朝第10代国王「インタラーチャー2世(ホー・ローチャーティラート3世)」(~1491年死去)中央集権制が確立

1488年-04:00|ロシア| ||<即位>モスコフスキー・ナメスニク「セモン・ロマノヴィチ」(~1491年)

1488年-03:00|マリア/ジブラルタル| ||<即位>アダル・スルタン国スルタン「Muhammad ibn Azhar adDin」(~1518年)

1488年-01:00|イタリア| ||<死去>ゲラフィナ公「Raimondo Orsini」

1488年-01:00|フランス| ||<死去>ダマルタン伯「Antoine de Chabannes」

1488年-01:00|フランス| ||<就任>ダマルタン伯「Jean de Chabannes」(~1503年)

1488年-01:00|イタリア| ||<即位>ゲラフィナ公「Francesco Orsini」(~1503年死去)

1488年-01:00|チュニジア| ||<即位>ハフ朝第23代国王「ヤフヤ3世」(~1490年)

1488年-01:00|フランス| ||フランスのバィヨンで食糧暴動が発生

1488年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>ラ・コメラ伯摂政「Beatriz de Bobadilla」(~1501年死去)

1488年 00:00|カリヤ諸島/スペイン| ||<就任>ラ・コメラ伯「Guillen Peraza」(~1565年死去)

1488年 00:00|イギリス| ||<昇格>ロバート「ジェームス・シュアート」初代オモンド侯⇒ロス公(~1504.1死去)

1488年 00:00|モロッコ/ポルトガル| ||サフィムをポルトガルが支配(~1541年10月)

1488年1月14日-08:00|中国| ||明・弘治1年1月1日|明・弘治と改元

1488年1月15日-09:00|日本|滋賀県栗東市|長享1年12月2日|近江鉤に布陣していた將軍・足利義尚に六角高頼配下の甲賀武士たちが奇襲をかけ足利義尚が負傷

1488年1月23日-09:00|日本|福岡県那珂川市|長享1年12月10日|渋川万寿丸、家臣森戸修理により筑前国亀尾城で殺される

1488年1月24日-09:00|日本|京都府京都市|長享1年12月11日|京都大火. 9町600余軒焼亡

1488年2月3日-02:00|南アフリカ/ポルトガル| ||バース・ロムューデ・アス(ポルトガル)、喜望峰に到達

1488年2月13日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|長享2年|瀬名陸奥守一秀、安養寺2世恵雲用輪を開山に清涼山光鏡院(瀬名)開基

1488年2月13日-09:00|日本|静岡県静岡市葵区|長享2年|朝比奈丹波守吉俊、所領の沼地を埋め覚山見知和尚を開山に、大森山長源院(沓谷)開基

1488年2月13日-09:00|日本|静岡県藤枝市|長享2年|朝比奈氏、芝派七哲界巖繁越大を和尚開山に、谷川山梅林院(

1490迄 (1537件)

岡部町桂島)開基

- 1488年2月13日-09:00|日本|滋賀県|長享2年1月|<交替>近江国守護「六角高頼」⇒「結城尚豊」(~延徳元(1489)年3月)
- 1488年2月13日-09:00|日本|宮城県大崎市|長享2年1月|<交替>奥州探題「大崎政兼」⇒「大崎義兼」(~享禄2(1529)年死去)
- 1488年2月13日-09:00|日本|宮城県大崎市|長享2年1月|大崎義兼、家中の紛争を避け、伊達成宗の元に亡命。成宗、宿老金沢氏に命じて大崎領を鎮定し、義兼を復帰させる
- 1488年2月21日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「アバティーン司教ウィリアム・エルフィンストーン」(~6.11)
- 1488年3月12日-02:00|南アフリカ/ポルトガル| ||ポルトガルのバルトロメウ・ディアス・デ・ノヴァエス大尉が岬を最初に一周し、ホ・ダ・ストルメンタス(嵐の岬)と名付け、後にホ・ダ・ホ・ア・エスペランサ(希望峰)と改名
- 1488年3月18日-09:00|日本|神奈川県伊勢原市|長享2年2月5日|<実蒔原合戦>上杉顕定(関東管領)は実父の越後守護上杉房定の支援を受けて太田資康や三浦高教とともに本拠のある武蔵国鉢形城を1000騎で出発、一気に扇谷上杉家の上杉定正の本拠糟谷館を制圧しようとした/<実蒔原の戦い>定正は留守を兄の朝昌(定正の養子・朝良の実父)に任せて同じ武蔵の河越城に滞在しており、直ちにわずか200騎でこれを追跡、糟谷館郊外の実蒔原で顕定軍に奇襲攻撃をかけた。予想外の奇襲に顕定軍は潰走、定正側も朝昌の居城の七沢城を失った
- 1488年4月1日-01:00|フランス| ||<死去>ブルボン公「ジャン2世」
- 1488年4月1日-01:00|サンマリノ| ||<就任>サンマリノ共和国執政「バルトロメウ・アントニオ」「ファブリツィオ・ディ・ピエール・レオーネ・コルベッリ」
- 1488年4月1日-01:00|フランス| ||<就任>ブルボン公「シャル2世」(~9.13死去)
- 1488年4月4日-01:00|イタリア| ||ベネチア、サン・ロコとサン・マルケリタ修道院設立
- 1488年4月27日-01:00|ポーランド| ||<死去>ワルシャワ公「ホレスワフ5世」領地はマゾフシェに吸収
- 1488年5月5日-09:00|日本|群馬県渋川市|長享2年3月24日|<長享の乱>上野国白井城に滞在していた上杉定昌が自害
- 1488年5月6日-09:00|日本|静岡県掛川市|長享2年3月25日|高天神城城代浅羽弥九郎幸忠、華厳院(大東町落合)開基。芝派7哲隆溪繁紹(遠江守護斯波義重の玄孫)開山
- 1488年5月9日-01:00|ポーランド| ||<死去>レグニツァ公「フレデリック1世」
- 1488年5月9日-01:00|ポーランド| ||<就任>レグニツァ公「ジョン2世」(~14950306死去),「フレデリック2世」(~15470917死去),「ジョージ1世」(~15210530死去)
- 1488年5月18日 00:00|イギリス| ||<就任>初代モントローズ公「デュー・オブ・リンジー」5代クロフォード伯(~14881017剥奪~14890919、回復~14951225死去)
- 1488年5月26日-09:00|日本|千葉県香取郡多古町|長享2年4月15日|<死去>飯篠家直(102歳)天真正伝香取神道流の創始者
- 1488年6月8日-09:00|日本|京都府京都市上京区|長享2年4月28日|常不軽院日真京に本隆寺を創し一派を唱う
- 1488年6月11日 00:00|イギリス| ||<死去>スコットランド 王「ジェームス3世」反乱貴族との戦いで敗死/36歳(誕生14510710)
- 1488年6月11日 00:00|イギリス| ||<即位>スコットランド 王「ジェームス4世」ジェームス3世とマーガレット・オブ・デンマークの息子(~15130909死去40歳)
- 1488年6月15日 00:00|イギリス| ||<就任>スコットランド 大法官「アーガイル伯コリン・キャンベル」(2期目~14921022)
- 1488年6月20日-01:00|スペイン| ||<死去>初代アルバ公「ガルスア・アルバ・レス・デ・トレ・イ・カリージョ・デ・トレ」
- 1488年6月20日-01:00|スペイン| ||<就任>第2代アルバ公「ファドリケ・アルバ・レス・デ・トレ・イ・エンリクス」(~15311019死去)先代の子
- 1488年7月4日-09:00|日本| ||長享2年5月25日|<死去>蜷川親元(56歳)政所執事代、歌人
- 1488年7月17日-09:00|日本|石川県金沢市|長享2年6月9日|<死去>加賀国守護「富樫政親」20万の一向一揆に攻められて自害(長享の一揆)⇒<再任>「富樫泰高」一揆勢が擁立(~文亀3(1503)年死去)
- 1488年7月19日 00:00|イギリス| ||フランス王軍、フランス北西部ブルターニュ地方のフジエールを制圧
- 1488年7月25日-09:00|日本| ||長享2年6月17日|大洪水により、尾張・美濃で多く人馬が溺死
- 1488年7月26日-09:00|日本|埼玉県比企郡嵐山町|長享2年6月18日|<須賀谷原の戦い(武蔵国)>上杉顕定は今度は河越城を襲おうとするが、先に顕定に反逆して逃亡していた長尾景春が足利政氏(成氏の子、父の隠居後に古河公方を継ぐ)の援軍を引き連れて上杉定正軍に加勢し、須賀谷原で衝突、またもや定正軍が顕定軍を退けた
- 1488年7月27日-01:00|フランス| ||フランス王軍、フランス西北部の「サン・パン・デュ・コルミエの戦い」で、「オルアン公」ルイ2世を総大将とする「ブルターニュ公」軍に大勝/「オルアン公」ルイ2世は捕虜となり、フランス中央部のブルージュに幽閉される
- 1488年8月8日-03:00|イェメン| ||<死去>ラッシー朝イマム「アナジール・ムハンマド・ビン・ユスフ」
- 1488年8月8日-01:00|フランス| ||フランス王軍、フランス北西部ブルターニュ地方のデインを制圧
- 1488年8月14日-01:00|フランス| ||フランス王軍、フランス北西部ブルターニュ地方のサン・マローを制圧
- 1488年8月21日-01:00|フランス| ||「ブルターニュ公」フランス2世、パリ南東トロワの南郊「ヴェルジエ城」(サン・タン・ド・レ・ヴェルジエ)で和睦のため、フランス王の許可なしにブルターニュ公の娘たちを結婚させてはならないとする「ヴェルジエ条約」を結ぶ
- 1488年8月25日-09:00|日本|兵庫県姫路市|長享2年7月18日|赤松政則が山名政豊を破り、播磨・備前・美作を回復
- 1488年9月-01:00|チュニジア/アルジェリア| ||<死去>ハフス朝アミール「ウスマーン」
- 1488年9月-01:00|チュニジア/アルジェリア| ||<即位>ハフス朝アミール「ヤフヤ2世」(~1489年)
- 1488年9月4日-09:00|日本|徳島県|長享2年7月28日|<死去>阿波国守護「細川政之」⇒「細川義春」が継ぐ(~明応3年12月21日(14950117)死去)
- 1488年9月6日-09:00|日本|鳥取県|長享2年8月|<交替>因幡国守護「山名豊時」⇒「山名政実」(~延徳元(1489)年11

1490迄 (1537件)

月死去)

1488年9月6日-08:00|中国/モンゴル| ||明・弘治1年8月|モンゴルのタヤン・ハンが甘肅などを襲撃、以後侵攻を繰り返す
1488年9月9日-01:00|フランス| |||<死去>ブルターニュ公「フアン2世」落馬事故のため(1433年~、55歳)
1488年9月9日-01:00|フランス| |||<即位>ブルターニュ公「アンヌ」フアン2世とマルグリット・ド・フォワの長女(~15140109死去36歳)
1488年9月9日-09:00|日本|滋賀県東近江市|長享2年8月4日|京極政経、弟の高清に近江国松尾で敗れ伊勢国に逃れる
1488年9月13日-01:00|フランス| |||<死去>ブルボン公「シャルル2世」
1488年9月13日-01:00|フランス| |||<就任>ブルボン公「ピエール2世」(~15031010死去)
1488年9月15日-09:00|日本|秋田県能代市|長享2年8月10日|安東師季改め政季、長木大和守の反乱に敗れ、河北郡の糠野城(山本郡二ツ井町)の城内で自害
1488年9月28日-09:00|日本|京都府京都市|長享2年8月23日|<死去>関白「九条政忠」(49歳)
1488年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョーネ・デ・アントニオ・ベルツツィ」「フランチェスコ・デ・アントニオ・デ・イ・ア・ナタシオ」
1488年10月3日-09:00|日本|京都府京都市|長享2年8月28日|<就任>関白:一条冬良(~明応2年3月28日)
1488年10月5日-09:00|日本|愛知県|長享2年9月|岩倉・清洲織田氏が相争い、斯波義寛、近江から歸國
1488年10月6日-09:00|日本|京都府京都市|長享2年9月2日|京都の土一揆蜂起により下京焼亡/細川政元これを鎮圧
1488年10月17日 00:00|イギリス| |||<就任>初代ホースウェル伯「ハトリック・ヘフ・バーン」(~15081018死去)
1488年10月17日 00:00|イギリス| |||<剥奪>初代モントローズ公「デヴィッド・リンジー」5代クロフォード伯(~14890919、回復~14951225死去)
1488年11月-01:00|ポーランド| |||<就任>ゲウガフ公「Janos Corvinus(ジャン2世)」(~1490年)
1488年11月4日-09:00|日本|愛知県一宮市|長享2年10月|尾張国薬師寺の堂宇、塔のみ残して焼失
1488年11月22日-09:00|日本|京都府京都市|長享2年10月19日|<死去>近衛房嗣(87歳)元関白、太政大臣
1488年12月17日-09:00|日本|埼玉県大里郡寄居町|長享2年11月15日|<高見原の戦い(武蔵国)>今度は定正軍が鉢形城に攻め寄せたため、顕定軍は高見原・鷹野原で迎え撃ったが3たび敗北
1489年-08:00|インドネシア| |||<死去>マジャパヒト王国国王「Girindrawardhana ラガ・イジャヤ」
1489年-05:30|インド| |||<即位>ビナール王「Qasim Barid1世」(~1504年死去)
1489年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Mahmud Shah2世」(~1490年)
1489年-03:00|イェメン| |||<即位>アズ・ザフィール・スルタン「Az-Zafir Amir2世」(~1517年)
1489年-02:00|ルーマニア/トルコ| |||モルダヴィアはオスマン帝国の家臣
1489年-01:00|クロアチア| |||<就任>クロアチアとスラヴォニアとダルマチアのパン「ラド・イスラフ・ホド・エゲルヴァーラ」(2度目~1493年)
1489年-01:00|デンマーク| |||<就任>デンマーク王国執事「ホル・ラクスマント」(~15020622没)
1489年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「アブ・ド・アルムシ」(~1490年)
1489年-01:00|ドイツ| |||南ドイツの帝国都市が第三部会として帝国議会に参加
1489年 00:00|イギリス| |||<再任>サリ伯「トマス・ハワード」復権(~15140201長男トマス・ハワードに継承)
1489年2月1日-09:00|日本|静岡県掛川市|長享3年|以翼長佑、和光山永江院(下垂木)を開創
1489年2月1日-09:00|日本|静岡県袋井市|長享3年|太素省淳、曹洞宗長嶽山竜巢院(岡崎)を創立
1489年2月1日-09:00|日本|広島県|長享3年|<任命>備後国守護「山名俊豊」(~明応6(1497)年解任)
1489年2月26日-02:00|キプロス/イタリア| |||<就任>ヴェネツィア海軍キプロス司令官「フランチェスコ・デ・ジ・ジョヴァンニ・プリウリ」⇒ヴェネツィアのキプロス副官「フランチェスコ・デ・ジ・ジャコモ・バルバリコ」(~1491年)
1489年2月26日-02:00|キプロス/イタリア/トルコ| |||<退位>キプロス王国国王・キリキア・アルメニア王国国王「カトリヌ(カテリーナ)女王」、ヴェネツィア共和国に併合
1489年3月3日-09:00|日本|京都府京都市左京区|長享3年2月|<建立>東山山荘観音殿
1489年3月13日-09:00|日本|静岡県御殿場市|長享3年2月中旬|向雲山善竜寺(御殿場市中畑)炎焼
1489年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジャコモ・デ・マリノ」「アントニオ・デ・ジ・ローラモ」
1489年4月1日-09:00|日本|滋賀県|長享3年3月|<交替>近江国守護「結城尚豊」⇒「六角高頼」(~同年11月)
1489年4月10日-09:00|日本|静岡県焼津市|長享3年3月10日|池谷院源佐宗高居士、一徳玄輪大和尚を開山に、宗高山高德寺(宗高)開基
1489年4月26日-09:00|日本|滋賀県栗東市|長享3年3月26日|<死去>室町幕府将軍「足利義尚(義熙)」六角高頼を攻めている近江国鉤の陣中で脳溢血のため(25歳、寛正6(1465)1123生)
1489年4月28日 00:00|イギリス| |||<死去>ノサンバラント伯「ハンリー・パーシー」ヨークシャーにある自らの別邸でフランスからのブルターニュ防衛(イングランド領)のための重税に抗議する暴徒に殺された
1489年4月28日 00:00|イギリス| |||<就任>ノサンバラント伯「ハンリー・アルジャーン・パーシー」4代伯の子(~15270519死去)
1489年5月 00:00|イギリス| |||<再任>初代サリ伯「トマス・ハワード」(~15140208)
1489年6月2日-09:00|日本|京都府宇治市|長享3年5月4日|三室戸寺ができる
1489年6月6日-09:00|日本|京都府京都市|長享3年5月8日|<京都上京、長享3年の大火>子の刻(午前0時ごろ)出火、暁天(明け方)には鎮火/焼失したのは西大路から南、室町から西、北小路から北で、西は白雲の西小路までの範囲/2000戸余りの家が焼失/公家屋敷では権大納言(松木)宗綱卿邸、権中納言入道飛鳥井宗世邸、右兵衛督(西洞院)時頼邸が全焼、冷泉前大納言為富邸、姉小路宰相邸、伯三位邸、大外記師富朝臣邸などが半焼/そのほか近衛邸、左府(左大臣)(徳大寺)實淳邸、勸修寺大納言邸も焼けている
1489年6月9日 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンジール暫定首長「マヌエル・ベッサニャ」(~1490年)
1489年7月2日-09:00|日本|福井県福井市|長享3年6月4日|一乗谷の上田氏、大野郡の合戦の戦死者のために吉田

1490迄 (1537件)

郡岡に西光寺を建て、真盛を招いて追善供養を行う

1489年7月12日-05:30|インド| |||<死去>ローディ朝初代スルタン「ハフル・ローディ」
1489年7月17日-05:30|インド| |||<即位>ローディ朝第2代スルタン「シカンダル・ローディ」(~15171121死去)
1489年7月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>ツグアイフリュッケン公「ルートヴィヒ1世」
1489年7月19日-01:00|ドイツ| |||<死去>フェルデントツ伯「Louis1st of Pfalz-Zweibrucken」
1489年7月19日-01:00|ドイツ| |||<就任>フェルデントツ伯「Alexander of Pfalz-Zweibrucken」(~15141021死去)
1489年7月19日-01:00|ドイツ| |||<即位>ツグアイフリュッケン公「カスパー」(~1490年死去)
1489年7月20日-09:00|日本|三重県伊勢市|長享3年6月22日|伊勢山田の神人らが宇治を襲って伊勢内宮を焼く
1489年8月-04:00|ロシア| |||フリノ(後のヴァツカ、現在のキーロフ)がモスクワに併合
1489年9月16日-09:00|日本| ||延徳1年8月21日|「延徳」に改元
1489年9月19日 00:00|イギリス| |||<回復>初代モントローズ公「デヴィッド・リンズー」5代クロフォード伯(~14951225死去)
1489年9月29日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|延徳1年9月5日|<徳丸河原合戦>矢部氏一族・北川氏の離反によって反守護連合敗退敗北
1489年10月1日-01:00|サマリヤ| |||<就任>サマリヤ共和国執政「マリノ・デ・アントニオ・ジャンニニ」
1489年11月10日-09:00|日本|奈良県奈良市|延徳1年10月18日|東山内で多田・吐山氏が争い、古市・堤氏が出陣/多田方上笠間氏は没落する/多田氏も年末に自焼没落
1489年11月23日-09:00|日本|静岡県掛川市|延徳1年11月|松浦兵庫頭、大洞院真巖派以翼長佑開山に、和光山永江院(下垂木)開基
1489年11月23日-09:00|日本|鳥取県|延徳1年11月|<死去>因幡国守護「山名政実」山名豊時との戦いで敗れ、自害
1489年11月23日-09:00|日本|鳥取県八頭郡八頭町|延徳1年11月|山名豊時、因幡国守護山名政実の私部城を攻略
1490年-05:30|インド| |||<即位>アーデイル・シャー朝シャー「ユースフ・アーデイル・シャー」(~1510年死去)
1490年-05:30|インド| |||<即位>ペール王国(イマート・シャー朝)スルタン「ファトフラー・イマート・ウル・ムルク」(~1504年死去)
1490年-05:30|インド| |||<即位>ベンガル・スルタン朝スルタン「Shamsuddin Muzaffar Shah」(~1494年)
1490年-05:30|インド| |||ハフマニ朝の3総督が独立しニザーム・シャー朝(~1636)、アーデル・シャー朝(~1686)、イマート・シャー朝(~1574)に分裂
1490年-04:00|エジプト| |||<即位>ハニ王朝イム「オマル・アル・シャリフ」(~1500年)
1490年-03:00|カナン| |||<設立>アルル国
1490年-02:00|ギリシャ/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのカンティエラ公「ベルナルド・ベンボ」(~1492年)
1490年-02:00|リトアニア| |||<就任>リトアニア陸軍元帥(首相)「ペトラス・ジョナティス・マンガルダ・イティス」(~14971206)
1490年-01:00|ドイツ| |||<死去>ツグアイフリュッケン公「カスパー」
1490年-01:00|アルバニア/イタリア| |||<就任>ヴェネツィアのデューツォ執達吏・長官「マルコ・ゼーノ」(~1492年)
1490年-01:00|イタリア| |||<就任>チロル伯「Maximilian1st」(~15190112死去)
1490年-01:00|ボスニア・ヘルツェゴビナ/トルコ| |||<就任>ボスニア総督「ハム・ヤクブ・ハッシャ」(~1493年)
1490年-01:00|デンマーク/ドイツ| |||<即位>シュレースヴィヒ公「フレデリク1世」共同統治者(~15330410死去)
1490年-01:00|ドイツ| |||<即位>ツグアイフリュッケン公「アレクサンダー」(~15141021死去)
1490年-01:00|チュニジア/アルジェリア| |||<即位>ハフス朝アミール「ザカリヤ2世」(~1494年)
1490年-01:00|ドイツ| |||<即位>ホルシュタイン・シュレースヴィヒ公「フレデリク1世」(~15330410死去)兄「ハンス」と共同統治
1490年-01:00|イタリア| |||アルトゥスガヴェネチアで印刷業を開業
1490年 00:00|イギリス| |||<死去>初代ロズ伯「ジョージ・レスリー」
1490年 00:00|イギリス| |||<就任>2代ロズ伯「ジョージ・レスリー」先代の孫(~1513年死去)
1490年 00:00|アイスランド/デンマーク| |||<就任>アイスランド支配者「アルフィヌール・ソースタインソン」(~1491年)
1490年 00:00|サントメ・プリンシペ/ポルトガル| |||<就任>サントメ植民地司令官「Joao Pereira」(~1493年)
1490年 00:00|モロッコ/ポルトガル| |||<就任>タンジール首長「味・ウァス・デ・アセベト・オモンジュ」(~1501年)
1490年1月21日-09:00|日本|京都府京都市右京区|延徳2年|祐巖が長床坊を開基
1490年1月21日-09:00|日本|静岡県静岡市清水区|延徳2年|今川熙氏、母堂追善の為、法岸寺を上土に創建
1490年1月21日-09:00|日本|静岡県浜松市北区|延徳2年|曹洞宗寺院で宗源院末の西見寺(平田町)創建
1490年1月21日-09:00|日本|福岡県福岡市|延徳2年|<任命>九州探題「洪川政教」(~明応9(1500)年)
1490年1月21日-09:00|日本|宮城県登米市|延徳2年|薄衣氏、大崎氏の命で葛西氏が領する佐沼を攻める
1490年1月21日-09:00|日本|静岡県駿東郡清水町|延徳2年1月|茂森山藤泉院(戸田)開山積室儀香大法師寂(開基は修善院殿靈公大禪定門で今川義元ゆかりの人物)
1490年1月21日-09:00|日本|静岡県浜松市中区|延徳2年1月|広沢山普濟寺(広沢町)開山華藏義曇の座像造立
1490年1月21日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年1月1日|応仁の乱以来中断していた小朝拝・節会が復活
1490年1月25日-09:00|日本|奈良県大和郡山市|延徳2年1月5日|郡山城陥る
1490年1月27日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年1月7日|<死去>室町幕府8代将軍「足利義政」55歳(誕生:永享8(1436)0102)
1490年2月4日-09:00|日本|長崎県壱岐市|延徳2年1月15日|箱崎八幡宮を造営
1490年2月20日-09:00|日本|京都府京都市左京区|延徳2年2月|<創建>慈照寺(銀閣寺)<臨済宗相国寺派>東山殿を寺に改める/足利義政、夢窓疎石
1490年2月28日-02:00|エジプト/イタリア/キプロス| |||エジプトのスルタン、キプロス王国の併合を永久にヴェネツィアに認める
1490年3月7日-04:00|ロシア| |||<死去>モスクワ大公「イワン・ワシリエヴィチ・モロドフ」
1490年3月13日-01:00|フランス/イタリア| |||<死去>サヴォイア公「カルロ1世」
1490年3月13日-01:00|フランス/イタリア| |||<即位>サヴォイア公「カルロ2世」(~14960416死去)

1490迄 (1537件)

1490年3月16日-01:00|オーストリア/ドイツ| |||オーストリア大公マクシミリアンが、チロルのジギスムントから領土を委譲される
1490年4月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「アントニオ・デ・マウリツィオ・ルナルディ・ニ」
1490年4月6日-01:00|ハンガリー/チェコ/クロアチア/オーストリア| |||<死去>ハンガリー王・クロアチア王「マチャーシュ1世」兼ボヘミア対立王・モラヴィア辺境伯・オーストリア・シュタイアーマルク対立公「マティアス1世・コルヴィン」がウィーンで/50歳(誕生14400223)ハンガリー王国の黄金期をもたらした国王
1490年4月6日-09:00|日本|京都府京都市上京区|延徳2年3月17日|土一揆が蜂起し北野社に立て籠もる
1490年4月9日-01:00|オーストリア| |||<死去>オーストリア大公「マティアス・コルヴィン」
1490年4月10日-09:00|日本|京都府京都市上京区|延徳2年3月21日|幕府が北野社に立て籠もった土一揆を鎮圧.
その戦火で北野社が焼失
1490年4月22日-09:00|日本|愛媛県西条市|延徳2年4月3日|周敷郡田野郷五社明神の社殿を造営
1490年5月14日-09:00|日本|茨城県常陸太田市|延徳2年4月25日|<死去>常陸佐竹氏第14代当主「佐竹義治」48才/
義舜, 家督を継ぐ
1490年5月22日 00:00|イギリス| |||<死去>初代ケント伯「エドマント・グレイ」
1490年5月22日 00:00|イギリス| |||<就任>第2代ケント伯「ジョージ・グレイ」(~15051225死去)
1490年5月28日-05:30|インド| |||<即位>アフマド・ガール王国国王「アフマド・ニザム・シャー1世」ハフマニー朝から独立(~1510年死去)
1490年5月31日-09:00|日本|静岡県富士宮市|延徳2年5月12日|檀那真壁久朝・白川弾正少弼政判、富士山頂上剣ヶ峰に大日鉄像を奉納
1490年7月-01:00|モンテネグロ| |||<死去>セーラ卿「イワン・ステハノヴィッチ」
1490年7月-01:00|モンテネグロ| |||<就任>セーラ卿「ジュート・イワノヴィッチ」(~1496年11月)
1490年7月8日-09:00|日本|福井県|延徳2年6月21日|<死去>若狭国守護「武田国信」⇒「武田元信」が継ぐ(~永正16(1519)年11月26日出家)
1490年7月22日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年7月5日|<任命>室町幕府管領「細川政元」(~即日辞任)
1490年7月22日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年7月5日|<任命>室町幕府第10代征夷大將軍「足利義材」(~14930629. 15080701~15211225)
1490年7月26日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年7月9日|<死去>伊豆狩野次郎景信の子、四郎次郎大炊助正信京にて(狩野派始祖)
1490年7月29日-09:00|日本|和歌山県岩出市|延徳2年7月12日|畠山政長の兵、畠山義就の兵を紀伊国一乗山に破る
1490年8月9日-01:00|ハンガリー/クロアチア/チェコ| |||<即位>ハンガリー王「ウラースロ2世」兼クロアチア王・モラヴィア辺境伯「ウラジスラフ2世」ボヘミア王がジギスムント4世の息子、ボヘミア王「ラジスラフ4世」(~15160313死去)
1490年8月10日-01:00|ドイツ/デンマーク| |||ヘルゴランドはホルシュタイン・ゴットルプ公国の一部(デンマーク王室管理下1684~1689年)
1490年8月16日-09:00|日本|滋賀県|延徳2年8月|<任命>近江国守護「京極政経」(~同年)
1490年9月1日-09:00|日本|福井県大野市|延徳2年8月17日|<建立>青蓮寺・蓮光寺(二宮氏館跡)
1490年9月11日-09:00|日本|滋賀県|延徳2年8月27日|<任命>近江国守護「細川政元」(~延徳3(1491)年12月)
1490年9月15日-09:00|日本|愛知県春日井市|延徳2年閏8月|玉泉坊ら、尾張国円福寺に三千仏図を寄進
1490年9月28日-09:00|日本|京都府京都市|延徳2年閏8月14日|京都に土一揆蜂起/ついで大和国でも蜂起
1490年10月1日-01:00|サンマリノ| |||<就任>サンマリノ共和国執政「ジョヴァンニ・デ・メンギーノ・カルチーニ」
1490年10月29日-09:00|日本|山梨県|延徳2年9月16日|穴山氏と大井氏との間で合戦が起きる
1490年11月17日-01:00|ハンガリー| |||<即位>ハンガリー対立王「ミクサ」神聖ローマ皇帝マクシミリアン1世(~14911107)
1490年12月14日-02:00|トルコ/イラン| |||<死去>白羊朝スルタン「ヤクバ」
1490年12月14日-02:00|トルコ/イラン| |||<即位>白羊朝スルタン「バイソクル」(~1493年)